

東かがわ市埋蔵文化財調査報告 第3集

# 王子の谷遺跡

農村総合整備事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

2007年12月

東かがわ市教育委員会

東かがわ市埋蔵文化財調査報告 第3集

# 王子の谷遺跡

農村総合整備事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

2007年12月

東かがわ市教育委員会



1. 土師質土器小皿（505）內面線刻



2. 土師器高杯（595）內面線刻

## 序

東かがわ市も市制が始まって5年目を迎え、次の時代にむけた新しい事業を進めています。地域に伝承されてきた歴史的文化的遺産を活用したまちづくりも、その一つにあげられます。市内には姿形が変われども数多くの文化財が残されており、我々が郷土の歴史と文化を理解するうえで重要な鍵となるものです。東かがわ市教育委員会ではこれらを絶やすことなく、今日から未来にむけて伝うべく最善を希求しつつ実現に向け取り組んでいます。

今回報告する王子の谷遺跡は東かがわ市の北東域に所在する、古代から中世にかけての集落跡であります。市域を区切る山麓によって囲まれた平野や丘陵には時代はうつれども、現代と同じく県内外を東西に繋ぐ交通路が走っていたことが判明しつつあり、古代から要所として地域間の交流に大きな役割を果たしていたことが想起されます。本報告書が、埋蔵文化財の保護の一助になるとともに、地域の歴史研究においても活用していただければ幸いと存じます。

最後になりましたが調査に際し、地元の皆様はじめ関係各位より、多人なるご理解・ご協力を賜りましたことに対して、衷心より感謝の意を表します。

平成19年12月

東かがわ市教育委員会

教育長 桑島 正道

## 例　　言

1. 本報告書は、大内町教育委員会（現東かがわ市教育委員会・以下略）が平成8年度に実施した、土子の谷遺跡の発掘調査報告書である。
2. 調査の実施にあたっては大内町教育委員会が調査主体となり事務を、調査実務は大内町教育委員会の依頼を受け大川広域行政組合（当時大川地区広域行政振興整備事務組合・以下略）埋蔵文化財係が実施した。
3. 発掘調査は萬木一郎（当時）が担当した。本報告書の作成は大川広域行政組合理蔵文化財係が実施した。作業総括および執筆・編集は阿河鏡二が担当した。
4. 本報告書で用いる方位の北は、国土座標系（日本測地系）である。縮尺は掲載図面内にスケールで示した。また遺構の略号は下記のとおりである。  
S B : 捆立柱建物跡　　S D : 溝　　S X : 不明遺構
5. 掲図の一部に国土地理院地形図「三本松」・「讃岐津田」(1/25,000) を使用した。
6. 本報告書の中の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財團法人日本色彩研究所色票『新版標準上色帖1998年度版』を使用して表す。
7. 調査及び報告書作成に際しては、地権者及び地元関係者・関係諸機関にご理解とご協力を頂いた。記して謝意を表したい。

## 目 次

序

例言

第1章 調査に至る経緯と経過	1
第2章 立地と環境	3
第1節 地理的環境	3
第2節 歴史的環境	3
第3章 調査の成果	8
第1節 A調査区について	8
(1) 概要	8
(2) 掘立柱建物跡	10
(3) 溝	15
(4) 不明遺構	22
(5) 包含層出土遺物	24
(6) 位置不明遺物	26
第2節 B調査区について	28
(1) 概要	28
(2) 掘立柱建物跡	28
(3) 溝	33
(4) 柱穴	34
(5) 不明遺構	34
(6) 包含層出土遺物	37
(7) 位置不明遺物	37
第3節 その他の遺物	39
(1) その他の遺物	39
(2) 試掘調査時出土遺物	40
第4章 まとめ	43

出土遺物観察表

報告書抄録

## 挿図目次

第1図	東かがわ市王子の谷遺跡位置図	2
第2図	周辺遺跡位置図	4
第3図	調査区位置図	8
第4図	A調査区構構配図	9
第5図	S B01・02平・断面図	10
第6図	S B03・04平・断面図	11
第7図	掘立柱建物跡柱穴出土遺物	12
第8図	S D01遺物出土状況平・断面図	13・14
第9図	S D01出土遺物（番号とりあげ①）	16
第10図	S D01出土遺物（番号とりあげ②）	17
第11図	S D01出土遺物（番号とりあげ③）	18
第12図	S D01出土遺物（番号なし）	19
第13図	S D03・04・05出土遺物	20
第14図	S D07出土遺物	21
第15図	S X01周辺出土遺物	22
第16図	北半包含層出土遺物①	23
第17図	北半包含層出土遺物②	24
第18図	南半包含層出土遺物①	25
第19図	南半包含層出土遺物②	26
第20図	南半包含層西南部出土遺物	27
第21図	A調査区出土位置不明遺物	27
第22図	A調査区出土位置不明遺物②	28
第23図	B調査区構構配図	29
第24図	S B01・02平・断面図	30
第25図	S B03平・断面図	31
第26図	S B04平・断面図	31
第27図	S B05平・断面図	32
第28図	S B06平・断面図	32
第29図	S D01・02平面・断面図	33
第30図	柱穴ほか出土遺物	34
第31図	S X01出土遺物	34
第32図	S X02出土遺物	35
第33図	包含層出土遺物①（南側）	35
第34図	包含層出土遺物②	36
第35図	B調査区出土位置不明遺物	38
第36図	出土地不明遺物	39
第37図	試掘調査出土遺物①	40
第38図	試掘調査出土遺物②	41

## 図版目次

### 卷頭図版

1. 土師質上口器小皿 (505) 内面線刻

- 図版1-1 A調査区全景空中写真  
図版1-2 A調査区北半空中写真  
図版1-3 S B01・02調査状況  
図版2-1 S B03・04調査状況  
図版2-2 S D01調査状況  
図版2-3 S D01遺物出土状況  
図版3-1 S D01遺物出土状況  
図版3-2 S D01遺物出土状況  
図版3-3 S D01遺物出土状況  
図版4-1 S D01遺物出土状況  
図版4-2 S D07調査状況  
図版4-3 S D07調査状況  
図版5-1 B調査区全景空中写真  
図版5-2 遺構検出状況  
図版5-3 遺構検出状況  
図版6 出上遺物

2. 土師器高杯 (595) 内面線刻

- 図版7-1 A調査区掘立柱建物跡柱穴出土遺物  
図版7-2 A調査区S D01出土遺物  
図版7-3 A調査区S D01出土遺物  
図版8-1 A調査区S D03-05出土遺物  
図版8-2 A調査区S D07出土遺物  
図版8-3 A調査区北半包含層出土遺物  
図版9-1 A調査区南半包含層出土遺物  
図版9-2 A調査区南半包含層出土遺物  
図版9-3 A調査区南半包含層西南部出土遺物  
図版10-1 B調査区包含層出土遺物  
図版10-2 B調査区出土位置不明遺物  
図版10-3 出土地不明遺物  
図版11-1 出土地不明遺物  
図版11-2 試掘調査出土遺物  
図版11-3 棒状土錐



## 第1章 調査に至る経緯と経過

今回報告する王子の谷遺跡は旧大内町字土居に所在する。当該地区周辺は遺跡の所在が限られていたこともあり、散布地や伝承地などがいくつか点在するような状況であった。このような中、谷筋傾斜地に耕作地が広がる当地にて圃場整備事業が計画・実施されることになり、平成7年度も終わり近いころに試掘調査を実施した。試掘調査では事業予定地全体をおおむねカバーするように、28ヵ所のトレンチを設定したものである。この結果、各トレンチにて柱穴や土器などの遺構遺物が検出された。特に西側斜面では、奈良時代の遺物とともに柱穴群が確認され、低地部では中世の多量の土器のほか、瓦片が幾つか出土している。塚については地元において糞尿などの不浄行為の禁止が伝えられており、興味深いものといえる。また、東側にある丘陵南面には天神神社が所在し、さらに北側尾根伝いにあたる頂部には祠堂があり、これは地元で「ジュウオ（ゴ）ウ」と呼称される雨の神を祀ったものである。渴水時には雨乞い神事が執り行われ、近代になんでも為されていたとされる。

このように試掘調査によって、事業予定地内に遺跡の所在することが明らかとなった。この結果を受け町教育委員会及び事業担当である経済課と協議を行い、工事により掘削が及ぶ範囲について事前の発掘調査を実施することとなった。調査対象範囲は西側丘陵斜面部と谷筋低地部の田畠のうち、それぞれに別れてあるもので合計すると約1,500m<sup>2</sup>を測る。平成8年度になって発掘調査の実施に向け人員や工程・費用などの調整をすすめ、6月から具体的な準備を始め7月に着手する運びとなった。調査区としては谷筋低地部をA地区とし、西側丘陵斜面部をB地区として設定するものである。なお、発掘調査の実施にあたっては大内町教育委員会より依頼を受けて、大川広域行政事務組合（当時大川地区広域行政振興整備事務組合）埋蔵文化財係が職員を派遣し、調査実務を担当する形式で行うこととした。以下発掘調査の経過について概略を記す。

### 平成8年調査日誌（抄）

7月9日（火）～

調査予定地内に溜まった水の排水作業とともに、調査機材・道具を搬入する。

7月12日（金）～

A地区より重機による表土剥ぎ作業を開始する。B地区については地表を覆う草刈りを行う。

7月16日（火）～

B地区的表土剥ぎにかかる。A地区については包含層の掘り下げとともに遺構検出を行い、溝・柱穴群が確認される。

7月30日（木）～

B地区的表土剥ぎ作業が終わり、遺構検出作業にかかる。A地区では基準杭より調査グリッドを設定し、適宜検出作業を進める。

8月2日（金）～

A地区にて検出した溝・柱穴などの掘り下げ、実測・写真などの記録作業を進める。

8月14日（水）～16日（金）

台風の風雨による影響のため作業中断する。

8月30日（金）

バルーンによる空中測量・写真撮影を行う。

9月3日（火）～

A地区の掘立柱建物跡柱穴のいくつかにて柱材の残存を確認する。また調査区の平板測量に取りかかる。B地区でも遺構検出・振り下げ・記録作業を進める。

10月3日（木）

調査完了に合わせ2回目のバルーン撮影を行う。

10月4日（金）～9日（水）

現場機材・調査道具の撤収を行い、出土遺物を整理・搬出して現場実務を終了とする。



第1図 東かがわ市王子の谷遺跡位置図

## 第2章 立地と環境

### 第1節 地理的環境

平成15年4月に引田町・白鳥町・大内町の3町が合併し、新しく東かがわ市として市制がスタートした。その市域は香川県の東端に位置し、東西に約15km・南北に約10kmに及ぶもので面積は約155㎢を測る。東は徳島県鳴門市に南は徳島県板野郡と、西は同じく合併で誕生したさぬき市と接し、北では瀬戸内海に面している。その地勢をみると、市域南部にあたる県境付近には阿讚山脈に連なる龍王山（標高475m）や東女体山（標高667m）が連なっている。これらの山地からは北に向かって丘陵性台地が延伸しており、市域の南半を占めている。また、台地の丘端部には浸蝕によって形成された谷筋がいくつもあり、狭小な谷底平野がみられる。台地をぬけると河川の堆積によって形成された沖積平野が、市域の中ほどをしめるように広がっている。河口には三角州が発達しており、海浜の砂堆とあわせ現在では市街地が広がっている。また、これらの平野部や瀬戸内海岸部には、島状の独立状丘陵や山塊が点在している。市内を流れる主要河川は阿讚山脈を源とし、与田川・湊川や馬宿川などが各平野部を北流している。これらの河川は蛇行を繰り返しながら平野部を貫流し、平野に残された田筆からはかつての氾濫の痕跡を見て取ることができる。

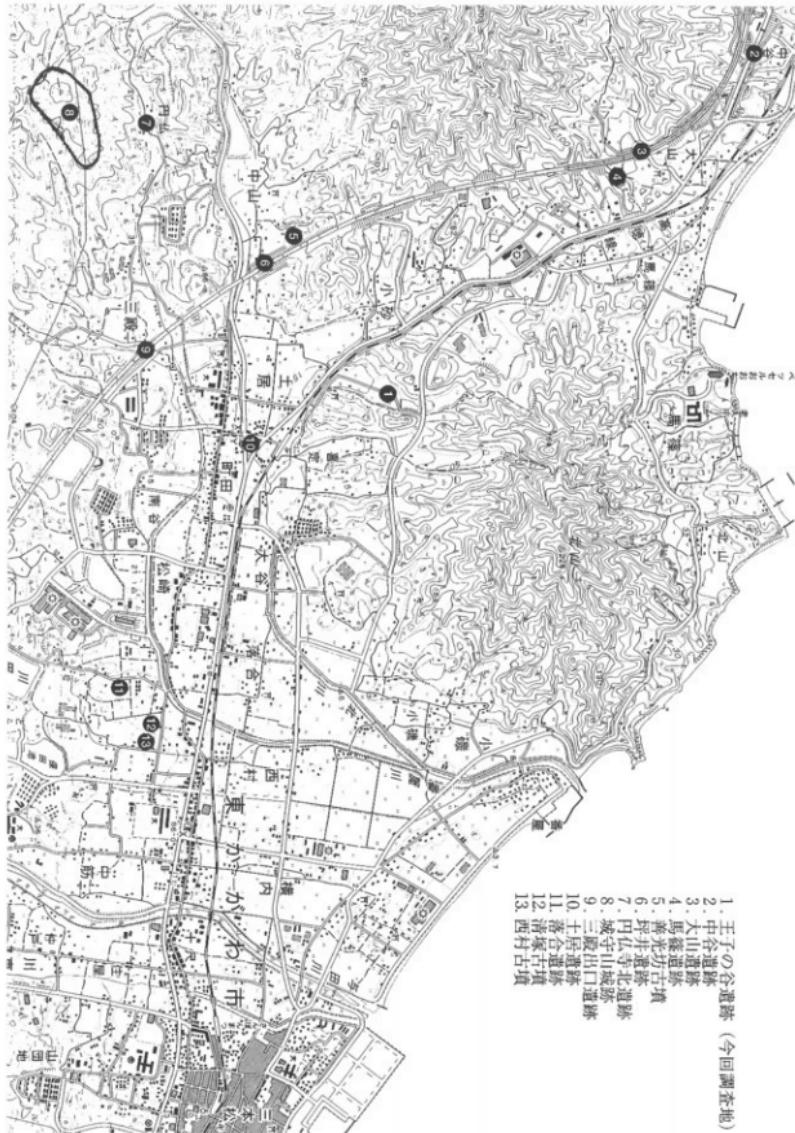
今回報告する王子の谷遺跡は、旧大内町の北西部にある土居地区に所在している。ちょうど大内平野の西奥部にあたり低地部は、北から西及び南側の三方を山塊によって囲まれた東に開口する谷地形状を呈している。遺跡はこの平野部の北側にあって西にある馬篳地区との境となっている、北山（標高226m）の南麓に所在する。南麓においては北山から派生する丘陵が八つ手状に張り出しており、遺跡はこれらの丘陵によって挟まれた谷地形の一つと、その西側の丘陵上に立地するものである。遺跡の北側には谷奥部にはため池があり、同様に周囲には大小多くのため池が造られている。また、谷地形が開ける南側には現在JR高徳線や国道11号線が東西に走っている。

### 第2節 歴史的環境

東讚における遺跡の所在状況やその内容については、比較的最近まであまり明らかになっていない状況であった。ただ、平成になって四国横断自動車道建設工事やそれに伴う各種開発事業などにより、東かがわ市内においても大規模な発掘調査が実施されたことによって、重要な成果が数多くえられその蓄積が図られることとなった。

旧石器時代から縄文時代にかけての遺構遺物の様相について、明確な把握することのできた遺跡は尙ごく僅かにとどまる。これまでのところ旧大内町を貫流する与田川流域の水主地区、または湊川上流の五名地区などの山間部において、有舌尖頭器や環状石斧・独鉛石などが採取されている。また平野部にある金比羅山遺跡では、与田川氾濫原の堆積層より縄文時代前期と考えられる状耳飾りが出土している。また大内平野南東部の原間遺跡では、縄文時代後期とされる川漁の仕掛けとおもわれる杭列が河道より検出されている。縄文時代晩期になると金比羅山遺跡などにおいて、多量の突帯文土器やサヌカイト原材が出土している。おおむね縄文時代では平野部に近い丘陵や台地上に、生活域が形成されていたものとおもわれる。

ついで弥生時代になると遺跡数は増加していく傾向にあるが、これは後期のものについてである。前期については縄文時代の状況とかわらず、未だ資料的には僅少である。市内では大内平野南縁に広がる微高地状の台地縁部にて、確認された落合遺跡が知られている程度である。落合遺跡は農業基盤整備事



第2図 周辺遺跡位置図

棄中に発見された遺跡で、遺構は確認されていないが前期後半頃の土器などが多量に出土しており、周囲に住居域が想定される。中期後半から後期になると平野部や、それを取り囲む段丘に遺跡が形成されるようになる。湊川を挟んで両側に広がる低地部に原間遺跡や成重遺跡が所在している。検出された遺構や遺物の内容は東讃における、拠点的集落遺跡の様相を示すものといえる。また、成重遺跡では集石状遺構が多数発見されており、一部は墓もしくは祭祀的構築物ともいわれ、周溝墓や土器棺墓とあわせ墓制としても注目される。丘陵または段丘上では庵の谷遺跡・庵庭遺跡（引田）、成重遺跡の東側に池の奥遺跡（白鳥）、仲善寺遺跡（大内）などが調査されている。これらの遺跡では石器製作を行っていたことを示す、サヌカイト製石器や道具類が多量に出土している。仲善寺遺跡では中期末から古墳時代初頭及び中世までを含む複合遺跡で、住居跡や溝などが検出されている。出土土器にはド川津B類のほか阿波や吉備の特徴を示すものが含まれている。後期から終末期・古墳時代初頭にかけて集落遺跡は平野部を中心に戻間するとともに、集落跡を取り囲む丘陵上には土坑墓や土器棺墓などからなる墳墓群の立地がみられるようになる。集落遺跡として原間遺跡・成重遺跡などのほか、金比羅山遺跡や小海荒井遺跡があげられる。小海荒井遺跡は引田小海地区の低地部南側丘陵上に立地するもので、20棟を数える住居跡などの遺構に、多くの東阿波型土器や結晶片岩製品が出土しており阿讃の交流を示すものとおもわれる。墓制に関連する遺跡としては今のところ原間池周辺の丘陵上に集中しており、金比羅山遺跡・塔の山遺跡・塔の山南遺跡・樋端遺跡・樋端墳丘墓などが挙げられ、ほかにも古くに土器棺が出土した地点も幾つか知られている。樋端遺跡では多くの土坑墓や木棺墓、土器棺墓が列をなして丘陵斜面に群集している。樋端墳丘墓は地山整形による直径18m前後の墳丘をもち、堅穴式石槨及び木棺墓が埋葬施設としてある。また、周溝内には土器棺墓が1基あり、棺蓋の壺外面には記号文を線刻している。なお、金比羅山遺跡や樋端遺跡では懸垂用に穿孔した破鏡の出土をみている。

古墳時代についてまず古墳の状況をみると、各期を通じてその少なさが特徴としてあげられる。讃岐地方は極小のものを含めた、前方後円墳などの前期古墳が多いことで知られている。これに対し市内の前期古墳は大日山古墳が1基のみ知られているにすぎず、県内で最も東にある前方後円墳になる。大日山古墳は湊川西岸にある独立山塊から南西側に延びる丘陵上に立地している。その眺望は南面を主体に西方を意識したものといえる。正式な発掘調査は実施されていないが埴輪などの出土が伝えられている。また、後円部中央には堅穴式石槨とともに倒抜式石棺の所在が想定されている。さらに尾根筋の上方には2号墳とする箱式石棺が所在している。大日山古墳はこれまでの内容から前期後半とされるもので、前半段階の古墳が所在するかどうか興味が持たれる。中期になると前期と同様に原間池周辺の丘陵上に円墳が集中して築かれている。特に原間古墳群などは丘陵稜線に群を形成しており、10基近くの古墳が築かれている。この中の原間6号墳は直徑約30mを測る埋葬施設に木槧木棺をもった円墳で、丘陵頂部に築かれている。埋葬施設より短甲や三累環頭大刀や鉄製農工具が出土しており、朝鮮半島とのつながりを考えさせる重要な古墳である。後期になると横穴式石室をもった円墳が築造されるようになる。資料的に不明なものが過半をしめるが、比較的小規模なものは丘陵稜線や斜面にまとめて築造されている。対し原間1号墳や藤井古墳・川北古墳などの規模の大きいものは単独で所在している。原間1号墳は使用される石材など規模の大きいもので墳丘・石室構造がよく残されている。また、川北古墳は引田地区の平野部を東に見下ろす急峻な丘陵頂部に築かれている。このほか調査例として神越5号墳では周溝より装飾須恵器である子持器台が出土しており、葬送儀礼について考える上で興味深いものである。この時代の集落遺跡はそれほど判明していないが、原間遺跡では5世紀後半頃の堅穴住居跡や大型建物跡などが検出されている。原間遺跡の北方にある住居跡では、6世紀から7世紀にかけての住居跡が多數調査されている。また、成重遺跡や善門池西遺跡でも6世紀半ば頃の遺構が検出されており、これ

らの北西に所在する城泉遺跡では須恵器を少量とともに多くの土師器が出土している。このほか海浜部の砂嘴上に形成された松原遺跡では製塙土器が出土している。

古代律令制下では市域は大内郡に属しており、引田郷・白鳥郷・与那郷・入野郷が設置されていた。市内の平野部では現代でも律令国家体制下での開発の痕跡を見て取ることができる。大内や引田の半野部には条里型地割がよく残されており、方格状の土地や道として引き継がれている。また、全国に施工した陸上交通路としての官道の一つとして、四国及び紀伊には南海道が運用されていた。市内では東西に南海道が横断していたが、具体的位置は確定していない。平野部を挟んで南北両側を通り時期的変遷があったことが推定される。また、郡内には南海道の引田駅が配置されており、残された地名などから今の馬宿あたりに駅家が推定されている。ただ、引田川北遺跡では主軸を描いた古代の掘立柱建物跡12棟をはじめ、縄文陶器などの貴重な遺物が出土しており、本遺跡を駅家関連遺構とする見解もあり検討をする。他にも大内平野の西奥にあたる中山地区坪井遺跡からは掘立柱建物跡や溝が検出されており、寒川郡との境をなす位置にあることから南海道に閑通するものと考えられている。この他、讃岐国内の地方政府の役所である郡衙については全く不明であるが、大内・川東地区にある住居遺跡では官位を示す帶金具が出土しており、遺跡を含む周囲に所在していた可能性が考慮される。讃岐には古代寺院が他国より多く造営されているが、郡内では白鳥廃寺が唯一のもので湊川河口西岸の谷間の低地部に位置している。これまでの調査で土壇とともに心礎石などが検出されており、南滋賀庵寺式の伽藍配置が想定されている。瓦などが多く出土しているが八葉複弁蓮華文軒丸瓦や四重弧文軒平瓦などは、白鳳期にさかのほるものとされる。また、隣接する北側丘陵斜面には焼土の痕跡があるとされ、瓦窯の所在も考慮されている。

中世について城館を主体にみていくと、これまで知られていた引田城址や虎丸城址の他にも、近年の悉皆調査によって城守山城跡や黒羽城跡・白鳥城跡の所在が確認された。引田城址は引田地区にある瀬戸内海に突き出た通称城山に所在する。三方を海に囲まれ、陣続きの西側も泥濘地であることから本来は攻めるに難い要害地に築かれた山城である。その地勢は南側に位置する中世以来の濱町である引田を風除け地として最適なもので、引田が瀬戸内海交通の要衝となった一要因でもある。引田城址は山頂を中心に周囲に石垣をめぐらし、北郭には高さ8mを測る高石垣が威容を誇る。文献では戦国期より在地寒川氏や阿波三好氏の都將の在城が記されるが、現状の様相は天正15(1587)年に譜絃に入部した生駒氏によって一城令までの間、東讃支配の拠点として整備されたものである。平成16~18年度の内容確認調査によって、曲輪内には石垣・礎石や櫓台または虎口や土堤などの遺構が良好に残されていることが確認されており、遺物には高松城出土例とほぼ同様な軒平瓦の他に、鯰瓦や宝珠文を押印した瓦片が出土している。虎丸城址は大内水主地区の標高400mをこえる虎丸山山頂に築かれた山城で、山頂主郭から四方に延びる尾根筋には小曲輪が連続し、堀切や戦状堅壁群などによって防御が固められている。戦国時代後期の長宗我部氏侵攻時には在地三好氏・十河氏の最後の拠点となった。虎丸山北麓には「城の内」という地名もあり、常用居館の存在が推測されている。城守山城跡は大内郡と寒川郡の境付近の丘陵上に所在するが、文献には記されておらず明確な築造期や主体者などは不明である。標高約226mの城守山山頂に主郭があり、東西につづく二つの頂部にも曲輪が築かれている。連絡する尾根稜線には土橋を掘り残した堀切が残されている。山頂以外にも北側山腹に堀切状の地形がみられ、さらに城郭が広がることも想定される。黒羽城跡は引田城址から平野を挟んで南向かいにあたる山塊から張りだした尾根先端に位置する。ちょうど馬宿川が平野に抜けた際にあたり、細長い尾根は三方が急斜面となっており要害地である。尾根頂部は幅の狭い平坦地がつづき、南西先端に比高差2m前後の高くなつた小曲輪がある。ほかに白鳥城跡は平野にある独立状山塊から突き出た尾根上に所在する。北側には

後背湿地が広がり、防御的な役割を果たす。遺構は判明しないが、周囲には「城泉」「城ガ縄」といった地名が残る。寒川氏配下の白鳥玄蕃が城主と伝えられる。また、低地にある居館としては大内土居地区にある居館跡は水田の地割りからその所在が認められるもので、方・町はある方形区画が残されている。その他の遺跡をみると、引田地区で平野部南縁に張り出した各丘陵上にある逆田石垣遺跡・鹿庭遺跡などにて、掘立柱建物跡などからなる集落跡が検出されている。白鳥地区では成重遺跡の東側微高地上にある善門池西遺跡において、中国産陶磁器・丹波焼・古瀬戸・備前焼などの地域外製品がまとまって出土している。また、大内地区でも平野部に面した谷筋に囲まれた小さな開拓地にも、三段出口遺跡や西谷遺跡・西谷南遺跡などの小規模な集落遺跡が確認されている。集落遺跡の中には逆田石垣遺跡・三段出口遺跡のように、土坑墓が伴っているものもある。また、寒川郡との境にあたる田面峠東側にある円仏寺北遺跡では、小規模ながら谷に面した傾斜地より横列などのピットが検出されている。注目すべきものとして、引田地区では川北遺跡から北側に尾根を一つまたいだ谷筋の傾斜地に、中世後半期の瓦窯である天王谷遺跡が所在している。遺跡では傾斜に対し直交するよう、2基の半地下式有牀平窯が並列して構築されている。瓦窯の外に瓦溜まりや掘立柱建物跡も複数検出されており、一部は工房として瓦窯に付属するものと想定されている。

#### 主要参考文献

- 『大内町史』1985 大内町史編集委員会  
『白鳥町史』1985 白鳥町史編集委員会  
『引田町史』1995 引田町教育委員会  
『香川県中世城館詳細分布調査報告』2003 香川県教育委員会  
『第11回特別展 織岐の古瓦展』1992 高松市歴史資料館  
木下晴一「引田城下町の歴史地理学的検討」『研究紀要Ⅳ』1999 (財)香川県埋蔵文化財調査センター

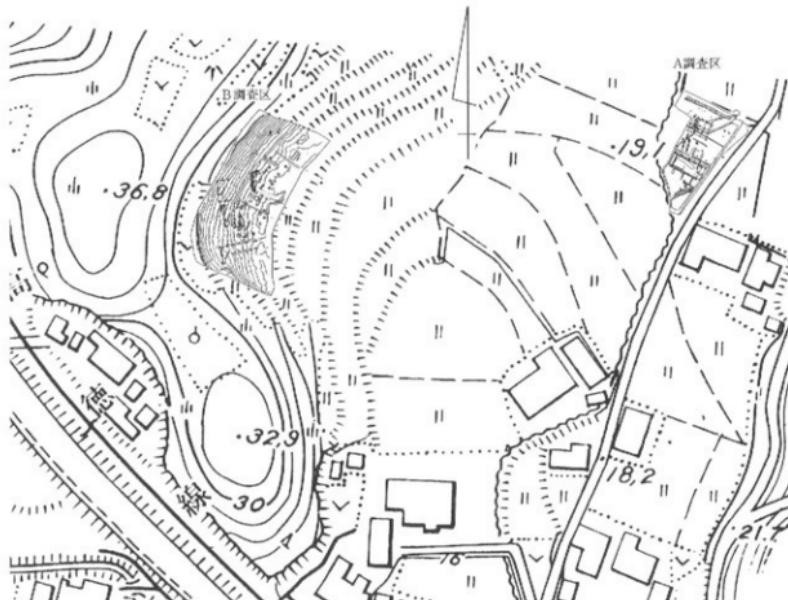
## 第3章 調査の結果

### 第1節 A調査区について

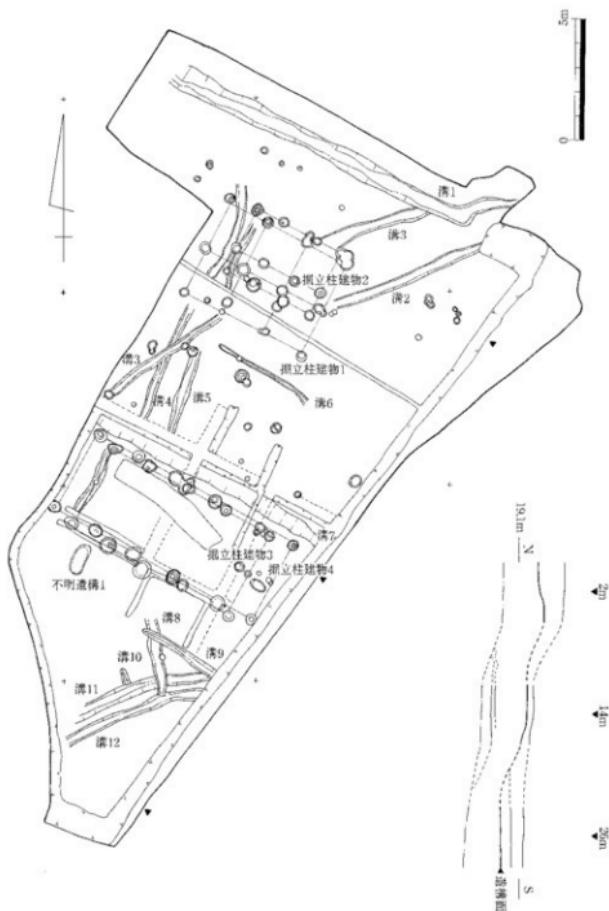
#### (1) 概要

南側に開口する谷筋中ほどの調査区である。旧地図は水田で調査前の状況は、谷筋の地形による傾斜に沿って段状の田筆が形成されていた。調査区は南側にすさまる不整台形状を呈する田筆で、北端は東西約18m、南北は最大30mの大きさである。また調査区の田筆は途中で東西の畦によって2筆に分けられており、地表面標高は北側から10mほどは約19.4mで、残る南側は約19.2mを測るものである。遺構面の検出状況をみると、北側田筆では比較的浅いもので表土直下の標高約19.20m前後にある。南側田筆でも表土直下にあり、標高約18.8~18.9mを測る。なお、遺構面は表土下にある、黒色粗砂混じりシルト質土において検出されたものである。

検出された遺構は掘立柱建物跡4棟を主体に溝や柱穴などで、遺物には土師質土器多数に少量ではあるが瓦片がみられる。



第3図 調査区位置図



第4図 A調査区遺構配置図

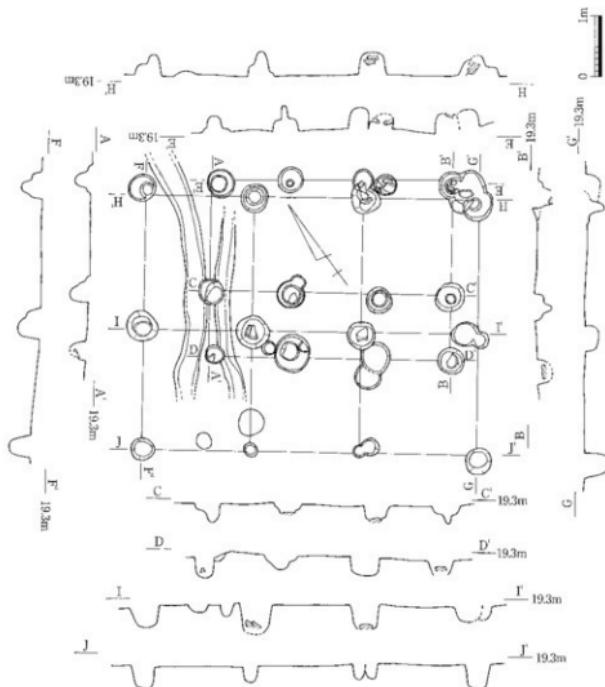
## (2) 挖立柱建物跡

### S B01

調査区北半分の西よりにて検出した2間×3間の掘立柱建物跡である。総柱で構成され桁行は約5.6m、梁間約4.3mの規模をもち、床面積は約24m<sup>2</sup>を測る。谷底の傾斜に対し直交するようあり、主軸方向はN-62°-Wをとる。柱間距離では桁行は約1.8~1.9mを、梁間では2mと2.2mを測る。ちょうど掘立柱建物跡2と重複しており、柱穴の切り合い関係からみると後出するものとおもわれる。柱穴掘方は円形を基調とするもので検出面での直径は約25~60cmを測り、南側辺のものが比較的小径である。深さは25~50cmとばらつきをみせるが、これも小径のものが浅い傾向のためである。柱穴には柱材の据え付け痕が残されているものや、底面に根固めのものとおもわれる礫が残っているものがある。また北西隅のように同一位置にて何度か柱穴を掘りなおしたものも残されている。

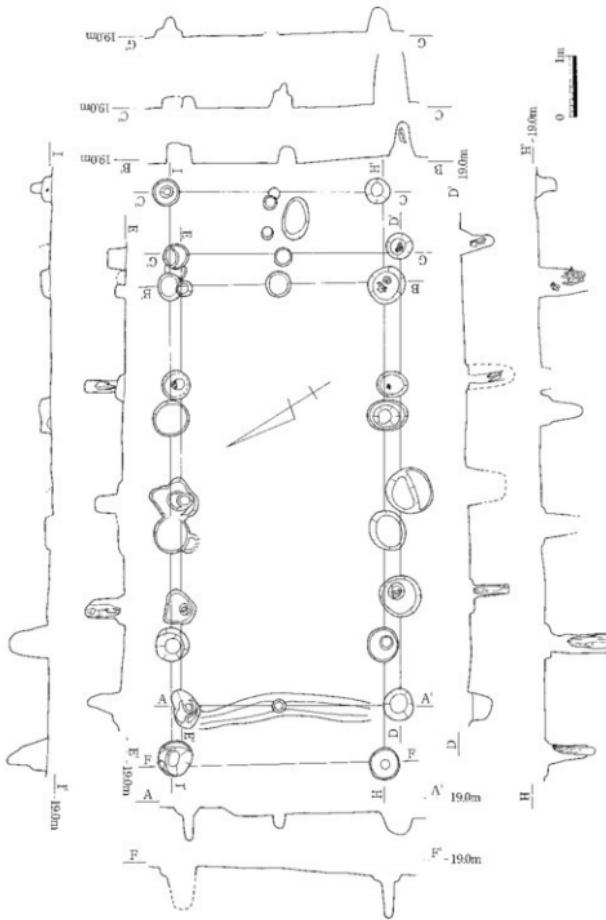
### S B02

S B01と重複した状態で検出された掘立柱建物跡である。S B01の柱穴によって切り込まれているこ



第5図 S B01・02平・断面図

とから、これに先行するものといえる。一方でSB02の西辺では柱穴が溝を切り込んで構築されている。1間×3間の身舎の南面に庇が付くものである。身舎の規模は桁行約4.0m、梁間約1.8mとなっており、庇までは約1.0mを測る。床面積は身舎だけで約7.2m<sup>2</sup>、庇を含めると約11.2m<sup>2</sup>を測る。柱間距離は桁行が1.2~1.4mで、梁間では約1.8mを測る。主軸方向はSB01と同じくN-62°-Wである。柱穴掘り方は円形で、検出面での直径は約40cmを測るものが多く、庇の中には30cmまたは60cmほどとややばらつきがあるものが含まれている。深さは30~40cmで、底面にこれもSB01に見られたように礫をもつものが



第6図 SB03・04平・断面図

ある。

検出状況の限りではSB01とSB02は、ほぼ同一の場所にて前後関係をもった掘立柱建物跡といえるものである。また主軸方向が揃うことから何らかの有機的なつながりを想定することができるものといえ、規模的にはSB02からSB01へと大きくなっている。時期的な変遷やSB02が庇を持つ構造であることを含め検討をする。

#### SB03

検査区の中ほどにて検出されたもので2間×4間の掘立柱建物跡である。桁行は約7.4m、梁間約3.7mの規模をもち、床面積は約27.4m<sup>2</sup>を測る。柱間距離は桁行が1.2~1.4mで、南側柱穴の並びはやや不揃いな感を呈している。また梁間では約1.8mを測る。主軸方向は先ほどのSB01・02とはほぼ同じ、N-61°-Wである。柱穴掘り方は円形で、検出面での直径は50cm前後が多数であるが、20cmほどまたは80cmちかいものもみられる。深さについてはおおむね40cmほどは残っており、柱材の一部が見られたものはだいたい70cmほどを測る。一部に柱穴の切り合いがみられるが、SB03自体の建て替えについては明確にしがたい。

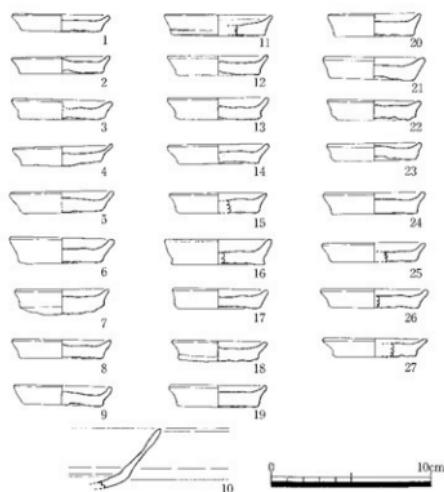
#### SB04

上記のSB03と平面的にみて、僅かに西に寄るもほぼ重複する配置の掘立柱建物跡である。桁行は4間で、柱間距離はおおむね1.8~2mで長さは約8mを測る。さらに東側に1間分の庇が付属しており、これが約1.6mであることから、全長では約9.6mとなる。梁間の長さは約3.8mで、西側では1間となっているが、東側は2間となっており柱間距離は1.9mを測る。床面積は身舎だけで約30.4m<sup>2</sup>、庇を含めると約36.5m<sup>2</sup>を測る。検出面での柱穴の掘り方は円形基調で、直径は40~60cmである。深さはややばらつきが見られ、南側では1mほどの深さに柱材が残っているものもある。対して北東側では断面が箱形で、深さ20cm足らずのものがみられる。

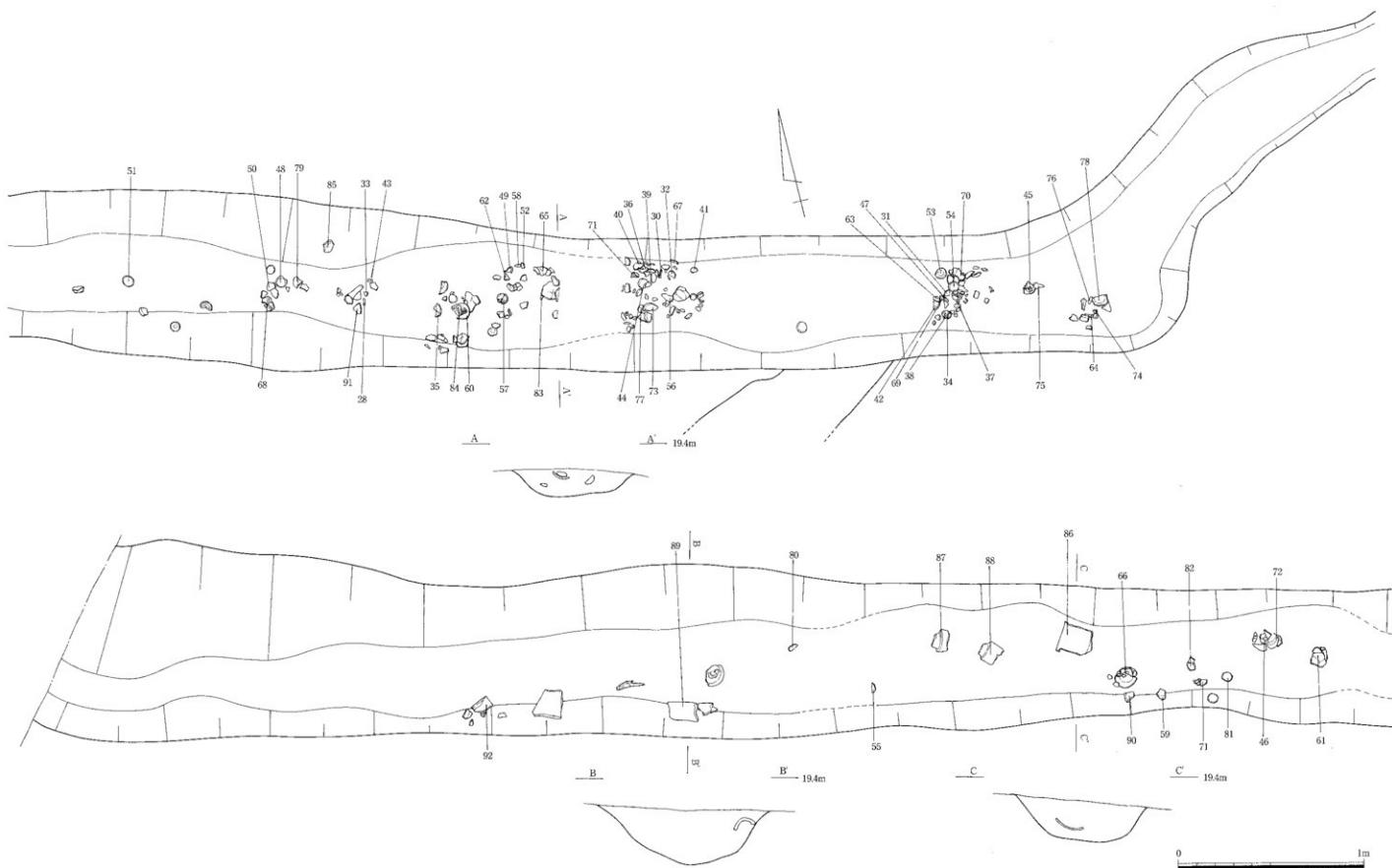
SB04のSB03と同じく東西で、主軸方向はN-61°-Wと同値である。このような状況からするとSB04とSB03は、親密性の高いものであるが柱穴の切り合い関係などから、前後関係を推定するのは困難である。

#### 掘立柱建物跡出土遺物

第7図は上記の建物跡を構成する柱穴から出土した遺物である。SB03は7~10・13・18・19・21が該当する。これらは土師質土器で10の杯以外は小皿である。小皿は口径6cm前後で、器高は1cmほどである。□



第7図 掘立柱建物跡柱穴出土遺物



第8図 SD01遺物出土状況平・断面図

縁部は体部から斜め上方に短く引き出している。7は外底部に歪さを残している。残る他の土器はSB04に伴うもので、土師質土器小皿である。法量的にはSB03と大差ないものである。

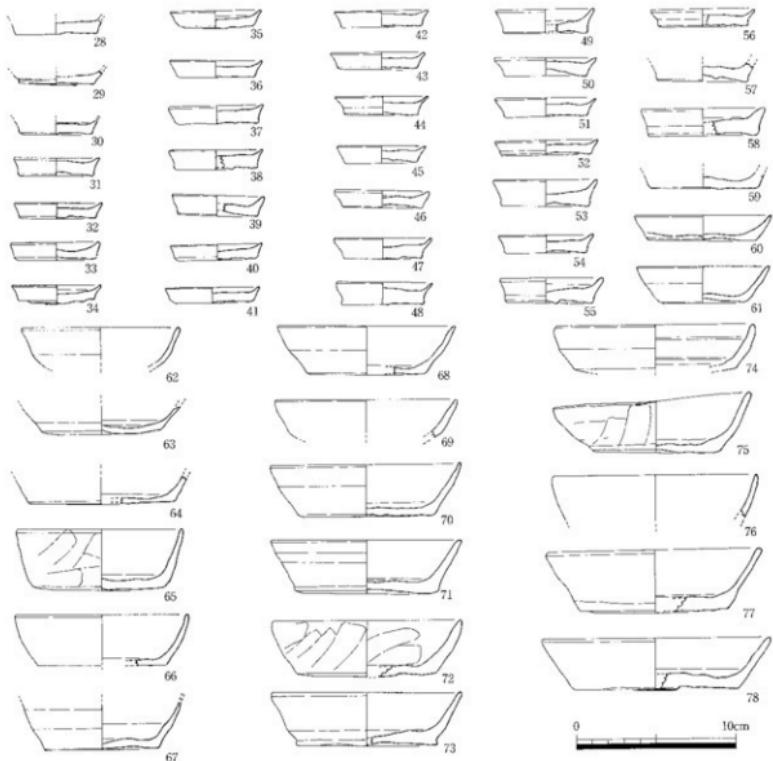
### (3) 溝

#### S D 01

調査区の北端において検出された溝である。溝の全容は調査区外に延伸していくが、調査区北壁に沿いながら北西—南東方向に直線で延び、東端になって北西方向に屈曲している。検出面での幅は直線部分では約70cmを測るが、屈曲した北東部では幅を徐々に減じており東壁では約20cmとなっている。ただ1の屈曲部分は溝1の南側において、北東から南西方向に延びている溝3の延伸である可能性が考慮される。検出状況では不明確であるが、幅などを考慮すると溝1が溝3を切っているものともいえよう。このようになると溝1は直線で、そのまま調査区外に延びているものとおもわれる。溝1は旧地形からすると北西側の傾斜地から、南東の谷筋に向かっているものといえるが溝底での高さは南東側のほうが僅かではあるが高く、北西側との比高差は約10cmを測る。

溝からは土師質土器小皿や杯を主体に瓦などの遺物が出土している。出土状況では溝西側において瓦片が点在するように出土している。他方中ほどから東側にかけては土師質土器などが、比較的まとまった状態で出土している。また断面からは溝内堆積土は上下に分層されるが、遺物は上層に包含されるものが多数を占めるものである。

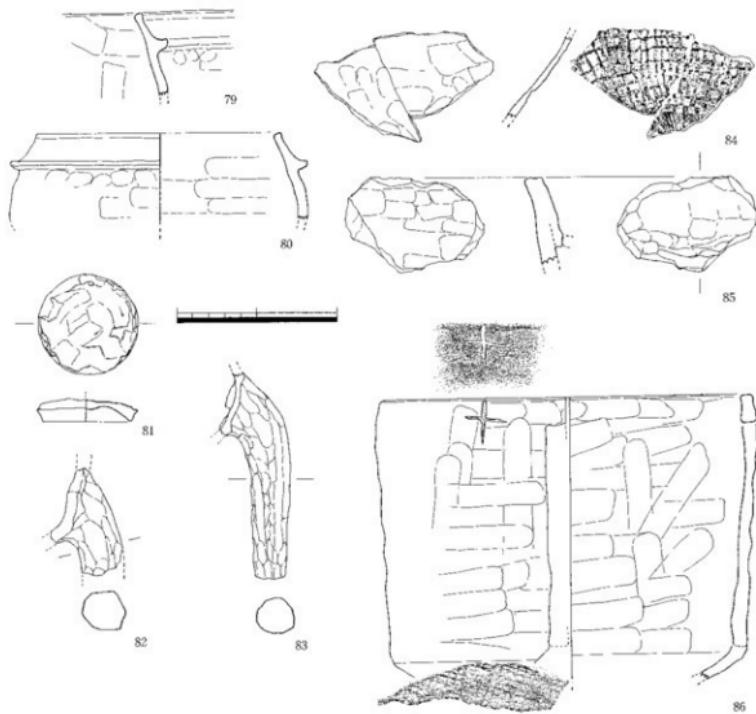
第9~12図が出土遺物である。このうち第12図のみ番号を付加しないで取り上げた遺物である。まず28~60は土師質土器小皿である。口径が約6cm、器高は1cm前後を測るものが主体で、口縁部は底部からそのまま外方に短く引き出しが主体であるが、その形状には厚みや断面形などに差がみられる。また、58~60のように口径が8cm前後のものもみられる。60は内面底部の一部と外底面がやや黒色で、底部には径2mmの孔が外底部より穿たれている。61~78は杯である。このうち61・62は小型の杯で、61は口径8.2cm・器高2.2cmを測る。他は口径が約11~12cm、器高3cm前後で体部が外上方へ立ち上がるものが多いため、体部がやや内渦気味に立ち上がるものもみられる。79~80は土師質土釜の口縁部であるが、色調や口縁部形状からすると同一個体の可能性が高いものである。外面の鋸は断面方形状で、口縁端部までは2cmほど内傾しておさまる。82・83は土釜脚部である。84は土鍋底部で外面には格子目のタタキが残る。85は土釜口縁部で鋸が剥離したものとおもわれる。86は土師質で深鉢の形状を呈するものである。器高は16cm以上で口縁より直下する体部から底部にかけて斜めに折れる。外底部には格子目のタタキを施している。また、体部も体部高にちかい長方形透かしを現存で2カ所に穿っている。なお、口縁外面には記号とおもわれる「+」の線刻がある。87~92は瓦である。87・88は丸瓦玉縁である。87は灰黒色で比較的の厚みがあり重量感のあるもので、胴部凹面には細い条線を残す割りが、玉縁凹面には密な布目がみられる。凸面は全体的に丁寧なナデがみられる。側面はその厚みの1/3ほどの幅で凹面側の面取りを施している。胴部の断面は円形を呈する。88は明灰色で87より軽量感のするものである。また胴部断面もやや扁平気味である。凹面には全体的に密な布目が明瞭で、凸面にはナデを施しているがタタキ痕が残っている。凹面内側の面取りもその厚みの半分ほどになっている。89は平瓦で、胎土・色調は87と同様のものである。凹面・凸面とも全体的にナデが施され、側面はシャープなもので凹面側縁にも狭い面取りがみられる。90は丸瓦側面の破片である。91は軒丸瓦の瓦当片で胎土・色調は88と似通ったものである。復元面径は約15~16cmで、文様は三巴文系で外側に珠文をもつ。ただ、珠文との間に囲線をもつかどうかは不明確で、巴頭の外側を廻る細突線が細長い巴尾の末端とともにおもわれる。珠文は直径8mmほどで、推定では5mm間隔で25個前後配していたものとおもわれる。瓦当外縁側面には貼



第9図 SD01出土遺物（番号とりあげ①）

付けの際の捺による段差が残されている。また、裏面はおむね平坦で外周にはナデが巡らされている。92は丸瓦である。凹面には密な布目を僅かに残し、ナデを施している。凸面にはナデを施しているが、タタキ痕を見てとれる。側面では凹面内側の面取りが厚みの半分以上に及んでいる。

第12図93～139は番号を付加せずに取り上げたものである。このうち93～102はSD01検出時のものである。93～99は土師質土器小皿で口径は5.5～6.8cmを測る。100・101は土師質土器杯で、101は口径12.5cm器高3.9cmを測る。体部は直線的で外傾度は弱いものである。102は平瓦である。全体の1/4ほどとおもわれるが重量感のあるものである。凹面は摩耗気味であるが密な布目を残している。凸面はやや平滑とはいえないがナデを施している。103～106は掘削時のもので上下層に区分できなかった土師質土器小皿である。口径は6cm前後で器高は約1cmを測り、口縁部は短く外上方に引き出している。107～123は溝内上層出土とするもので、107～121は土師質土器小皿で口径は5～6cmである。122・123は土師質土器杯で122はやや深手のもので底部が未調整である。124～139は溝内下層出土で124～136は土師質土

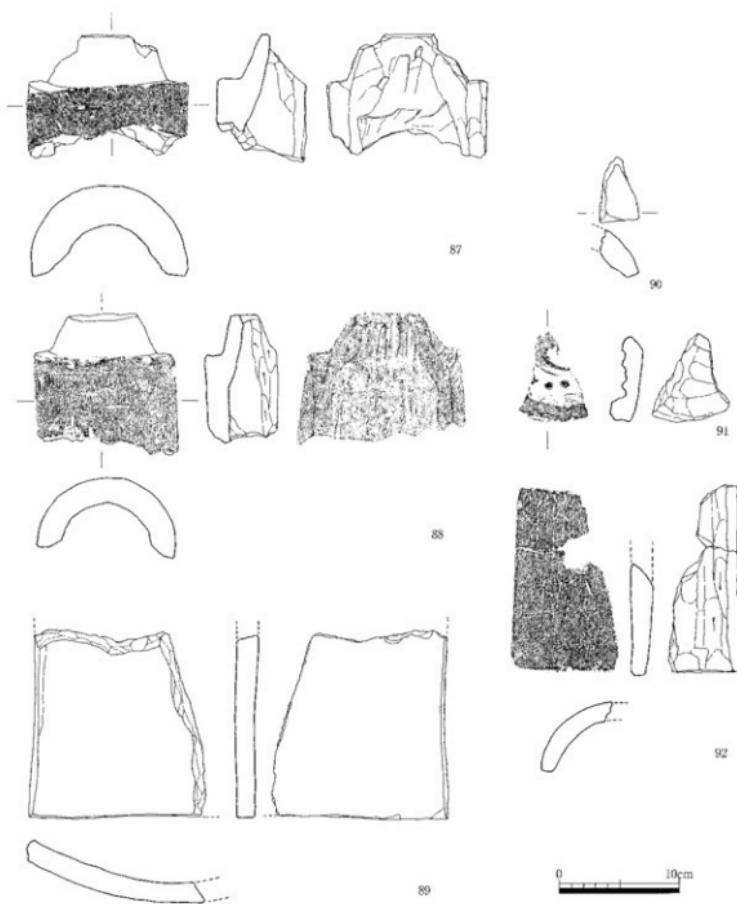


第10図 SD 01出土遺物（番号とりあげ②）

器小皿である。上層と同じく口径は5～6cmを測り、128は口縁部がかなり矮小化している。137～139は土師質土器杯で、137は口径約11cmで、器壁が厚いものである。139は外底部に余分な粘土が切り離されず、同転ケズリが残る。

#### SD 02

調査区北東端にあって南西—北東方向に斜行するように、直線上に延びている溝である。長さはSB 01・SB 02東側までの6mほどで、幅は約40～50cmを測る。深さは10cm前後で、底面の比高差は些少なものであるが、僅かに南西端近くが低くなっている。断面はやや箱形にちかく、埋土には粘性のある灰色系砂質土がみられた。

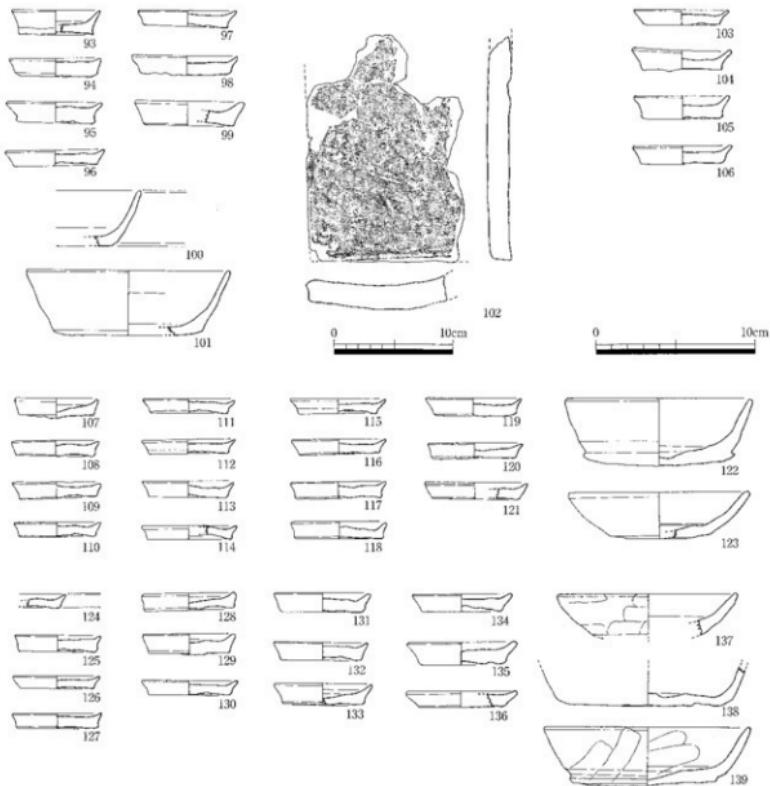


第11図 SD01出土遺物（番号とりあげ③）

### S D 03

S D 02の西側に約2m離れてある溝である。平面的にみるとS D 02と平行するかのようで、走行方向も同じく南西—北東方向である。溝は北東端より延びてS D 02と似て、S B 01・S B 02手前にて途切れる。そしてS B 01・S B 02の南より延伸している。長さは溝の北東端はS D 01に切られている可能性もあり、これらを合わせると約19mとなる。溝の形状は全体的に直線状を呈するが、やや弧状になっている。溝の幅は約40~60cmで、南側ほど広がっている。深さは10~15cmで、断面はやや浅い箱形で、底面の比高差は僅かであるが南西端側が低くなっている。

遺物として140~143の土師質土器小皿が数点出土している。口径は6cm前後で器高は1~1.5cmを測



第12図 SD01出土遺物（番号なし）

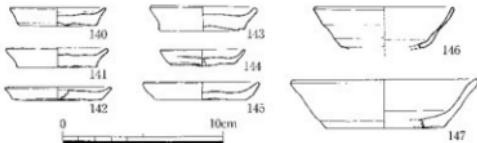
り、口縁部は短く斜め上方に外傾する。

#### S D04

調査区西側において南北方向にやや湾曲するかのように延びている。北端はS B01・S B02と重複する位置より検出され、途中において2カ所ほど途切れながら延びている。また南端はS B03・S B04のあたりで、長さは16mほどを測る。平面形は北端が北西方向に曲がっている。また南端でも中ほどにかけては僅かに蛇行している。幅は中ほどが30cmほどで狭く、両端側は約40cmを測る。断面形は緩い半月状で、検出面からの深さは中ほどから南端ではかなり浅くなっている。底面での比高差でも南端は北端より約20cm低くなっている。また、他の遺構との切り合い関係ではS D03およびS B02の柱穴に切られている様子がうかがわれる。遺物として144~146の土師質上器小皿と杯が出土している。小皿には口径7cmとやや大きいものがある。また口縁部は外方に延びるもやや内湾気味である。杯は口径8.5cm、器高は約2.2cmで体部はやや外傾気味で、器壁が薄いものである。

### S D 05

調査区の中ほど西端において S D04と平行するように、南北方向に伸びている溝である。検出されたのは3.5mほどで、南北両端は消失している。ただ、距離があるが S B01・S B02と重複する位置にて、S D04と接するように湾曲している溝が北



第13図 S D03・04・05出土遺物

延部分の可能性も考慮される。溝の幅は中ほどでは50cm前後で、途切れた北向こうでは30cm前後である。断面はやや掘り鉢状を呈し、底面での比高差は南端が20cmばかり北端より低くなっている。他の遺構との切り合い関係をみると、北端では S D04と同様に S B02の柱穴に切られ、南端でも柱穴の一つに切られている。

遺物では147の土師質土器杯が出土している。口径11.6cm、器高3cmを測り体部は僅かに外湾気味に斜め上方に伸びている。

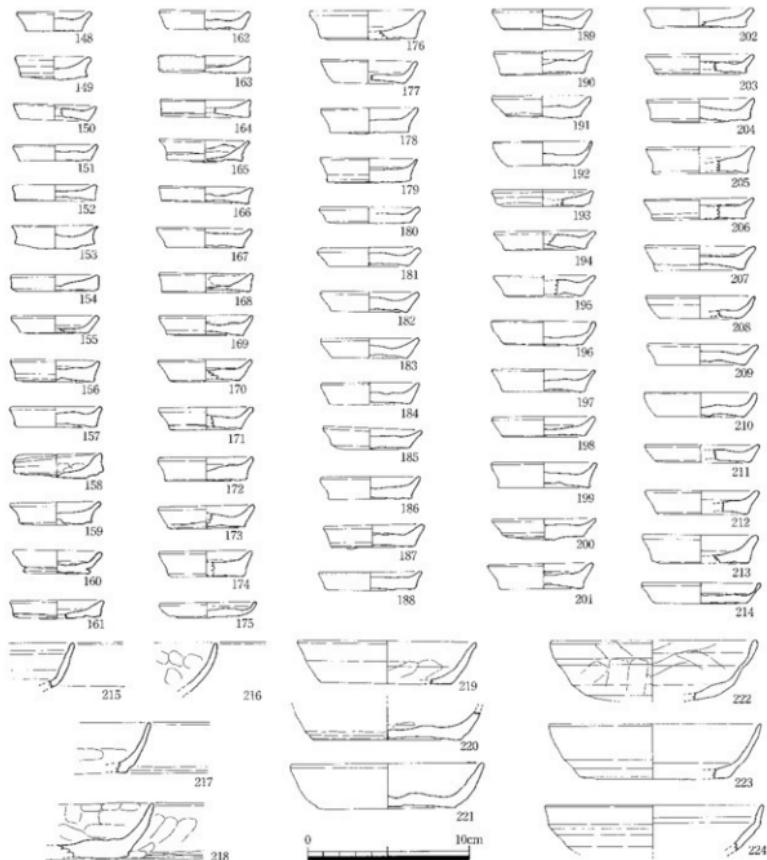
### S D 06

調査区中ほど S B01・S B02南側において、南東—北西方向に伸びている細い溝である。検出面での長さは約4mで、東端は消失している。平面形では直線状を呈するが、消失する手前において南方向に屈曲する様子がみられる。溝の幅は20cm未満で、東端はやや広がるようである。深さは検出面からは10cm足らずと浅く、底面での比高差では西端が高くなっている。他の遺構との切り合い関係では柱穴の一つに切られている状況がみられる。

### S D 07

調査区中ほどにおいて S B03・S B04の直北を南東—北西方向に伸びる溝で、延伸方向は S D01とは平行するようである。平面形は直線的であるが東端では僅かに南に曲がる可能性もあり、ちょうどこのあたりにおいて溝の幅も減じるようになっている。溝の幅は東端では約40cmで、西側では70cmほどとなっている。全体では試掘トレンチなどもあって不明確であるが、おおむね前記の70cmから S D01と同じ100cm前後が相当するものとおもわれる。溝の検出面からの深さはきわめて浅く、深くても10cm前後である。底面では南東側が浅く、北西にかけて深くなっており10cmほどの比高差がある。他の遺構との切り合い関係では、S B04の北西隅柱穴にきわめて近いが切り合いかどうかは微妙な状況である。

遺物では第14図148～224土器が出土している。これらは溝内出土ということで層位に関係なく図示しており、215の須恵器皿以外は土師質土器である。148～214は小皿で、148～160は口径が5cm未満である。161～185は口径が5cm台で186～214は口径6～7cmである。口縁部は短く斜め上方に引き出しているが、断面三角の突起状を呈する矮小化したものもある。また75は口縁部が薄い底部から短く内湾している。また、158・168・207などは底部に小孔がみられる。216～224は杯である。口径は11～14cmを測り、やや浅手の感がするものである。224は口縁が罐部手前で直上方に向かって折れるものである。220は約1/3を残すのみであるが、外底部にはケズリ痕が同心円状にめぐっている。



第14図 S D07出土遺物

#### S D08

調査区南側にて数条の溝が切り合い関係をもちながら多方向に延びている。S D08はやや東に振るも南北方向に延びている溝で、長さは北端が途切れていますが約3mを測り、南端は細丸くなっています。平面形では検出した長さが短いこともあるが、ややくねるもおむね直線的といえるものである。溝の幅は最大で約60cmを測り、南端では狭くなっていく。検出面の深さは南端で約10cmを測り、底面での比高ではそれほどの差はみられない。切り合い関係ではS D10・11を切り、S D09に切られているものである。

### S D 09

S D 08を切るように南東—北西方向に延びる溝である。検出できたのは約3.5mで調査区東側に続いているものとおもわれる。溝の幅は約30~40cmで、東側ほど広くなっている。平面形でみるとほぼ直線的で、輻に相違はあるがS D01・06・07と平行するものといえる。断面形は箱型にちかいもので、検出面からの深さは5~10cmほどである。切り合い関係ではS D08・10・11を切るものである。

### S D 10

S D 08の南側約1mのところにてS D 11に切られながら、わずかに50cmほど検出されたものである。幅は検出面で約30cmを測り、延伸方向はS D 08と同じやや東に振る南北方向をとっているものといえるが、溝として機能していたかどうかは不明である。

### S D 11・12

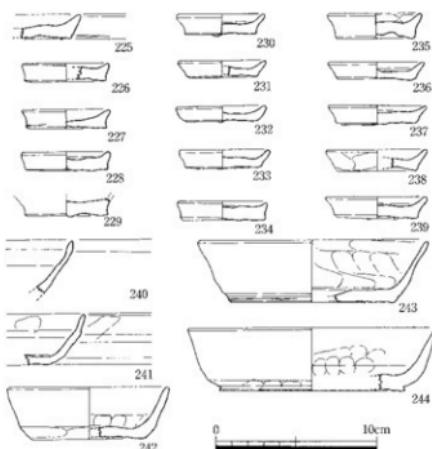
調査区を北東から南西にかけて縦断するように、平行して延びている2条の溝である。検出された長さは約6mであるが、両端とも調査区外に延びているものとおもわれる。2条の溝は30cmほどの間をおき、途中でやや南に変針するように弧状に延びている。検出面での幅をみると西側S D 11は最大幅で約60cm、東側S D 12は同じく45cmと多少の差がある。深さでは検出面からでは約10~15cmで、底面では両方とも北東端側が数cmではあるが低くなっている。切り合い関係ではS D 10を切るが、S D 08・09には切られるものである。

#### (4) 不明遺構

##### S X 01

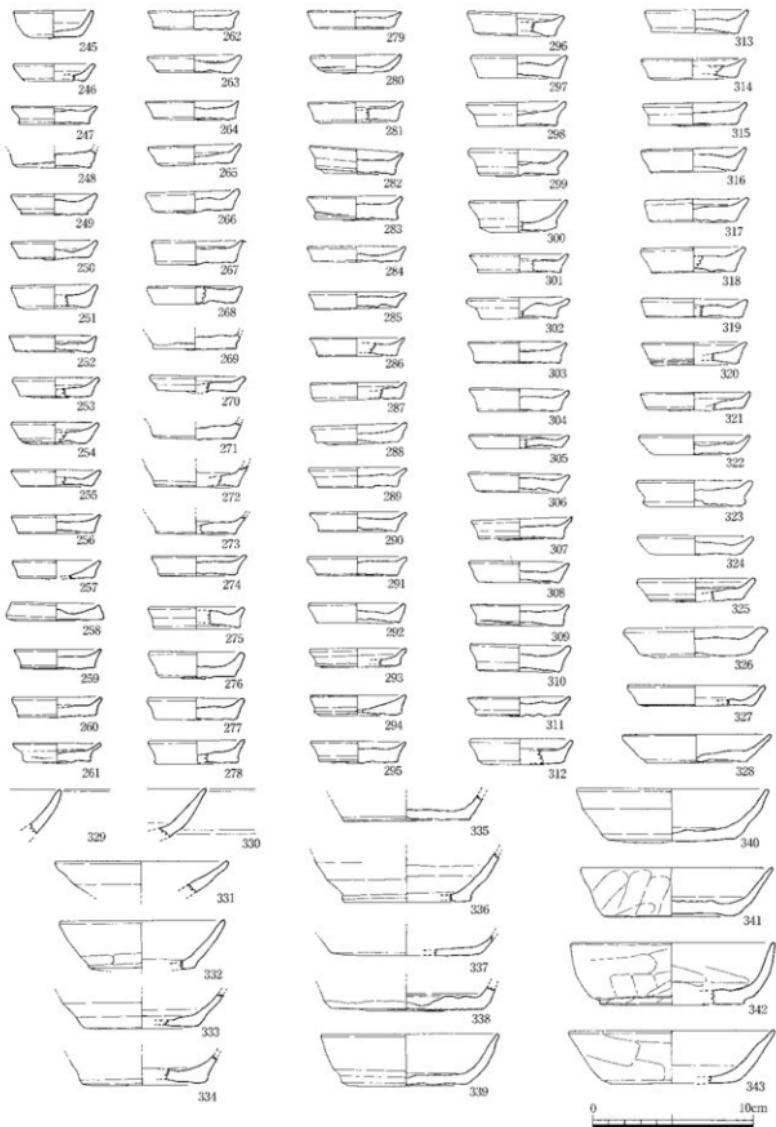
調査区の南西端よりに所在する土坑状の遺構で、S B 03・S B 04の南側辺にはきわめて近接するものである。遺構は長軸を北東—南西方向にとるもので、平面形は隅丸方形状を呈している。規模は長軸が約130cm、短軸は約60cmを測り、深さは約10cmである。

第15図の遺物は遺構内からではないが精査検出時に、遺構周囲を含めて出土したものである。225~239は土師質土器小皿で、口径は5~6cmで器高は1~1.5cmを測る。240~244は

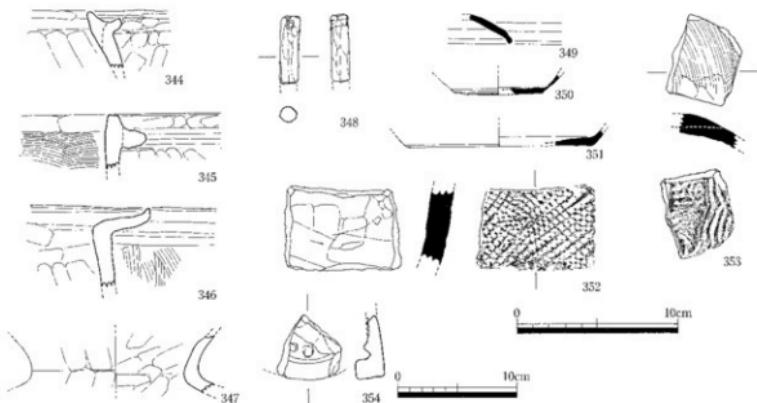


第15図 S X 01周辺出土遺物

土師質土器杯で243・244は口径14~15cm、器高4cm前後で法量的には比較的大きなものといえる。241は口縁端部下がやや断面三角形状に稜をもっている。



第16図 北半包含層出土遺物①

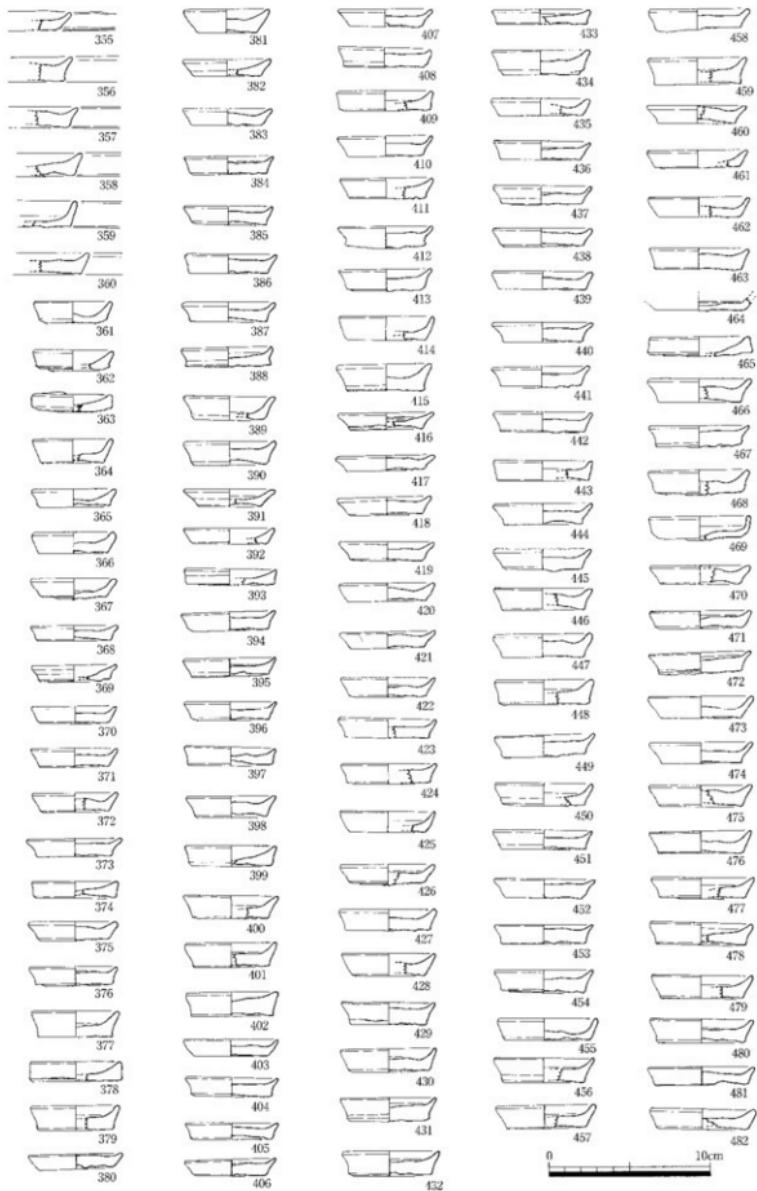


第17図 北半包含層出土遺物②

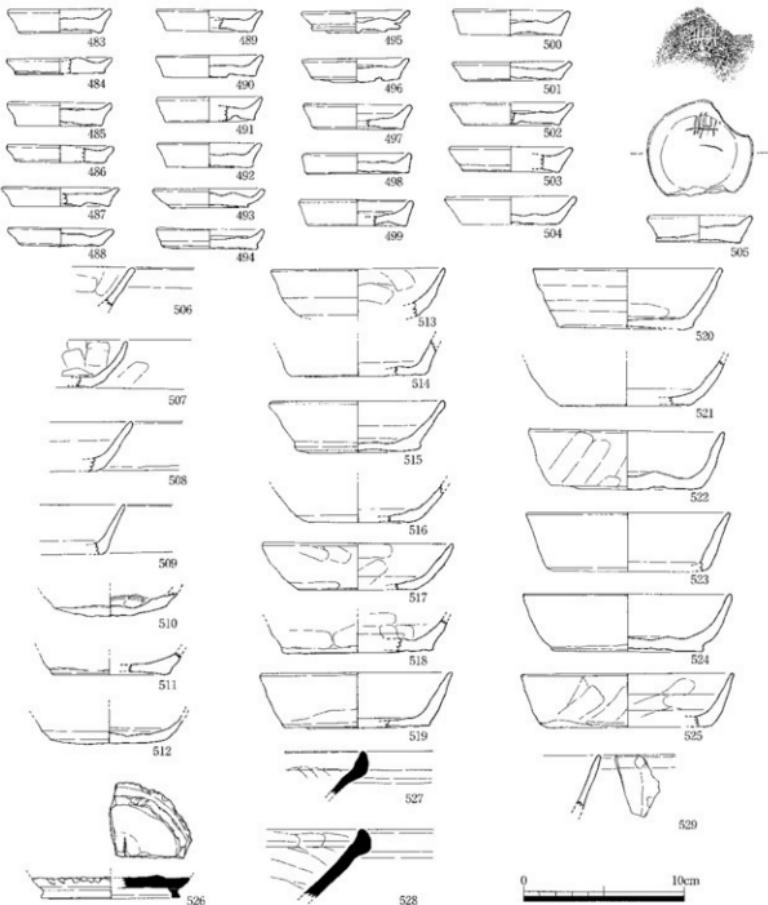
### (5) 包含層出土遺物

第16~20図は包含層出土とする遺物である。このうち第16・17図245~354は調査区においてS D007より北側半分からのものである。245~328は土師質土器小皿である。口径が5cm未満であるものや7cmをこえるものも含まれるが、量的多数を占めるのは5~6cm台のものである。なお、295は底部に小孔がみられるものである。329~343は土師質土器杯である。口径が11~13cmで器高は3~4cmを測る。342では外底部に粘土が平板状に残っている。344・345は土師質土器口縁部である。口縁端部と鉢の間隔は狭いが、鉢は断面方形形を呈している。346は暗茶褐色を呈する甕口頭部である。断面は三角に折れて口縁端部にいたり、端部は上方に掻み上げる。体部にはハケ目が残る。347は甕口頭部とおもわれるが、色調は明橙色にちかく焼成不良ともおもわれる。348は一方の端を欠くが棒状土錘とおもわれる。断面形は円柱状で端部に直径5mmほどの通し孔がある。349~353は須恵器の破片である。西側丘陵に所在するB地区から流入したものとおもわれる。354は軒丸瓦の瓦当片である。91に胎土・色調とも近似するもので、同一個体の可能性も考えられる。文様では内区を欠いており、珠文を2点残すのみである。瓦当裏面の外縁にはナデがめぐっている。

つづいて第18・19図355~529が調査区南側半分における包含層出土とするものである。355~505までは土師質土器小皿で、法量からは北側包含層と同様の傾向といえる。505は底部内面に線刻がみられる。505は口径6.5cm、器高1.6cmで法量的には主体を占めているものといえる。口縁部も短いがしっかりと斜め上方に引き出している。線刻はタテ方向に短い線が5本あり、これに直交するヨコ方向に長い線を刻んでいる。数量を示す記号とも受け取れるものである。506~525は土師質土器杯である。口径は11~13cmで器高は3cm台のものである。器壁がやや厚くしっかりした感がつよいものである。526~528は須恵器である。526は高台が底部ごと剥離したもので、外面には打ち欠いたような痕跡が小刻みにみられる。527・528は口縁端部で鉢とおもわれる。断面は鈍い三角形形状を呈し、焼成時の積み重ねであろうか端部外面のみ黒灰色である。529は青磁片で、外面に蓮弁文が施されている。



第18図 南半包含層出土遺物①

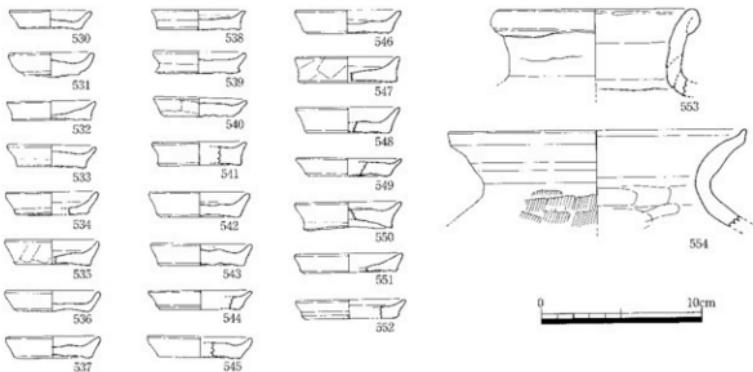


第19図 南半包含層出土遺物②

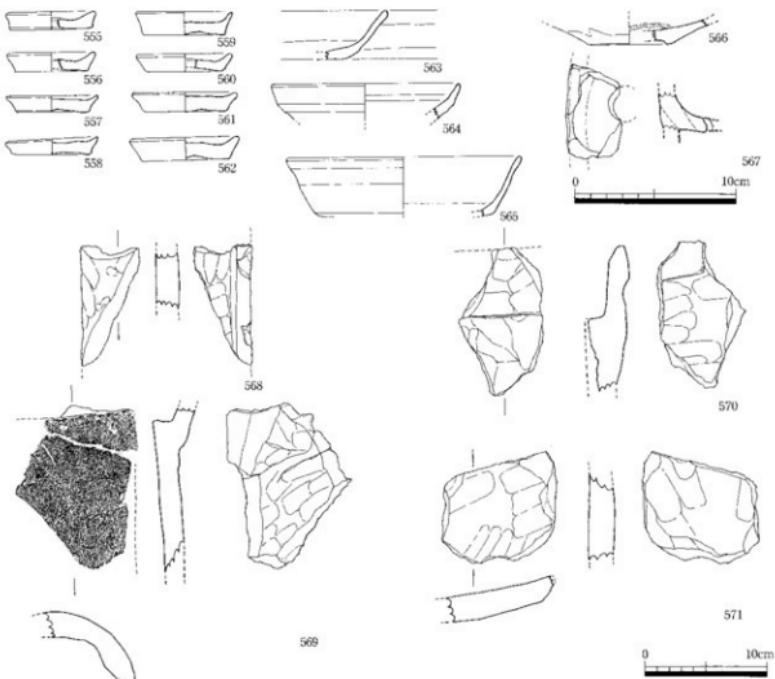
第20図530～554はさきほどのように、調査区を南北に二分したうちの南側半分での出土であるが、南西よりの範囲において比較的集中して出土したものである。530～552は土師質土器小皿で、口径は5～6.6cmで器高は1～1.6cmを示す。553は備前焼壺の口縁部で、壺部は小さく外反しながら玉縁におさまる。554は甕口頭部であるが、色調は明赤茶色である。また堅質なものであるがやはり焼成不良のものとおもわれる。体部外面にはハケが残る。

#### (6) 位置不明遺物

第21図555～571はA調査区での出土位置不明遺物である。555～562は土師質土器小皿、563～565は土



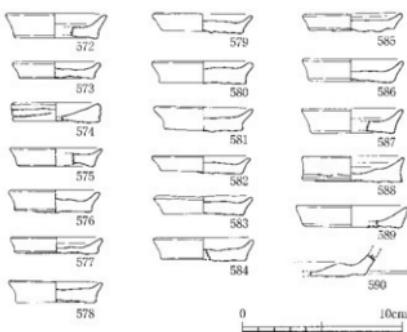
第20図 南半包含層西南部出土遺物



第21図 A調査区出土位置不明遺物

師質土器杯である。566は肥前系陶器とおもわれ、高台をのぞき施釉している。見込に砂目がみられる。567は土師質土鍋把手で、破片であるが孔をもっている。568～571は瓦片で、いずれも砂粒を多く含んだ暗灰色を呈するものである。568～570は丸瓦正縁の破片である。569はやや扁平化を呈するもので、凸面・凹面ともにナデのみみられる。側面はその厚みの半分以下の幅で、凹面内側の面取りを施しているものとおもわれる。571は平瓦である。凸面・凹面ともにナデが残っている。

第22図572～590はA調査区南側半分での原位置不明遺物である。572～589は土師質土器小皿で口径は5～6cm、器高は1～1.5cmである。590は土師質土器杯の破片である。



第22図 A調査区出土位置不明遺物②

## 第2節 B調査区について

### (1) 概要

B調査区はA調査区の西側100mほどに位置する、谷筋を閉む西側丘陵の一画に設定されたものである。西側丘陵は北側山塊より曲がりながら延びているもので、ちょうどその先端にかけては標高約37m及び33mの小頂部が連なっている。ただ旧状においてはその前後の稜線を含め、東西両斜面は果樹園や水田などとして開墾がなされており、傾斜に沿った段畑が広がっていた。

B調査区は丘陵先端において丘陵の方向が東側に屈曲した、その付け根にあたる東側斜面の半ば付近から裾部にあたるものである。標高約29m前後から幅は狭いながらも8段以上の田地が連なっており、調査区は標高約23mから19.5mにかけての、南北約45m・東西約20mの範囲である。このため調査区西側上半はやや等高線も込み入った状況であるが、東側下半は緩やかとなっている。

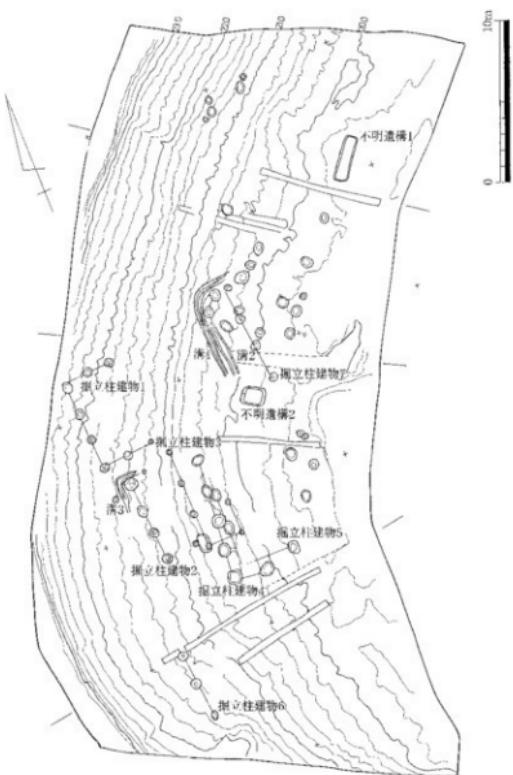
斜面の土壠序を東西方向みると、北側（A-A'）では上方から下方の地形変化点にかけては、厚く流出土である二次堆積土がみられる。ちょうど地形変化点の辺りでは基盤土において80cm以上の急傾斜がみられ、それより下方は平坦となっている。この平坦面の中ほどでは焼土及び炭化物の広がりがみられた。調査区中ほど（B-B'）でも上方から傾斜変換点にかけては、最大で60cmほどの二次堆積土がみられた。基盤土の傾斜ラインはやや緩やかなものといえる。調査区南側（C-C'）では二次堆積層は他と比べやや浅いもので、灰茶色砂質土が20～30cmの層厚をもつものであった。検出された遺構は掘立柱建物跡7棟及び溝、柱穴などで遺物には土師器や須恵器、土師質土器などがみられる。

### (2) 掘立柱建物跡

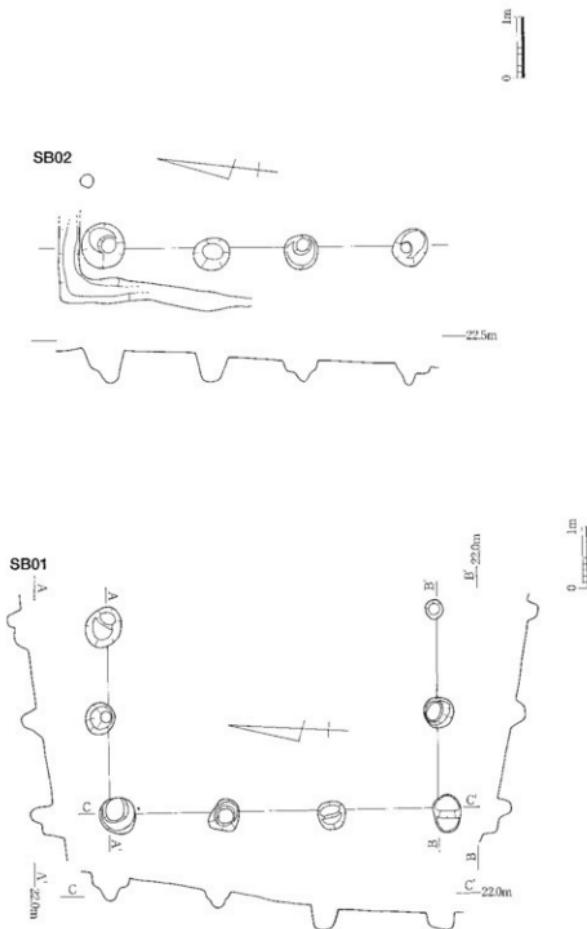
#### S B01

調査区の中ほど斜面上方に検出されたものである。検出された建物跡は3間×2間である。ただ斜面下方にあたる東側辺では柱間の柱穴が検出されておらず、なお1間ほど延びていた可能性も考慮される。また西側柱も南側に1間延びていることも想定される。現状において長軸方向は等高線に

斜行するようにN-3°-Wをとる。桁行は約5.6m、梁間約3.2mの規模をもち、床面積は約17.9m<sup>2</sup>を測る。柱間距離は桁行が1.8~2mで、梁間では約1.5~1.7mを測る。柱穴掘り方を西側倒辺でみると平面形はやや不整ながらも円形基調で、検出面での直径は50~60cmである。また、柱材を据えたためか段掘りで、検出面からの深さは30~40cmである。底面での比高差は北西隅と南西隅では約50cmの差がみられる。他方傾斜下方にあたる北東隅と南東隅の柱穴底面では北西隅に比して、約40cm及び80cmの差がある。



第23図 B調査区造構配置図



第24図 SB01・02平・断面図

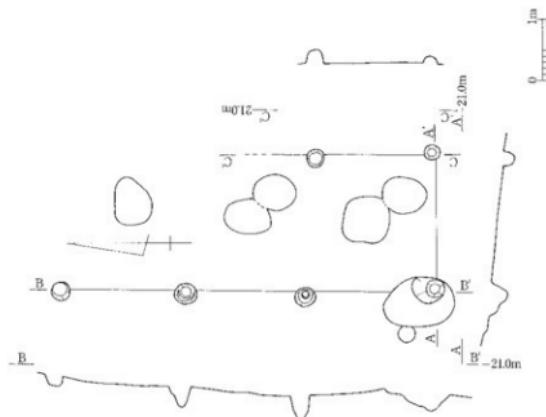
#### SB02

SB01の南側約1.5mのところにて検出された建物跡である。検出されたのは西側壁辺の柱穴4個である。なお、南端柱穴の東側にある小柱穴がみられるが、建物跡を構成するかどうかについては不確実であり、可能性としてとどまるものとおもわれる。柱間距離は1.5~1.8mで、長さは約5mを測る。長軸方向はSB01と同様に等高線に対し斜行し、N-6°-Wをとる。西側壁辺柱穴の掘り方はおおむね円

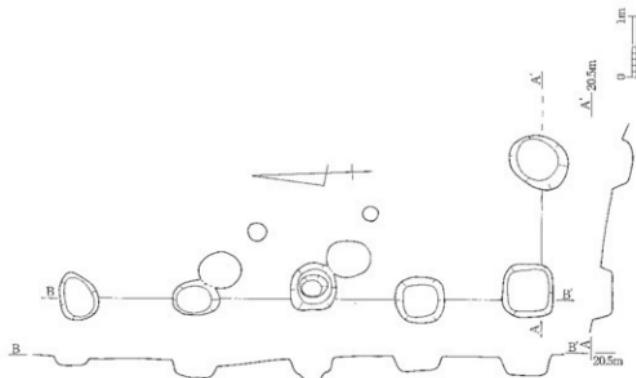
形で、直径が約60~70cmを測るものである。柱穴の検出面からの深さは30~50cmで南側ほど浅くなっているが、底面での比高差は10cm前後である。なお、柱穴北側の脇にてこれを取り囲むように溝(S D03)が巡っている。ちょうどこの柱穴を隅とするように直角に折れており、南及び東に僅かであるが延びている。

#### S B03

S B02より傾斜を2mばかり下ったところにある建物跡である。検出されたのは西側側辺と東側側辺の一部で、現状では4間×1間が想定される。現状では桁行は約6.3m、梁間約2.3mの規模をもち、柱間距離は桁行が2~2.1mを測る。また床面積は約14.5m<sup>2</sup>を測り、長軸方向は等高線に斜行するが、N-



第25図 S B03平・断面図



第26図 S B04平・断面図

$2^{\circ}$  -Wをとる。柱穴掘り方の検出面での直径は30cm前後の円形で、検出面からの深さは10~40cmである。底面での比高差は西側側辺では40cmほど北端柱穴が高く、東側側辺とではさらに10cmの差がみられる。

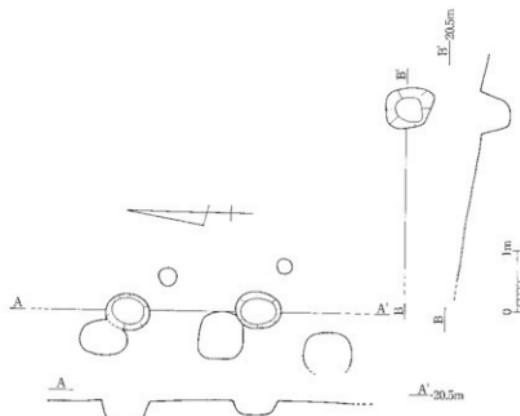
#### S B04

S B03とおむね重複する位置にて検出された、現状では4間×1間の建物跡である。これも西側側辺は明確に検出されるが、東側については南端柱穴に對応する柱穴1個のみ

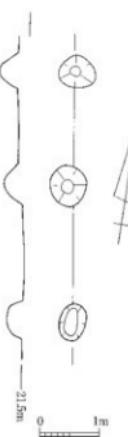
で、状況からは規模的にはさらに大きかった可能性もある。現状では桁行は約7.5m、梁間約2.3mの規模をもち、柱間距離は桁行が1.8~2mで、床面積は約17.3m<sup>2</sup>を測る。長軸方向はやや傾斜に平行気味になり、N-4° -Eをとる。柱穴掘り方はやや不整なものもあるが方形基調といえる。規模も他のものより大きく最大で80cm四方となっている。検出面からの深さは変動のためか10~30cmほどで、底面での比高差は西側側辺では10cm前後といえるが、東側では50cmほど低くなっている。

#### S B05

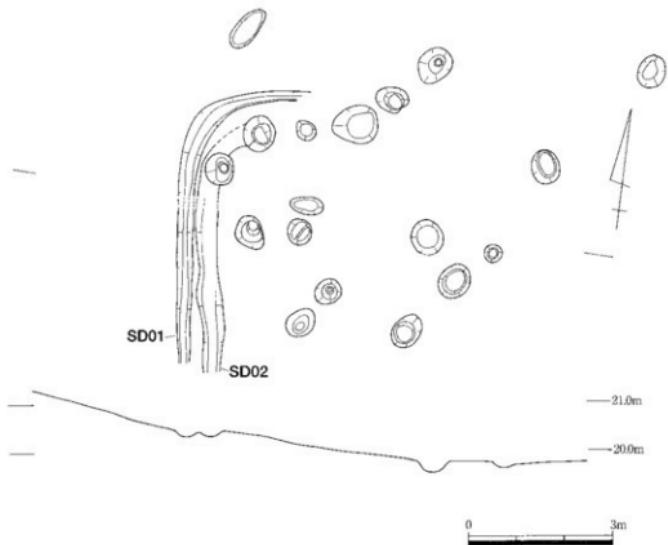
これも平面的にはS B03・04と重複するようにある建物跡である。ただ、検出状況はあまり良くなく、西側側辺柱穴の並びと柱穴の大きさなどから想定するものである。想定するのはちょうど西側側辺の南に南北隅にあたる柱穴をおいて、2間×1間以上の建物跡である。これからすると長軸をおむね南北方向にとるものとなり、桁行は約4.5m以上、梁間約3.4mの規模をもつ。柱間距離は桁行が2.3mとなる。柱穴掘り方は不整円形または隅丸方形で、直径は70cm前後を測る。検出面からの深さは西側側辺で30~40cm、東側側辺では約40cmを測り、底面での比高差は70cmほど東側が低くなっている。



第27図 S B05平・断面図



第28図 S B06平・断面図



第29図 S D 01・02平面・断面図

#### S B 06

これまでのS B01~05とはやや離れた調査区の南端のやや斜面上方になる、標高21.5m前後で検出されたものである。検出されたのは柱穴3個の並びで、おそらく西側側柱と想定するものである。柱穴は掘り方が直径50~60cmを測る円形基調のもので、柱間距離は2~2.2mである。検出面からの深さは約30~40cmで、底面の深さは南端柱穴が20cmほど高くなっている。また、主軸方向はN-8°-Wをとる。

#### S B 07

調査区中ほどの傾斜がやや緩くなったあたりに、十数個の柱穴がまとまった範囲がある。S B07はこの内で柱穴4個からなる並びで、S B06と同様に側柱と想定するものである。柱穴は掘り方が直径50~60cmを測る円形基調のもので、柱間距離は2~2.2mで長さは約6.2mを測る。検出面からの深さは約20~30cmで、底面の深さは南端柱穴が40cmほど低くなっている。また、主軸方向はN-4°-Wをとる。

#### (3) 溝

##### S D 01・02

S B07のある柱穴群にて検出された、斜面等高線に斜行して延びる2条の小溝である。平面形は北西隅を直角とするL字形である。2条の溝は間隔が10cm未満ときわめて接近するが、重複はせず平行に延びている。ただ外上方にあるSD01に比して内側SD02はやや残りが良くなく、隅部あたりが判然としていない。SD01は残る長さが約7mを測る。SD01は検出面からの深さが最大で約30cmを、SD02は

約20cmを測る。いずれとも内側に所在する柱穴群と関連するものとおもわれる。

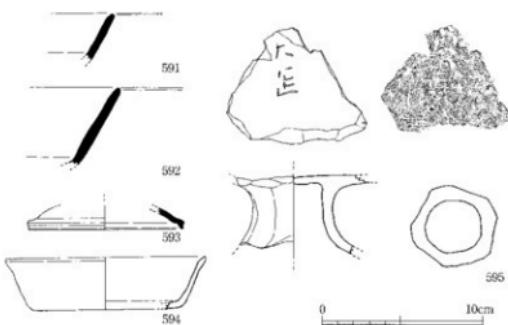
#### S D 03

S B02の北西際にて、S D01・02と同様に平面形がL字状を呈する小溝である。幅は約40cmで、深さは最大でも10cmほどである。両側とも下端は途中にて消失しており、長さは約3mを残すのみである。S B02との関連性が想定されるものである。

#### (4) 柱穴

第30図は柱穴または他の遺構から出土した遺物である。

591・592は須恵器杯の破片である。593は杯蓋である。594・595は溝出土とするものであるが、遺構との照合ができずS D02・03またはその周囲の柱穴からの出土とおもわれるものである。594は杯である。595は土師器高杯で脚柱部は短いが、外面は整形して多角形を呈する。杯部内面は摩耗気味であるがナデなどがみてとれる。また、焼成前線刻が見られるのが特徴である。これも細部に至るまで明確ではないが、文字を刻んだ可能性が考えられるものである。文字とすれば「大」「・」「正」であろうか。また、脚柱部外面の一方所にも線刻がある。



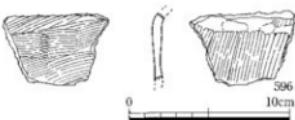
第30図 柱穴ほか出土遺物

#### (5) 不明遺構

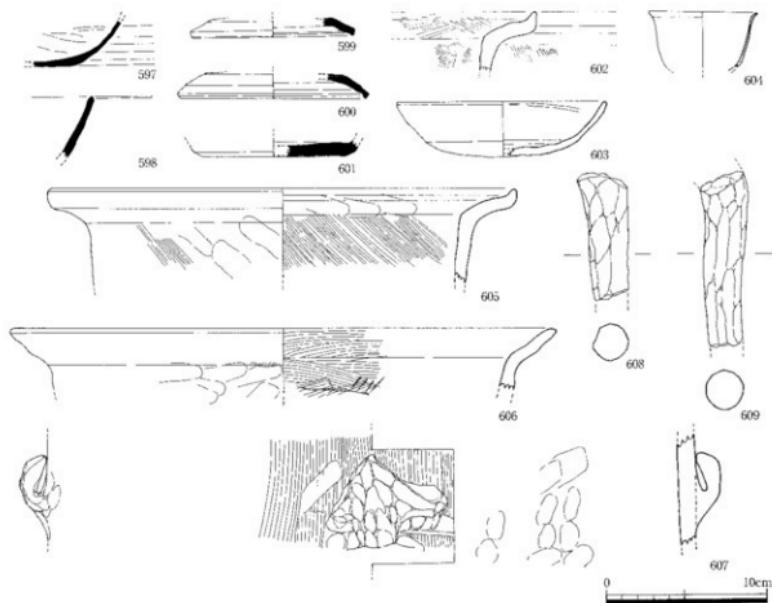
##### S X01

調査区北東より下方のはば平坦となる位置にて検出された土坑状の遺構である。平面形は長方形を呈し、長軸方向はN-37°-Eをとり、傾斜に対しあおむね平行している。規模は長さ2.8m、幅0.85mを測る。底面は北東側の長軸方向にて70cmほどの範囲が一段高くなっており、検出面からの深さは約15cmで、標高約19.6mを測る。底面南側はこれより10cmほど低いもので、縦断面形はおおむね平坦なものである。

遺物は第31図596が出土している。土師器甕頸部から体部の破片で、外面にはタテハケが内面にはヨコハケがみられる。



第31図 S X01出土遺物

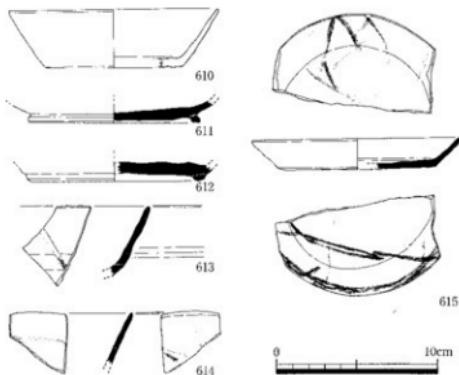


第32図 S X 02出土遺物

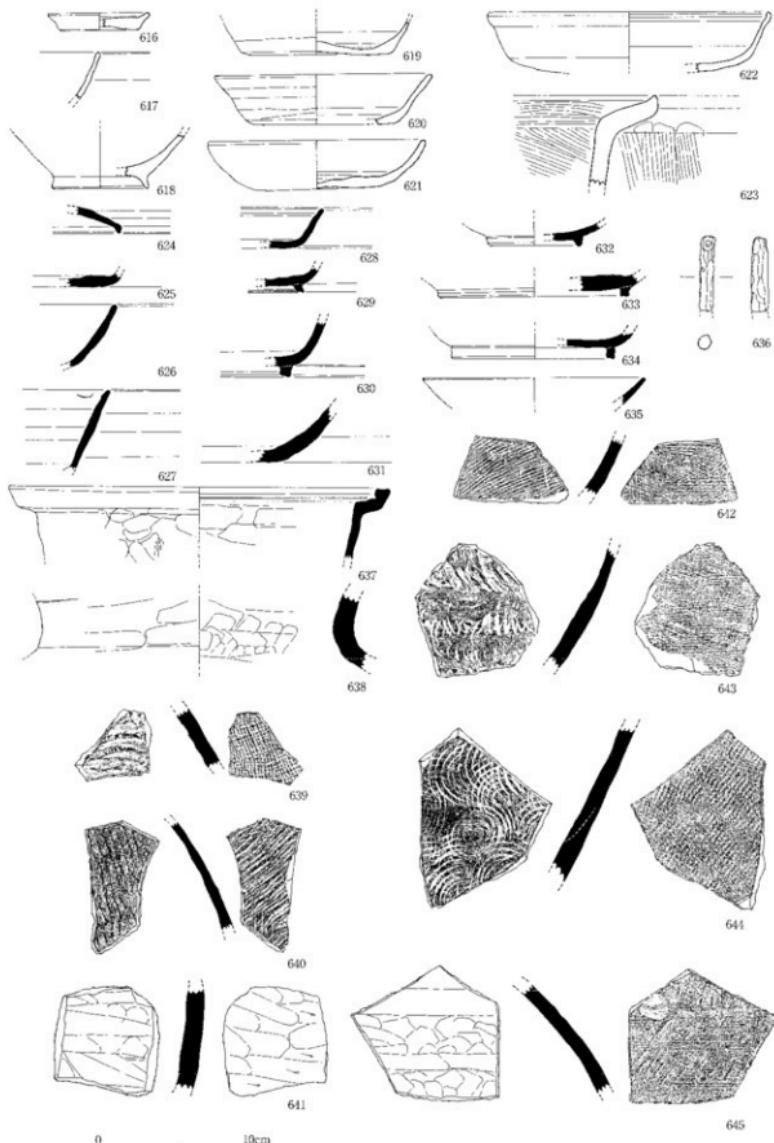
#### S X 02

調査区の中ほど斜面下方に位置するもので、平面形が方形を呈する土坑状の遺構である。規模は長軸が1.4m、短軸が1.15mを測る。長軸方向は傾斜に直交するようになって、N-62°-Wをとる。上方西側は消失気味で東側では検出面からの深さは約20cmとなっており、底面縦断形は東下がりである。

遺物は第32図597~607が出土している。597~601は須恵器である。599は焼成が不良気味でやや赤みがかっている。602は色調が明茶色の臺口縁部で、頸部から口縁端部にかけては緩く



第33図 包含層出土遺物①(南側)



第34図 包含層出土遺物②

折れ、端部は上方に摘み上げる。体部内外面にはハケメが残る。603は土師質土器杯で、復元口径約12.8cmで器高は3.2cmを測る。外底部にはヘラケズリがみてとれる。604は白磁で口縁端部は短いがつよく外反する。605は602と同じ色調と形状をなす土器器壺口縁部で、体部内面には右下がりの斜め方向のハケメを施している。606は土師質土鍋で口頭部がやや低く斜めに折れる。端部は細丸で取まり、内面の調整はハケメである。607は土器器の把手を残すもので壺または瓶とおもわれる。残る破片からは直線的な体部になる。外面にはハケメが残る。608・609は土師質土壺の脚部である。

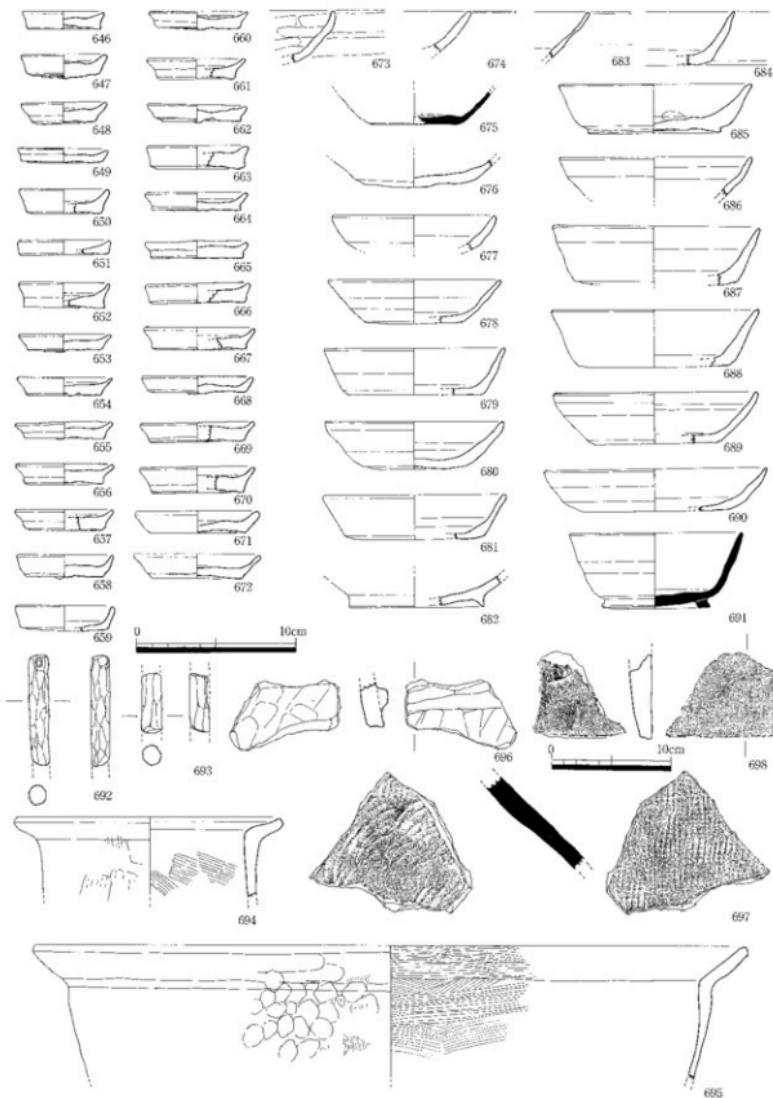
#### (6) 包含層出土遺物

第33・34図は包含層出土遺物とするもので、このうち610～615は調査区の南側において比較的まとまりをもって出土したものである。610は口径13cm・器高3.6cmを測る土師質土器杯で、611～614は須恵器杯である。611・612は高台がつくものである。613・614は体部片で火搾状の黒線がほんやり気味にみられる。615は皿で復元口径約13cmに復元低径は約10cm、器高は1.9cmを測る。口縁端部外面をはじめ内外面には614と同じく火搾状の黒線がはしるが明瞭である。

第34図616～645はB調査区全体での包含層出土遺物で、616は土師質土器小皿である。617は口縁部破片でやや堅質である。端部内外面のみやや黒灰色になっている。618は碗外底部片である。外面は明赤橙色であるが、内面はぼやけているがやや黒灰色である。619～621は杯である。619は薄手で精良なつくりである。622は土器器皿である。口縁端部内面に段状の小さな折れをもち、内外面ともに表面は赤みをもつものである。623は土器器壺口縁部で厚みのあるものである。内外面ともハケメである。624・625・627～631・633～636・638～645は須恵器であるが、626・632・637は瓦質である。624は蓋である。626は体部上半で内外面とも口縁下に白色を呈する未焼成の帯がめぐる。628～635は杯または皿などの体部や底部である。637は鍋状の口縁部とおもわれ、端部は短く水平に折れて直上に立ち上がる。638は壺頸部である。639～645は体部片で、内外面に整形具痕が残る。645外面には自然釉がみられる。636は棒状土鉢の半欠品で、端部に孔をもつ。

#### (7) 位置不明遺物

第35図646～698はB調査区での位置不明遺物である。土器器・土師質土器のほか須恵器や瓦片などがみられる。646～672は土師質土器小皿で口径5～8cmを測る。673～691のうち675・682・691をのぞくものは土師質土器杯である。口径は10.7～13.6cmで器高は2.4～3.6cmを測る。675は須恵器杯である。682は618と色調や形状が同様なものであるが、内面の黒色がはっきりしており内黒の黒色土器椀とおもわれる。調整は摩耗もあり不鮮明である。土師質土器椀である。高台は断面二角形を呈する。691は須恵器杯で口径10.5cm、器高4.7cmを測り高台は断面四角形で外側に向かうものである。692・693は棒状土鉢である。692は一端を欠くが、孔をもつ。694は土器器壺で法量的には小型のものか。695は土師質土器鍋で比較的堅質なものである。内面にはハケメが、外面にはオサエが残る。696は明茶色の色調をするもので、器壁は厚みがある。把手の破片であろうか。697は須恵器体部片である。698は平瓦片である。

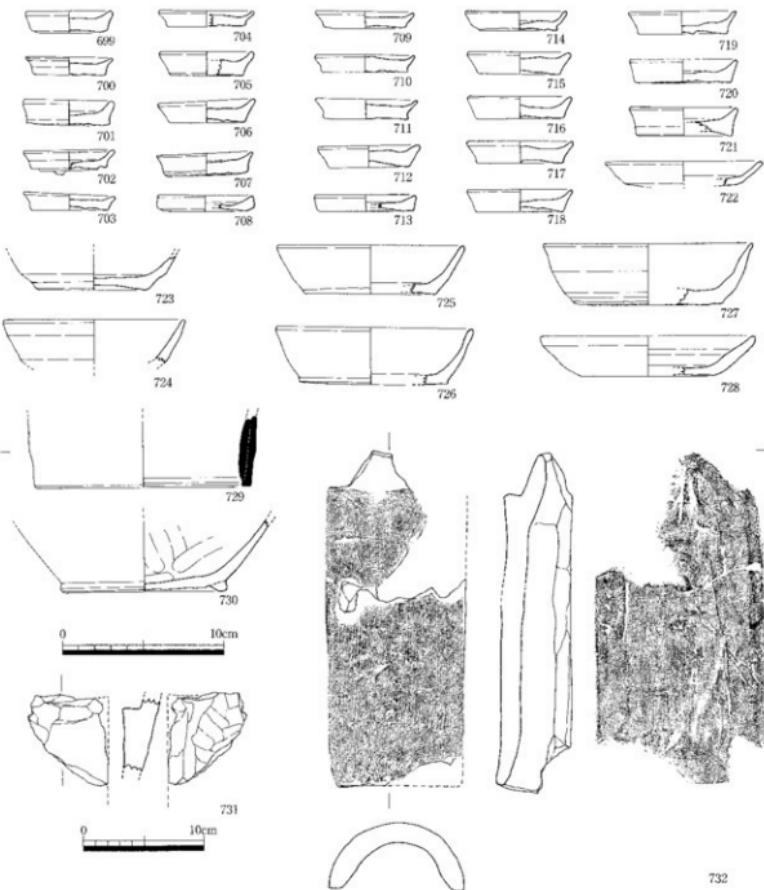


第35図 B調査区出土位置不明遺物

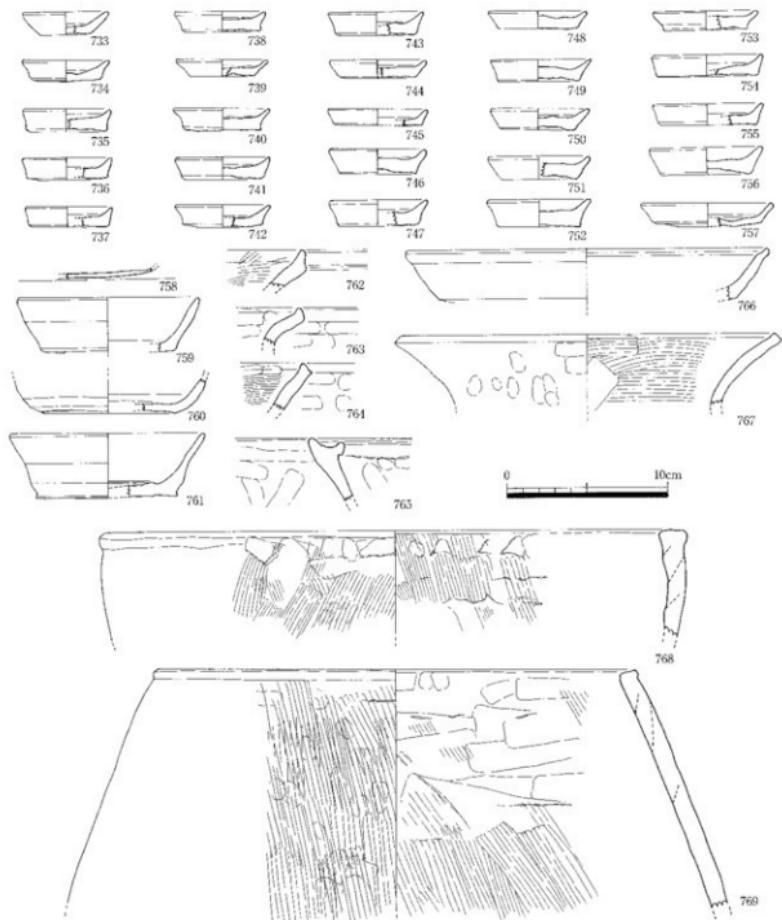
### 第3節 その他の遺物

#### (1) その他の遺物

699～732はA・B調査区合わせての原位置不明遺物であるが、図示するものである。699～722は土師質土器小皿である。699～704は口径が5cm台と小型化がさらにつよいものである。705～722は口径が6cm前後で器高は1cm台のものである。口縁部は短く斜め上方に引き出しが、708・713などは底部から僅かに摘み出したようなものである。722は小皿でも大きなものである。723～728は土師質土器杯である。728は明茶色を呈する皿で、口径14cmに器高は2.5cmである。体部は低く外上方に延び、端部にかけて内面は緩く弓なりになる。端部外面はやや直になっている。729は須恵器片の端部である。天地逆の可



第36図 出土地不明遺物

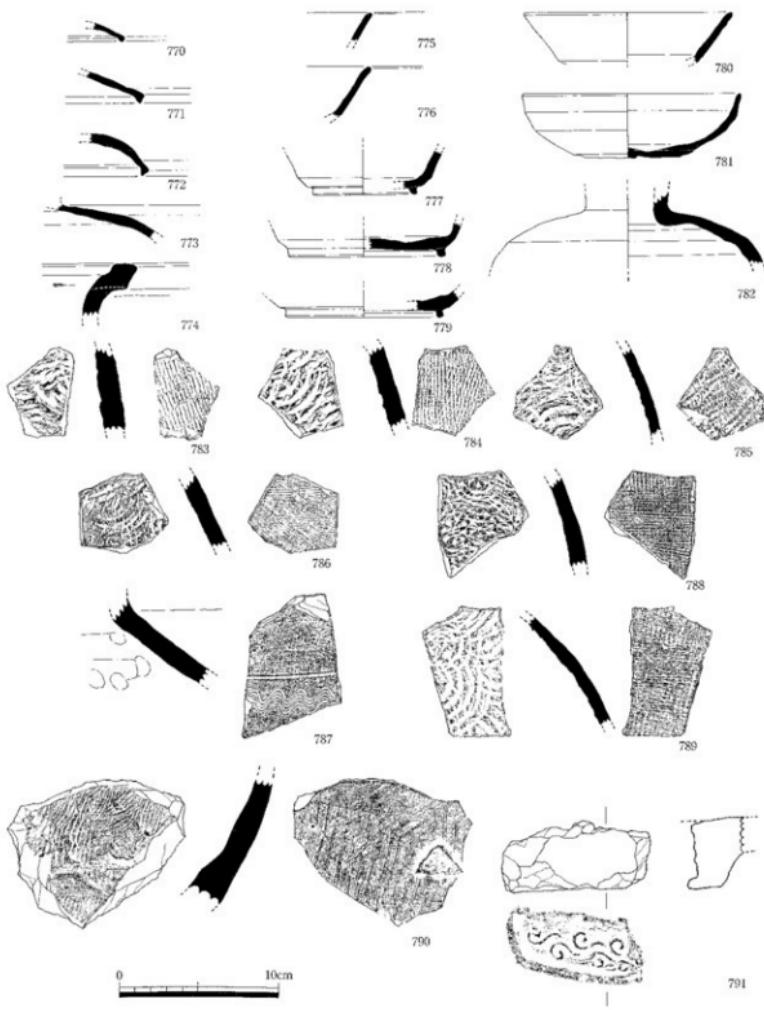


第37図 試掘調査出土遺物①

能性もある。端部は方形で中央は凹む。土器内部から膨らんでいる。730は短く斜めにはった高台をもつ土師器である。内面は黒色で器壁も厚く大ぶりな感をもつ。731・732は玉縁をもつ丸瓦である。このうち732今回出土した瓦の中では最も残りがよく、全形が判明するのはこれだけである。全長は約27cm、胴部長は約23.5cm、胴部径10.8~11.5cmを測る。胎土は砂粒が目立ち、ややざらつく感じである。凹面には細密な布目痕がみられ、ナデが施されている。凸面はナデを施すもタタキ痕が見てとれる。側面はやや幅広の面取りを凹面側縁に施すとともに、玉縁側面・端面にも施している。

(2) 試掘調査時出土遺物

第37・38図は遺跡調査の契機となった試掘調査における出土遺物である。733～757は土師質土器小皿である。757は底部まで器壁が薄い口径は5～8cmである。758は土師器皿底部とおもわれ、器壁が



第38図 試掘調査出土遺物②

3mmと薄い。内外面とも暗赤色で、内面には多少ミガキが施されている。759～761は土師質土器杯である。762～764は壺口縁部とおもわれる。765は土師質土釜口縁部である。766は皿で器壁は厚い。口縁端部は小さく段状に折っている。767は暗茶褐色の口頸部である。768・769は茶褐色で器壁が厚く大ぶりなもので壺ともおもわれる。外面にはハケメが残る。768は端部が外側に肥厚し外面には粘土帶の接合痕が残り底部ともおもわれる。770～790は須恵器である。770～773は蓋で、774は鉢の口縁部であろうか。また杯や壺などが出土している。775・776は口縁部片で、777～779は高台付底部である。781は体部上半でやや焼成があまい。781は杯身であろうか。底部外面は未調整である。782は外面が赤紫色を呈し自然釉がまばらに付く壺頸部である。783～790は体部片で787の外面に波状文が残る。ほかには調整痕などみられる。790は器壁が厚く底部近くであろうか。外面には別個体の杯口縁片が接着している。また791は軒平瓦の瓦当である。瓦当の上下幅は5.5cmほどで左右幅は不明である。文様は内側に巻き込む唐草文が上下二段に3回転している。中心飾り及びその脇の状況は不明である。頸の下端幅は約2.3cmで、裏面は接合のナデにより角を残しながらも緩やかに弧を描いている。

## 第4章　まとめ

今回の調査では丘陵に画された狹隘な谷地形と、それを見下ろす丘陵斜面にて掘立柱建物跡を主体となす集落遺跡を調査したものである。調査実施から刊行まで時間も経ち、いろいろと制約のあるものであったが、ここではその成果を簡単にまとめることとする。

### 遺構の変遷

今回の調査で出土している遺物をみると、古代から近世までの長期間にわたるものであるが、古代及び中世のものが量的出土をみている。時期的なまとまりをみると古代では土師器壺・杯・皿のほか須恵器杯・蓋などが出土している。これらはB地区において多いが包含層とするものであり、大なり小なり破片となってしまっている。ある程度の形状の判明するものは限られるが、おおむね8世紀半ばから9世紀にかけてのものとおもわれる。次に中世ではA調査区が主体で、土師質土器杯や小皿などの法量をみると、杯では口径が10cm未満、11~12cm前後、また13~14cm前後のものがあり、小皿でも5cm前後、5~6cm前後、7~8cm前後のものがみられる。これら法量の変化は時期差を表すものとおもわれ、また他の遺物などもあわせるとおおむね12世紀後半から15世紀にかけてのもので、量的には14世紀後半から15世紀前後が多い。さらに近世の遺物もみることができる。ただ、遺構に伴う遺物は限定のことから変遷には不明確さが残るものである。

次に遺構の変遷であるが、まずB調査区では古代の遺構の所在が考えられる。遺構としてはS X01があげられ、S X02はやや混入がありはずるものである。斜面上の柱穴では幾つか当該期のものがあり、掘立柱建物跡のなかにも相当するものがあるとおもわれる。掘立柱建物跡7棟の長軸方向をみると、北を中心にして約12°内に収まり大きく相違するものではない。ただ、小別では西に2~4°振るものにS B01・03・07、西に6~8°振るものにB02・06、東に1~3°振るものとしてのS B04・05に分けられる。3グループとして掘立柱建物跡をみると、柱穴の形状からすると方形基調で規模のあるS B04は古代の可能性が高い。また、これに柱穴の一部が切りこまれ、比較的柱穴の状況も同様であるS B05はS B04に先行する古代のものとおもわれる。他の5棟についてはS B01・02・03では想定される東側の占有範囲を考慮すると、S B01・03とS B02は同時に所在しないものとおもわれる。またS B03もS B04とは同様のものとして、後出する可能性が高いものとおもわれる。このようにみると西に振る2グループは、時期差をもつものとして構成されているとおもわれる。時期としてはとともに中世段階のものとおもわれるが、ただこの中の前後関係とあわせ不明確である。なお、S B07はS B01・03と同じグループとしたが、S B02には周囲に溝を作らうなものとおもわれ、S B07もこれに近いものである。ただS D01・02と伴うかどうかは不明確で、周囲の柱穴がそうであることが考慮される。

次にA調査区では遺物が伴う遺構としてS D01・07やS B03・04があげられる。S B03では柱穴より土師質土器小皿が出土している。またS B04も同様で法量からは、14世紀後半頃のものとおもわれる。S D01は土師質土器のほか瓦もみられる。土師質土器小皿には口径6cm前後が多いが、口径5cmほどのものがある。また、S D07でも同様の傾向である。これらの遺構は方向を同一に指向しているといえるもので、関係性は高いものとおもわれる。このように主軸方向を合わせると、S B01・02も当該期に含まれるとおもわれる。S B01・02は柱穴の切り合い関係からS B02から01に、建て替わったものといえ規則的には拡張されたものである。この他の遺構では南北方向に走行するS D04・05、北東一南西方向のS D202・03や11・12、またS D06・09のようにS D01・07とはほぼ平行なものがある。切り合い関係からみると北側ではS D04・05が先行してあり、後にS D03・02、01となり、南側ではS D11・12、

08、09となっている。このようにみると、掘立柱建物跡柱穴の幾つかは溝を切っていることからも、掘立柱建物跡とその前後を区画するように延びる溝が新しいものといえる。これらの建物跡を中心とする遺構は建て替えもあり、時期幅は広いものとおもわれ、おおむね14世紀代のもので最終は14世紀後半から15世紀代にかかる可能性が考えられる。その他の溝は12世紀後半から14世紀にかけてのものともわれる。

### 遺跡の性格

王子の谷遺跡でおおむね複数期にまたがるものであるが、遺構的に最も充実するのはA調査区にて検出された、14世紀代の掘立柱建物跡と区画溝からなる施設群である。方向を描え計画的に配置された状況がうかがわれ、溝や柱穴からは遺物として瓦が少量ながらも出土している。瓦は平瓦・丸瓦の他に軒先瓦も含まれる。また、軒平瓦の瓦当は唐草が上下に三回転しているものである。中世段階で瓦を有する建物は寺院関係におおむね限られるとすると、今回の検出例も基本的に同様な性格を付されるものとおもわれる。ただ瓦の持ち出しなどもあるうが、今回の出土量では本格的瓦葺のものが想定できるかどうかは問題が残る。瓦の使用は限定的であったとも考えられる。また、当該地に寺院的施設が所在していたとして、検出された建物跡の機能がどのようなものかである。瓦葺きの建物が4棟の建物に限定されるかどうかは問題といえる。谷奥にあたり溝によって区画された空間にS B01・02は所在するが、瓦の多くは調査区北側の溝からの出土である。この溝より南ではさらに少ないもので、調査区北側に遺跡の広がっている可能性も考慮すると規模や構造、建物配置などさらなる検討が必要とおもわれる。なお、これらの遺構が形成された要因については、明確にしづらい。ただ、前段階では頗著な遺構は僅少といえる。平行する溝などは何か別の機能があったものといえるかもしれないが、状況としては小規模な生活域であったものとおもわれる。14世紀になって荘園化や在地社会構造の変動などによって、新たに求められたのかもしれない。

他方、西側斜面に形成された古代の遺構については、掘立柱建物跡数棟からなる比較的小規模なものだったとおもわれる。周囲をみると南西約1kmには8世紀代の掘立柱建物跡群からなる坪井遺跡が所在している。これは谷筋のやや開けた場所にあるもので好条件とはいえないが、交通の要所としての官衙的な性格を有する遺跡とされる。王子の谷遺跡も古くは北山山塊をこえ海岸にいたる交通路に隣接していたもので、規模は小さいながらも同様な性格であったことも考えられる。

### 参考文献

- 『大内町史』1985 大内町史編集委員会  
片桐孝浩『川津元結木遺跡－中小河川大東川改修工事（津ノ郷橋～弘光橋間）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告－』1992  
（財）香川県埋蔵文化財調査センターほか  
小野秀幸『坪井遺跡－四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第40冊－』2002（財）香川県埋蔵文化財調査センターほか  
長井博志『天王谷遺跡－四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第45冊－』2003（財）香川県埋蔵文化財調査センターほか  
古野徳久『川北遺跡・三殿出口遺跡－四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第51冊－』2004（財）香川県埋蔵文化財調査センターほか

出土遺物觀察表



器皿番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
1	土師質土器	小皿	6.0	1.1	5.0	普通	細砂中量	10YR8/3 浅黄橙色	-	
2	土師質土器	小皿	6.1	1.2	5.5	普通	細一中砂少量	2.5Y8/2 灰白色	-	
3	土師質土器	小皿	6.1	1.3	5.4	普通	細一小砂中量	10YR8/2 灰白色	2.5YR6/8橙色	完存
4	土師質土器	小皿	6.1	1.4	5.0	普通	細砂少量	7.5YR8/6浅黄橙色	10YR8/2 灰白色	口縁部は4/5欠損、底部完存
5	土師質土器	小皿	6.4	1.3	5.2	普通	細一小砂中量	10YR8/2 灰白色	7.5YR7/6橙色	ほぼ完存 口縁端部不整
6	土師質土器	小皿	6.4	1.6	5.3	普通	細砂一粗砂	7.5YR8/3浅黄橙色	2.5YR7/4淡黄橙色	ほぼ完存
7	土師質土器	小皿	5.8	1.5	5.2	普通	細一小砂中量	10YR7/6明黄褐色	-	口縁1/7、底部2/3
8	土師質土器	小皿	6.1	1.5	5.2	普通	細砂少量	7.5YR8/4浅黄橙色	10YR8/1 灰白色	底部4/5、口縁はほぼ欠損
9	土師質土器	小皿	6.3	1.2	5.1	普通	細一小砂少量	10YR8/2 灰白色	7.5YR8/6浅黄橙色	ほぼ完存
10	土師器	杯				良好	やや精良	10YR8/4浅黄橙色	2.5Y8/2灰白色	1/2
11	土師質土器	小皿	6.6	1.3	5.8	良好	細砂少量	10YR8/2灰白色		4/5
12	土師質土器	小皿	6.1	1.2	5.2	普通	細一中砂少量	2.5Y7/2 灰黄色	-	
13	土師質土器	小皿	6.1	1.3	5.3	普通	細一中砂中量	7.5YR8/4浅黄橙色	-	
14	土師質土器	小皿	6.2	1.2	5.0	普通	細砂少量	10YR8/2 灰白色	-	1/2
15	土師質土器	小皿	6.0	1.2	4.9	普通	細一小砂少量	10YR8/2 灰白色	-	1/2
16	土師質土器	小皿	6.6	1.55	5.8	普通	細一小砂少量	10YR8/2 灰白色	-	1/3
17	土師質土器	小皿	5.7	1.3	5.2	普通	細砂少量	10YR8/3 浅黄橙色	-	1/2
18	土師質土器	小皿	5.7	1.2	5.0	普通	細一中砂多量	10YR8/2 灰白色	-	1/2
19	土師質土器	小皿	5.8	1.35	5.4	普通	細一中砂少量	10YR7/2にぶい黄橙色	7.5YR7/6橙色	口縁部1/2欠損 やや不整形
20	土師質土器	小皿	5.6	1.4	5.0	普通	細砂少量	2.5YR7/4にぶい黄橙色	-	口縁部1/2欠損
21	土師質土器	小皿	6.2	1.5	5.6	普通	細一中砂中量	7.5YR8/3浅黄橙色	10YR7/4 にぶい黄橙色	
22	土師質土器	小皿	5.7	1.2	5.2	普通	細砂少量	7.5YR7/4にぶい黄橙色	-	完存
23	土師質土器	小皿	5.8	1.05	5.2	普通	小砂中量	10YR8/3 浅黄橙色	7.5Y8/1灰白色	1/2
24	土師質土器	小皿	6.4	1.3	5.3	普通	細一粗砂多量	2.5Y7/2 灰黄色	-	口縁部1/2欠損
25	土師質土器	小皿	6.6	1.2	5.4	普通	細砂少量	7.5YR8/2灰白色	-	1/5
26	土師質土器	小皿	6.8	1.2	5.6	普通	細一中砂多量	2.5Y8/2 灰白色	-	1/3
27	土師質土器	小皿	6.4	1.2	5.0	普通	細一小砂中量	2.5YR7/6 橙色	-	1/2
28	土師質土器	小皿	-	-	5.0	良好	細砂	2.5Y7/4浅黄色	-	
29	土師質土器	小皿	-	-	4.8	良好	細砂	2.5Y7/3浅黄色	-	
30	土師質土器	小皿	-	-	4.6	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	
31	土師質土器	小皿	5.4	1.1	4.7	良好	細一小砂	10YR8/4浅黄橙色	10YR8/3浅黄橙色	完存
32	土師質土器	小皿	5.5	1.0	4.7	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	
33	土師質土器	小皿	5.5	1.1	5.1	良好	細砂	2.5Y7/2灰黄色	-	
34	土師質土器	小皿	5.5	1.2	4.8	良好	細一中砂	2.5Y8/2灰白色	-	
35	土師質土器	小皿	5.6	1.1	4.5	良好	やや精良	10YR8/3浅黄橙色	-	

器物番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
36	土師質土器	小皿	5.7	1.05	4.9	普通	細砂少量	10YR8/3 淡黄橙色	-	
37	土師質土器	小皿	5.7	1.2	5.2	普通	細~中砂少量	10YR8/2 灰白色	-	
38	土師質土器	小皿	5.7	1.2	5.2	普通	細~小砂中量	2.5YB/3淡黄色	-	
39	土師質土器	小皿	5.7	1.3	4.8	良好	細砂	2.5YB/4淡黄色	-	
40	土師質土器	小皿	5.8	0.95	5.2	良好	細砂	2.5YB/3淡黄色	-	
41	土師質土器	小皿	5.8	0.95	5.1	普通	細砂~小砂少量	10YR8/3淡黄色	-	
42	土師質土器	小皿	5.8	1.0	5.0	普通	細~中砂中量	2.5YB/2 灰白色	-	
43	土師質土器	小皿	5.8	1.1	5.1	良好	細砂	2.5YB/2灰白色	-	
44	土師質土器	小皿	5.8	1.1	4.1	良好	精良	2.5Y7/3淡黄色	-	
45	土師質土器	小皿	5.9	1.0	5.0	普通	細砂少量	2.5YB/2 灰白色	10YR7/2黄橙色	2/3
46	土師質土器	小皿	6.0	1.0	4.9	良好	精良	2.5YB/3淡黄色	-	
47	土師質土器	小皿	6.0	1.3	5.0	普通	細~中砂少量	7.5YR8/4淡黄橙色	5YB/2灰白色	口縁部1/2欠損
48	土師質土器	小皿	6.1	1.4	5.3	普通	細砂中量	10YR8/2 灰白色	-	
49	土師質土器	小皿	6.1	1.5	5.2	良好	細砂	2.5Y7/2灰黄色	-	
50	土師質土器	小皿	6.2	1.1	5.3	普通	細砂~小砂中量	10YR8/2 灰白色	-	ほぼ完存
51	土師質土器	小皿	6.2	1.2	5.1	普通	細~中砂中量	2.5YB/2 灰白色	-	
52	土師質土器	小皿	6.3	0.9	5.5	良好	細~小砂	2.5YB/3淡黄色	-	
53	土師質土器	小皿	6.3	1.7	5.5	普通	細~中砂少量	2.5YB/3淡黄色	-	
54	土師質土器	小皿	5.8	1.1	5.1	普通	細~中砂少量	10YR8/2 灰白色	2.5YB/2灰白色	2/3
55	土師質土器	小皿	6.4	1.6	5.5	良好	精良	10YR7/3にぶい黄橙色	-	2/3
56	土師質土器	小皿	6.5	1.1	5.7	良好	細砂	10YR8/3淡黄橙色	-	
57	土師質土器	小皿	-	-	5.8	良好	細砂	2.5Y7/3淡黄色	-	
58	土師質土器	小皿	7.8	1.7	7.0	良好	精良	2.5YB/2灰白色	-	
59	土師質土器	小皿	-	-	6.8	良好	精良	2.5Y7/3淡黄色	-	
60	土師質土器	小皿	8.5	1.6	6.6	良好	やや精良	2.5YB/2灰白色	-	穿孔あり
61	土師質土器	杯	11.0	3.1	7.2	良好	精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
62	土師質土器	杯	9.8	-	-	良好	細砂	2.5YB/3淡黄色	-	
63	土師質土器	杯	-	-	7.5	普通	精良	2.5YB/3淡黄色	-	ほぼ完存
64	土師質土器	杯	-	-	9.1	良好	細砂	2.5Y7/3淡黄色	2.5YB/2灰白色	口縁部不整形
65	土師質土器	杯	10.3	3.8	8.3	良好	精良	2.5YB/3淡黄色	-	
66	土師質土器	杯	10.8	3.2	8.2	良好	精良	2.5Y7/2灰黄色	-	
67	土師質土器	杯	-	-	7.2	良好	細~小砂	7.5YR7/4にぶい黄橙色	-	
68	土師質土器	杯	11.1	2.9	7.4	良好	細砂	7.5YR8/4淡黄橙色	-	
69	土師質土器	杯	11.3	-	-	良好	細~小砂	2.5Y7/3淡黄色	-	
70	土師質土器	杯	11.8	3.2	8.6	良好	細~小砂	2.5YB/3淡黄色	10YR8/2 灰白色	口縁部はほぼ欠損、底部完存

掲載番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
71	土師質土器	杯	11.9	3.3	9.0	良好	細～中砂	10YR8/3淡黄橙色	-	
72	土師質土器	杯	11.9	3.5	8.9	良好	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
73	土師質土器	杯	119	3.3	8.9	良好	細～小砂	2.5Y7/2灰黄色	-	
74	土師質土器	杯	12.2	(3.0)	10.2	良好	やや精良	2.5Y8/3淡黄色		口縁部1/6欠損
75	土師質土器	杯	12.4	3.2	8.2	良好	細砂	10YR4/1褐灰色、 2.5Y8/1灰白色、 2.5Y4/1黄灰色	-	口縁部1/2欠損
76	土師質土器	杯	12.5	-	-	不良	細砂	2.5Y8/2 灰白色	-	
77	土師質土器	杯	13.1	3.8	9.2	良好	細～中砂	10YR8/3淡黄橙色	-	楕円形
78	土師質土器	杯	14.2	3.2	10.3	良好	精良	2.5Y7/2灰黄色	-	
79	土師質土器	土釜	-	-	-	良好	精良・繩僅か	2.5Y4/1黄灰色	2.5Y8/2灰白色	2/3
80	土師質土器	土釜	15.2	-	-	良好	細～小砂	10YR4/1褐灰色	-	2/3
81	土師質土器	高台部			5.3	良好	細砂	10R6/2灰黄褐色	-	
82	土師質土器	土釜脚	-	-	-	良好	細～小砂	2.5Y7/2灰黄色	-	
83	土師質土器	土釜脚	-	-	-	良好	細砂	10YR7/3にぶい黄橙色	-	
84	土師質土器	土鍋	-	-	-	良好	細砂多量	2.5Y6/1黄灰色	-	
85	土師質土器	土釜	-	-	-	良好	細砂多量	10YR7/3にぶい黄橙色(口縁付近) 2.5YR6/6橙色	-	ほぼ完存
86	土師質土器	深鉢形	22.7	-	21.7	良好	精良	7.5YR6/4にぶい橙色	-	
87	瓦	丸瓦	7.9	13.1	3.2	良好	細～中砂	N4/0灰色		
88	瓦	丸瓦	10.5	11.5	2.0	良好	やや精良	2.5Y8/1灰白色		
89	瓦	平瓦	15.4	14.3	1.6	良好	細～小砂	N3/0暗灰色		
90	瓦	丸瓦	5.7	3.2	1.9	良好	細砂	7.5Y6/1灰色		
91	瓦	軒丸瓦	7.1	6.1	1.6	良好	精良	5Y6/1灰色		
92	瓦	丸瓦	15.7	5.8	1.5	良好	細～小砂	N4/0灰色		
93	土師質土器	小皿	5.5	1.5	4.7	良好	やや精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
94	土師質土器	小皿	5.7	1.1	5.1	良好	細砂	2.5Y7/4淡黄色	-	
95	土師質土器	小皿	5.8	1.3	5.1	普通	細～中砂少量	10YR8/2 灰白色		3/5
96	土師質土器	小皿	6.0	0.95	5.2	普通	細砂	10YR8/3淡黄色	-	
97	土師質土器	小皿	6.1	1.1	5.4	普通	細砂少量	7.5YR8/4淡黄橙色	5YR7/4にぶい橙色	口縁部1/8欠損
98	土師質土器	小皿	6.6	1.3	5.7	普通	細～小砂少量	10YR8/2 灰白色	-	
99	土師質土器	小皿	6.8	1.6	5.6	良好	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
100	土師質土器	杯	-	-	-	良好	やや精良	2.5Y8/2灰白色	-	
101	土師質土器	杯	12.5	4.1	9.2	良好	精良	7.5YR7/4にぶい橙色	-	
102	瓦	平瓦	18.6	13	2.2	良好	細～小砂	N4/0灰色		
103	土師質土器	小皿	5.9	0.95	4.8	普通	細砂少量	10YR8/2 灰白色	-	
104	土師質土器	小皿	5.9	1.4	5.2	普通	細～中砂	10YR8/2 灰白色	-	

掲載番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
105	土師質土器	小皿	6.1	1.3	5.0	普通	細砂少量	2.5Y8/3淡黄色	-	1/5
106	土師質土器	小皿	6.2	1.1	5.2	普通	細~粗砂中量	2.5Y8/2 灰白色	-	2/3
107	土師質土器	小皿	5.1	1.2	4.1	良好	細砂少量	5Y8/2灰白色	10YR8/2 灰白色	完存
108	土師質土器	小皿	5.5	1.0	5.0	良好	細砂~粗砂	5Y8/1 灰白色	-	
109	土師質土器	小皿	5.5	1.1	4.9	良好	細砂少量	2.5Y8/1 灰白色	-	
110	土師質土器	小皿	5.3	0.9	4.8	良好	細砂中量	10YR8/1 灰白色	10YR8/1 灰白色	ほぼ完形
111	土師質土器	小皿	5.7	0.9	4.8	良好	細砂~小砂中量	10YR8/1 灰白色	-	1/2
112	土師質土器	小皿	5.8	0.9	5.0	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	完存
113	土師質土器	小皿	5.8	1.0	4.9	良好	細砂一小砂中量	10YR8/2 灰白色	-	完存
114	土師質土器	小皿	5.9	0.8	5.2	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	1/2
115	土師質土器	小皿	5.9	0.9	4.8	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	2.5Y8/1 灰白色	完存
116	土師質土器	小皿	5.9	0.9	5.0	良好	細砂中量	5Y8/1 灰白色	-	
117	土師質土器	小皿	6.0	1.0	5.3	良好	細砂一小砂中量	2.5Y8/2 灰白色	-	
118	土師質土器	小皿	6.0	1.0	5.6	良好	細砂一小砂少量	2.5Y8/1 灰白色	-	
119	土師質土器	小皿	6.0	1.1	5.1	良好	細砂中量	5Y8/1 灰白色	-	3/4
120	土師質土器	小皿	6.4	0.9	5.3	良好	細砂多量	2.5Y8/2 灰白色	-	
121	土師質土器	小皿	6.4	1.0	5.4	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	1/3
122	土師質土器	杯	11.3	4.1	9.4	普通	細~中砂多量	2.5Y8/1 灰白色	-	
123	土師質土器	杯	11.2	2.8	6.3	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	完存
124	土師質土器	小皿	-	-	-	不良	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	
125	土師質土器	小皿	5.4	0.1	4.8	普通	細~小砂多量	2.5Y8/1 灰白色	5Y8/1灰白色	口縁部はほぼ欠損、底部完存
126	土師質土器	小皿	5.4	0.7	4.5	良好	細~中砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
127	土師質土器	小皿	5.6	0.9	5.0	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	口縁部は1/6
128	土師質土器	小皿	5.7	1.0	5.5	良好	細砂少量	2.5Y8/2灰白色	-	
129	土師質土器	小皿	5.7	1.3	5.0	良好	やや精良	10YR8/3浅黄橙色	-	
130	土師質土器	小皿	5.9	0.9	5.2	普通	細砂少量	5YR8/2灰白色	-	
131	土師質土器	小皿	5.9	1.2	5.2	普通	細砂極少量	10YR8/4淡黄橙色	-	ほぼ完存
132	土師質土器	小皿	5.8	1.1	5.0	普通	細~小砂中量	10YR8/1 灰白色	-	
133	土師質土器	小皿	6.0	1.3	4.9	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	10YR8/2 灰白色	ほぼ完存
134	土師質土器	小皿	6.1	1.1	5.0	普通	細~小砂多量	10YR8/4淡黄橙色	-	口縁部1/2欠損
135	土師質土器	小皿	6.6	1.4	5.4	普通	細~小砂少量	2.5Y8/4淡黄色	-	
136	土師質土器	小皿	6.8	1.0	5.4	良好	細~小砂	10YR8/3淡黄橙色	-	1/3
137	土師質土器	杯	11.0	-	7.1	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
138	土師質土器	杯	-	-	11.0	良好	細~小砂	2.5Y7/2灰黄色	10YR8/3浅黄橙色	1/3
139	土師質土器	杯	12.8	3.7	9.2	良好	細~小砂	2.5Y8/2灰白色	-	

記載番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
140	土師質土器	小皿	6.0	1.1	4.8	良好	繊砂	10YR8/3淡黄橙色	-	ほぼ完存
141	土師質土器	小皿	6.2	1.2	5.0	普通	繊~中砂少量	2.5Y8/2 灰白色	-	ほぼ完存
142	土師質土器	小皿	6.5	0.8	5.6	良好	繊砂	2.5Y8/2灰白色	-	
143	土師質土器	小皿	6.5	1.6	5.6	普通	繊砂少量	10YR8/2 灰白色	-	1/2
144	土師質土器	小皿	7.0	1.4	5.4	良好	繊砂	10YR7/4にぶい黄橙色	-	ほぼ完存
145	土師質土器	小皿	7.1	1.1	5.8	普通	繊~中砂少量	2.5YR6/6褐色	-	
146	土師質土器	杯	11.4 (3.5)	7.0		良好	繊砂	2.5Y8/3淡黄色	-	ほぼ完存
147	土師質土器	杯	11.5	3.0	7.2	良好	繊~小砂	10YR8/2灰白色	-	
148	土師質土器	小皿	4.5	1.2	3.4	良好	繊砂	10YR8/4淡黄橙色	-	
149	土師質土器	小皿	4.5	1.4	4.2	良好	繊~中砂	10YR8/3淡黄橙色	-	
150	土師質土器	小皿	5.1	1.0	4.3	良好	やや精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
151	土師質土器	小皿	5.1	1.1	4.8	普通	繊~小砂少量	10YR8/3 淡黄橙色	-	
152	土師質土器	小皿	5.2	1.0	4.9	良好	繊砂	2.5Y5/2暗灰黄色	-	
153	土師質土器	小皿	5.3	1.4	4.9	普通	繊~中砂中量	10YR8/2 灰白色	-	口縁部はほぼ欠損
154	土師質土器	小皿	5.4	1.0	5.4	良好	精良	2.5Y8/2灰白色	-	
155	土師質土器	小皿	5.4	1.1	4.3	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	口縫部の一部欠損、口縁底部は不整形・器高不均一
156	土師質土器	小皿	5.4	1.3	4.8	良好	精良	2.5Y8/1灰白色	-	
157	土師質土器	小皿	5.5	1.3	5.0	普通	繊~中砂少量	10YR8/3 淡黄橙色	-	
158	土師質土器	小皿	5.5	1.3	5.5	良好	繊砂少量	2.5Y8/3淡黄色	-	
159	土師質土器	小皿	5.5	1.3	4.5	良好	繊砂	7.5YR8/4淡黄褐色	-	1/2
160	土師質土器	小皿	5.5	1.4	4.0	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	完存
161	土師質土器	小皿	5.6	1.1	5.4	良好	繊砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
162	土師質土器	小皿	5.6	1.1	4.7	良好	繊~小砂少量	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
163	土師質土器	小皿	5.6	1.1	5.6	良好	繊砂	2.5Y8/1灰白色	-	1/2
164	土師質土器	小皿	5.6	1.1	5.4	良好	繊砂多量	2.5Y8/2灰白色	-	
165	土師質土器	小皿	5.6	1.4	4.7	良好	精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
166	土師質土器	小皿	5.8	1.0	5.4	良好	繊砂少量	10YR8/3淡黄橙色	-	
167	土師質土器	小皿	5.8	1.2	4.9	普通	繊砂少量	10YR8/4淡黄橙色	-	
168	土師質土器	小皿	5.8	1.2	5.6	良好	繊砂少量	10YR8/2灰白色	-	ほぼ完存
169	土師質土器	小皿	5.8	1.2	4.7	良好	繊砂	10YR8/4淡黄橙色	10YR8/2 灰白色	1/2
170	土師質土器	小皿	5.8	1.3	4.4	良好	精良	10YR7/3にぶい黄橙色	-	
171	土師質土器	小皿	5.8	1.3	4.5	良好	精良	10YR5/4にぶい黄褐色	-	
172	土師質土器	小皿	5.8	1.4	5.1	良好	繊~中砂少量	10YR8/4淡黄橙色	10YR5/2灰黄褐色	
173	土師質土器	小皿	5.8	1.4	4.8	良好	精良	2.5Y7/3淡黄色	2.5Y8/3淡黄色	
174	土師質土器	小皿	5.8	1.6	4.9	良好	精良	10YR8/3淡黄橙色	-	

掲載番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
175	土師質土器	小皿	5.9	1.0	4.6	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
176	土師質土器	小皿	5.9	1.1	5.6	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	
177	土師質土器	小皿	5.9	1.4	4.4	良好	やや精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
178	土師質土器	小皿	5.9	1.5	4.9	普通	細一中砂少量	10YR8/2 灰白色	10YR7/4にぶい黄 橙色	
179	土師質土器	小皿	5.9	1.5	5.2	良好	細一小砂少 量	2.5Y8/2灰白色	-	
180	土師質土器	小皿	6.0	1.0	5.3	良好	精良	10YR8/3淡黄橙色	5YR7/6橙色	1/2
181	土師質土器	小皿	6.0	1.1	5.0	普通	細砂少量	10YR7/4にぶい黄 橙色	-	
182	土師質土器	小皿	6.0	1.1	4.7	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
183	土師質土器	小皿	6.0	1.2	4.7	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	10YR7/2黄橙色に 5PB6/1青灰色混	1/2
184	土師質土器	小皿	6.0	1.3	5.2	普通	細砂少量	10YR8/3 浅黄橙色	-	
185	土師質土器	小皿	6.0	1.3	5.0	やや不良	細砂	10YR8/3淡黄橙色	-	
186	土師質土器	小皿	6.0	1.4	5.2	普通	細一小砂中 量	10YR8/6黄橙色	7.5YR8/4淡黄橙色	1/3
187	土師質土器	小皿	6.1	1.4	5.2	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
188	土師質土器	小皿	6.2	1.2	5.6	普通	細一中砂少 量	7.5YR7/3にぶい黄 橙色	7.5YR8/2灰白色	口縁部1/2欠損
189	土師質土器	小皿	6.2	1.2	5.0	良好	精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
190	土師質土器	小皿	6.2	1.4	5.3	良好	精良		2.5YR7/8橙色に 5YR8/3淡黄橙色混	1/2
191	土師質土器	小皿	6.1	1.3	4.8	良好	やや精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
192	土師質土器	小皿	6.2	1.5	4.4	普通	細砂少量	10YR8/3 浅黄橙色	-	
193	土師質土器	小皿	6.3	1.0	6.0	良好	細砂	10YR8/2灰白色	-	1/4
194	土師質土器	小皿	6.3	1.2	5.2	良好	細砂多量	2.5Y8/3淡黄色	-	1/2
195	土師質土器	小皿	6.3	1.3	4.9	良好	精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
196	土師質土器	小皿	6.3	1.5	5.2	普通	細砂少量	10YR8/4淡黄橙色	-	
197	土師質土器	小皿	6.4	1.3	5.2	普通	細砂中量	2.5Y8/2 灰白色	-	
198	土師質土器	小皿	6.4	1.3	5.2	良好	細砂	10YR8/2灰白色	10YR8/1 反白色	2/3
199	土師質土器	小皿	6.4	1.5	5.8	普通	細砂少量	2.5Y8/3淡黄色	2.5YR8/1灰白色に 10R6/8赤橙色混	1/2
200	土師質土器	小皿	6.5	1.2	5.2	良好	細一中砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
201	土師質土器	小皿	6.5	1.5	5.2	良好	やや精良	2.5Y8/3淡黄色	10YR8/3淡黄橙色	1/3
202	土師質土器	小皿	6.6	1.2	5.8	普通	細一小砂中 量	2.5Y5/1黄灰色	-	
203	土師質土器	小皿	6.6	1.2	5.7	良好	精良	-	-	底部は完存
204	土師質土器	小皿	6.6	1.4	6.1	良好	精良	2.5Y8/4淡黄色	N5/0灰色	1/2
205	土師質土器	小皿	6.6	1.6	5.9	不良	精良	10YR8/4淡黄橙色	-	口径の1/3
206	土師質土器	小皿	6.7	1.3	5.8	良好	細一小砂	10YR8/4淡黄橙色	-	
207	土師質土器	小皿	6.7	1.4	5.5	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	
208	土師質土器	小皿	6.7	1.4	4.9	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	10YR7/4にぶい黄 橙色	
209	土師質土器	小皿	6.8	1.3	5.5	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	

測量番号	種別	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
210	土師質土器	小皿	6.8	1.5	5.4	普通	細砂少量	7.5YR7/4にぶい橙色	-	
211	土師質土器	小皿	6.9	1.1	5.9	良好	精良	2.5Y7/4淡黄色	-	
212	土師質土器	小皿	6.9	1.4	5.7	やや良好	精良	10YR8/4淡黄橙色	10YR8/2 灰白色	1/2
213	土師質土器	小皿	7.0	1.8	5.9	良好	細砂	10YR8/4淡黄橙色	-	
214	土師質土器	小皿	7.3	1.2	5.6	良好	細砂	10YR8/3淡黄橙色	-	1/4
215	土師質土器	杯	-	-	-	良好	精良	5Y5/1灰色	-	
216	土師質土器	杯	-	-	-	良好	精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
217	土師質土器	杯	-	-	-	良好	やや精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
218	土師質土器	杯	-	-	-	良好	細砂	2.5Y7/3淡黄色	-	
219	土師質土器	杯	11.0	2.6	8.1	良好	細砂少量	2.5Y8/3淡黄色	-	
220	土師質土器	杯	-	-	9.2	良好	やや精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
221	土師質土器	杯	11.9	2.7	8.5	良好	細砂少量	2.5Y8/3淡黄色	-	
222	土師質土器	杯	12.6	-	-	良好	細砂	10YR8/2灰白色	-	
223	土師質土器	杯	13.0	3.3	9.2	良好	細砂少量	10YR8/4淡黄橙色	-	全体の1/2
224	土師質土器	杯	13.5	-	-	良好	細砂少量	10YR8/3淡黄橙色	-	
225	土師質土器	小皿	-	-	-	良好	細砂	2.5Y8/4淡黄色	-	
226	土師質土器	小皿	5.3	1.1	5.0	やや不良	精良	2.5Y7/2灰黄色	-	
227	土師質土器	小皿	5.4	1.1	5.0	良好	やや精良	2.5Y8/4淡黄色	-	
228	土師質土器	小皿	5.4	1.2	5.1	良好	細砂少量	10YR8/3淡黄橙色	7.5YR8/4淡黄橙色	
229	土師質土器	小皿	-	-	5.2	良好	細砂少量	2.5Y7/2灰黄色	-	
230	土師質土器	小皿	5.4	1.2	4.2	良好	細砂多量	10YR7/3にぶい黄橙色	-	
231	土師質土器	小皿	5.5	1.0	4.5	良好	細一中砂	2.5Y8/4淡黄色	-	
232	土師質土器	小皿	5.5	1.0	4.8	良好	細砂多量	2.5Y7/2灰黄色	10YR7/4にぶい黄橙色	
233	土師質土器	小皿	5.6	1.1	4.7	良好	やや精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
234	土師質土器	小皿	5.6	1.1	5.3	良好	細砂多量	2.5Y8/2灰白色	-	
235	土師質土器	小皿	5.8	1.6	5.0	良好	精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
236	土師質土器	小皿	5.9	1.1	5.0	良好	細砂	10YR8/3淡黄橙色	-	
237	土師質土器	小皿	6.0	1.2	5.0	良好	細一中砂多量	10YR8/4淡黄橙色	-	
238	土師質土器	小皿	6.1	1.3	4.9	良好	細砂	10YR8/4淡黄橙色	-	
239	土師質土器	小皿	6.2	1.3	5.2	良好	細砂多量	10YR8/3淡黄橙色	-	
240	土師質土器	杯	-	-	-	良好	細砂少量	10YR8/3淡黄橙色	-	
241	土師質土器	杯	-	-	-	良好	細一中砂	10YR8/2灰白色	-	
242	土師質土器	杯	10.0	3.2	7.0	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
243	土師質土器	杯	14.2	3.8	10.4	良好	細砂	10YR8/2灰白色	-	
244	土師質土器	杯	15.5	3.8	11.5	良好	細一中砂多量	2.5Y8/3淡黄色	-	

揭露番号	種別	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
245	土師質土器	小皿	4.9	1.5	3.7	良好	やや精良	10YR8/2灰白色	—	
246	土師質土器	小皿	5.1	1.0	3.9	良好	精良	10YR7/4にぶい黄橙色	—	
247	土師質土器	小皿	5.3	1.1	4.5	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	—	
248	土師質土器	小皿	—	—	4.5	良好	やや精良	7.5YR8/4淡黄橙色	—	
249	土師質土器	小皿	5.3	1.2	4.2	良好	細砂少量	10YR8/4淡黄橙色	—	
250	土師質土器	小皿	5.3	1.2	4.4	良好	やや精良	10YR8/4淡黄橙色	—	1/4
251	土師質土器	小皿	5.3	1.4	4.5	良好	細砂	2.5Y7/4淡黄色	—	1/4
252	土師質土器	小皿	5.4	1.1	4.9	良好	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	—	
253	土師質土器	小皿	5.4	1.2	4.5	不良	やや精良	10YR8/3淡黄橙色	—	
254	土師質土器	小皿	5.4	1.3	3.9	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	—	
255	土師質土器	小皿	5.5	1.0	4.5	良好	精良	2.5Y8/2灰白色	—	
256	土師質土器	小皿	5.5	1.1	4.7	良好	細砂	2.5Y7/4淡黄色	—	
257	土師質土器	小皿	5.5	1.1	4.8	良好	細砂	10YR8/3淡黄橙色	—	
258	土師質土器	小皿	5.5	1.1	5.9	良好	細砂少量	2.5Y7/1灰白色	—	
259	土師質土器	小皿	5.5	1.2	4.7	良好	細砂少量	2.5Y7/3淡黄色	—	
260	土師質土器	小皿	5.5	1.2	4.8	良好	細砂	—	—	1/4
261	土師質土器	小皿	5.5	1.2	5.3	良好	細砂多量	2.5Y8/3淡黄色	—	
262	土師質土器	小皿	5.6	1.1	5.0	良好	細砂多量	2.5Y7/2灰黄色	—	
263	土師質土器	小皿	5.7	1.1	4.7	良好	やや精良	2.5Y8/2灰白色	—	
264	土師質土器	小皿	5.7	1.1	5.1	良好	細砂	2.5Y8/4淡黄色	—	
265	土師質土器	小皿	5.7	1.2	4.8	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	—	1/2
266	土師質土器	小皿	5.7	1.4	4.9	良好	精良	10YR8/4淡黄橙色	2.5Y8/3淡黄色	
267	土師質土器	小皿	5.7	1.5	5.0	やや不良	細砂多量	2.5Y7/2灰黄色	—	
268	土師質土器	小皿	5.8	1.1	5.2	普通	細一小砂多量	10YR8/3 淡黄橙色	7.5YR7/4にぶい黄橙色	1/3~1/2
269	土師質土器	小皿	—	—	5.2	良好	精良	2.5Y8/2灰白色	—	
270	土師質土器	小皿	5.8	1.2	4.9	良好	やや精良	2.5Y8/3淡黄色	—	1/3
271	土師質土器	小皿	—	—	5.2	良好	細砂	2.5Y7/2灰黄色	—	
272	土師質土器	小皿	—	—	5.3	良好	やや精良	2.5Y8/2灰白色	—	
273	土師質土器	小皿	—	—	4.9	良好	細砂	2.5Y7/4淡黄色	—	
274	土師質土器	小皿	5.8	1.2	4.9	良好	細一小砂多量	10YR8/4淡黄橙色	—	
275	土師質土器	小皿	5.8	1.3	5.4	良好	精良	10YR7/4にぶい黄橙色	—	1/4
276	土師質土器	小皿	5.8	1.4	4.9	良好	細砂	10YR8/2灰白色	—	
277	土師質土器	小皿	5.8	1.4	5.2	普通	細砂極少量	7.5YR8/3淡黄橙色に 5YR7/6橙色少量混	10YR8/2 灰白色	1/2
278	土師質土器	小皿	5.8	1.5	5.2	普通	細砂少量・ 長石	10YR8/3 淡黄橙色	10YR8/4淡黄橙色	1/3~1/2
279	土師質土器	小皿	5.9	1.1	4.4	不良	細一小砂	10YR8/3淡黄橙色	—	

開拓番号	種別	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	焼成	胎土	色調（外）	色調（内）	備考
280	土師質土器	小皿	5.9	1.1	4.5	良好	細砂	10YR8/3浅黄橙色	-	1/4
281	土師質土器	小皿	5.9	1.2	5.2	やや不良	精良	2.5Y7/2灰黄色	-	
282	土師質土器	小皿	5.9	1.5	5.0	良好	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
283	土師質土器	小皿	5.9	1.5	5.3	良好	細砂	2.5Y7/3浅黄色	-	
284	土師質土器	小皿	6.0	0.9	5.4	良好	細~小砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
285	土師質土器	小皿	6.0	1.0	5.2	良好	細~中砂	2.5Y8/2灰白色	-	
286	土師質土器	小皿	6.0	1.1	5.0	良好	細砂	10YR8/3浅黄橙色	-	
287	土師質土器	小皿	6.0	1.1	5.5	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	1/5
288	土師質土器	小皿	6.0	1.1	5.5	良好	細砂多量	7.5YR8/4淡黄橙色	-	
289	土師質土器	小皿	6.0	1.2	4.9	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	
290	土師質土器	小皿	6.0	1.2	4.9	良好	精良	2.5Y6/3灰黄色	-	
291	土師質土器	小皿	6.0	1.2	5.1	普通	細~中砂中量	10YR8/4浅黄橙色・ 5R7/1明紫灰色	10YR8/4浅黄橙色	1/2~3/4
292	土師質土器	小皿	6.0	1.2	5.2	良好	精良	2.5Y8/2灰白色	-	
293	土師質土器	小皿	6.0	1.2	5.3	良好	精良	-	-	
294	土師質土器	小皿	6.0	1.2	5.5	良好	細砂少量	2.5Y8/4淡黄色	-	
295	土師質土器	小皿	6.0	1.3	5.0	良好	-	2.5Y7/2灰黄色	-	
296	土師質土器	小皿	6.0	1.4	5.0	良好	精良	2.5Y8/2灰白色	-	1/4
297	土師質土器	小皿	6.0	1.4	5.0	良好	精良	2.5Y8/2灰白色	-	
298	土師質土器	小皿	6.0	1.5	4.9	良好	やや精良	10YR8/4浅黄橙色	-	
299	土師質土器	小皿	6.0	1.7	5.0	良好	細~中砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
300	土師質土器	小皿	6.0	1.9	4.8	良好	細砂多量	2.5Y8/3淡黄色	-	
301	土師質土器	小皿	6.1	1.1	5.2	良好	細砂多量	10YR8/2灰白色	-	
302	土師質土器	小皿	6.1	1.3	4.8	普通	細砂少量	2.5Y8/3淡黄色	-	1/3
303	土師質土器	小皿	6.1	1.3	5.3	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
304	土師質土器	小皿	6.1	1.4	5.3	良好	細~小砂	10YR8/3浅黄橙色	-	
305	土師質土器	小皿	6.2	0.8	5.3	良好	細砂多量	2.5Y8/3淡黄色	-	
306	土師質土器	小皿	6.2	1.1	5.2	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
307	土師質土器	小皿	6.2	1.2	5.2	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	
308	土師質土器	小皿	6.2	1.3	5.0	良好	やや精良	2.5Y8/2灰白色	-	
309	土師質土器	小皿	6.2	1.3	5.5	良好	細~小砂少量	2.5Y8/2灰白色	-	
310	土師質土器	小皿	6.2	1.6	5.1	良好	細砂	10YR7/3にぶい黄橙色	-	
311	土師質土器	小皿	6.3	1.2	5.2	良好	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
312	土師質土器	小皿	6.3	1.5	5.3	良好	細~小砂中量	2.5Y7/1灰白色	10YR7/6明黄褐色	
313	土師質土器	小皿	6.4	1.4	5.5	良好	精良	2.5Y8/2灰白色	-	
314	土師質土器	小皿	6.5	1.2	5.5	良好	精良	2.5Y7/4淡黄色	-	1/3

掲載番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
315	土師質土器	小皿	6.5	1.3	5.6	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
316	土師質土器	小皿	6.5	1.4	5.3	良好	細砂	10YR7/6明黄褐色	-	1/2
317	土師質土器	小皿	6.5	1.4	5.5	良好	細砂	2.5Y7/2灰黄色	-	
318	土師質土器	小皿	6.5	1.5	5.3	良好	細砂少量	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
319	土師質土器	小皿	6.6	1.1	6.0	良好	細砂	2.5Y7/3淡黄色	-	1/3
320	土師質土器	小皿	6.6	1.3	5.6	不良	精良	7.5Y8/3淡黄橙色	-	
321	土師質土器	小皿	6.8	1.1	5.9	良好	細一小砂	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
322	土師質土器	小皿	6.9	1.2	5.0	良好	細砂	10YR6/4にぶい黄橙色	-	1/5
323	土師質土器	小皿	7.0	1.6	6.4	普通	細砂極少量	7.5YR7/2明褐灰色	5YR8/4淡橙色	1/2
324	土師質土器	小皿	7.2	1.2	5.8	普通	細一小砂中量	7.5YR8/4淡黄橙色	-	1/3
325	土師質土器	小皿	7.3	1.4	5.5	良好	細砂	2.5Y7/3淡黄色	-	1/4
326	土師質土器	小皿	8.2	1.8	6.8	普通	細砂極少量	2.5Y6/1黄灰色	10YR8/3淡黄橙色	1/4
327	土師質土器	小皿	8.5	1.2	7.2	良好	精良	10YR7/4にぶい黄橙色	-	1/5
329	土師質土器	杯	-	-	-	良好	細一小砂多量	2.5Y8/3淡黄色	-	
330	土師質土器	杯	-	-	-	良好	細砂多量	2.5Y8/4淡黄色	-	
331	土師質土器	杯	10.7	-	-	良好	細砂	10YR8/4淡黄橙色	-	
332	土師質土器	杯	10.2	2.9	6.5	良好	細砂	7.5YR7/6橙色	-	
333	土師質土器	杯	-	-	7.1	良好	やや精良	2.5Y8/3淡黄色	-	底径の1/5
334	土師質土器	杯	-	-	7.7	良好	精良	2.5Y7/2灰黄色	-	
335	土師質土器	杯	-	-	7.9	良好	精良	10YR8/3淡黄橙色～ 2.5Y5/1黄灰色	-	
336	土師質土器	杯	-	-	7.9	良好	細砂	10YR8/3淡黄橙色	-	
337	土師質土器	杯	-	-	8.9	良好	精良	2.5Y8/2灰白色	-	
338	土師質土器	杯	-	-	9.5	良好	細一小砂	10YR8/3淡黄橙色	-	
339	土師質土器	杯	11.0	3.2	8.0	良好	細一小砂	2.5Y7/2灰黄色	-	
340	土師質土器	杯	11.9	3.2	7.8	良好	細一中砂	2.5Y7/3淡黄色	2.5Y7/2灰黄色	
341	土師質土器	杯	12.0	3.0	8.3	良好	細一小砂	2.5Y8/2灰白色	-	
342	土師質土器	杯	12.6	3.8	9.0	良好	細砂多量	2.5Y8/2灰白色	-	
343	土師質土器	杯	12.8	3.5	8.7	良好	細一小砂	10YR8/4淡黄橙色	-	
344	土師質土器	土釜	-	-	-	良好	精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
345	土師質土器	土釜	-	-	-	良好	細砂少量	5YR6/6橙色	-	
346	土師器	壺	-	-	-	良好	青母・細砂 多量	7.5YR5/4にぶい褐色	-	
347	土師質	頭部	-	-	-	不良	やや精良	10YR8/2灰白色	-	
348	土製品	棒状土錐	4.2	1.1	0.9	良好	細砂	7.5YR4/4褐色	-	重さ 7.1 g
349	須恵器	杯蓋	-	-	-	良好	精良	5Y6/1灰色	-	
350	須恵器	杯	-	-	5.6	良好	精良	5Y7/1灰白色	-	

器皿番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
351	須恵器	杯	—	—	11.6			50Y6/1オーバー灰色	—	
352	須恵器	休部	—	—	—	良好	精良	N6/0灰色	—	
353	須恵器	平瓶?	—	—	—	良好	精良	7.5R5/2灰赤色(釉) 10YR5/2オーバー灰色	7.5Y8/1灰白色	外面柱目、内面タキ
354	瓦	軒丸瓦	5.3	4.7	2.4	良好	細～中砂	N6/0灰色		
355	土師質土器	小皿	—	—	—	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	—	
356	土師質土器	小皿	—	—	—	良好	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	—	
357	土師質土器	小皿	—	—	—	良好	細～小砂	10YR8/4浅黄橙色	—	1/2
358	土師質土器	小皿	—	—	—	良好	精良	10YR7/4にぶい黄橙色	—	
359	土師質土器	小皿	—	—	—	良好	細砂	10YR8/4浅黄橙色	10YR7/6明黄褐色	
360	土師質土器	小皿	—	—	—	良好	細～中砂多量	10YR7/6明黄褐色	—	内面に黒褐色(Mn?)付着
361	土師質土器	小皿	4.8	1.3	4.3	良好	やや精良	10YR7/4にぶい黄橙色	—	
362	土師質土器	小皿	4.8	1.3	4.6	良好	細砂	10YR8/4浅黄橙色	—	
363	土師質土器	小皿	4.8	1.5	5.0	良好	細砂	10YR8/3淡黄橙色	—	1/3
364	土師質土器	小皿	4.9	1.5	4.0	良好	やや精良	10YR7/4にぶい黄橙色	—	1/3
365	土師質土器	小皿	5.0	1.1	4.6	普通	細砂少量	10YR7/3にぶい黄橙色	10YR8/3淡黄橙色	1/2
366	土師質土器	小皿	5.0	1.2	4.3	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	—	
367	土師質土器	小皿	5.2	1.3	4.2	良好	精良	2.5Y7/4淡黄色 2.5Y4/1黄灰色	—	
368	土師質土器	小皿	5.3	0.9	4.7	不良	精良	7.5Y8/6淡黄橙色	—	
369	土師質土器	小皿	5.3	1.0	4.4	良好	細～粗砂少量	2.5Y8/2灰白色	—	
370	土師質土器	小皿	5.3	1.0	4.5	良好	細砂	2.5Y7/3淡黄色	—	
371	土師質土器	小皿	5.3	1.1	4.3	不良	やや精良	10YR8/4浅黄橙色	—	
372	土師質土器	小皿	5.3	1.1	4.3	良好	精良	2.5Y7/4淡黄色	—	
373	土師質土器	小皿	5.3	1.1	4.8	普通	細～中砂極少量	10YR8/4淡黄橙色	10YR8/3淡黄橙色	1/2
374	土師質土器	小皿	5.4	1.0	5.2	良好	細砂	10YR7/3にぶい黄橙色	—	
375	土師質土器	小皿	5.4	1.1	4.6	良好	精良	2.5Y7/4淡黄色	—	
376	土師質土器	小皿	5.4	1.2	4.8	良好	細砂	10YR8/3淡黄橙色	—	
377	土師質土器	小皿	5.4	1.6	4.7	良好	細砂少量		—	
378	土師質土器	小皿	5.5	1.2	5.8	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	—	
379	土師質土器	小皿	5.5	1.4	4.7	良好	細～中砂	2.5Y8/4淡黄色	—	
380	土師質土器	小皿	5.6	0.9	4.6	普通	細砂極少量	2.5Y8/4淡黄色	—	口縁部は1/6
381	土師質土器	小皿	5.8	1.5	3.8	良好	精良	10YR7/6明黄褐色	—	
382	土師質土器	小皿	5.6	1.0	4.2	良好	やや精良	7.5Y5/4にぶい褐色	—	
383	土師質土器	小皿	5.6	1.0	4.6	良好	細砂	10YR8/4淡黄橙色	—	
384	土師質土器	小皿	5.6	1.1	4.7	良好	細～中砂	2.5Y8/2灰白色	2.5Y8/1灰白色	
385	土師質土器	小皿	5.6	1.1	4.7	不良	赤粒多・精良	7.5YR8/4淡黄橙色	—	

揭露番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
386	土師質土器	小皿	5.6	1.2	4.9	普通	細一粗砂少量	10YR8/4淡黄橙色	-	1/2
387	土師質土器	小皿	5.6	1.2	5.0	普通	細一一小砂少量	10YR7/3にぶい黄橙色	-	口縁部は1/6
388	土師質土器	小皿	5.6	1.2	5.4	良好	細一一小砂	2.5Y8/2灰白色	-	
389	土師質土器	小皿	5.6	1.5	4.4	不良	細一一小砂少量	7.5YR8/4淡黄橙色	-	
390	土師質土器	小皿	5.6	1.5	4.5	良好	精良	2.5Y8/2灰白色	-	
391	土師質土器	小皿	5.7	1.0	4.1	良好	精良	10YR8/4淡黄橙色	-	内面に黒褐色(Mn?)付着
392	土師質土器	小皿	5.7	1.0	4.6	良好	精良	10YR8/3淡黄橙色	-	1/4
393	土師質土器	小皿	5.7	1.0	5.5	良好	細砂	10YR8/2灰白色	-	
394	土師質土器	小皿	5.7	1.2	4.9	普通	細一粗砂少量	10YR8/3 淡黄橙色	10YR8/2 灰白色	口縁部2/3欠損
395	土師質土器	小皿	5.7	1.2	4.9	やや良好	細砂	2.5Y7/3淡黄色	-	
396	土師質土器	小皿	5.7	1.2	5.0	良好	細砂少量	10YR7/3にぶい黄橙色	-	
397	土師質土器	小皿	5.7	1.2	5.3	良好	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	2.5Y7/3淡黄色	
398	土師質土器	小皿	5.7	1.3	4.7	不良	精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
399	土師質土器	小皿	5.7	1.3	5	良好	細一一小砂	2.5Y8/2灰白色	-	
400	土師質土器	小皿	5.7	1.4	4.7	良好	やや精良	2.5Y8/3淡黄色	10YR7/4にぶい黄橙色	
401	土師質土器	小皿	5.7	1.4	4.9	良好	やや精良	7.5YR8/4淡黄橙色	-	
402	土師質土器	小皿	5.7	1.4	5.2	不良	精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
403	土師質土器	小皿	5.8	1.0	4.6	普通	細砂少量	7.5YR8/6淡黄橙色に10R6/4にぶい赤橙色少量混	10YR6/6明黄褐色に7.5YR8/4淡黄橙色少量混	5/6
404	土師質土器	小皿	5.8	1.0	5.1	良好	細砂多量	10YR8/2灰白色	-	
405	土師質土器	小皿	5.8	1.0	5.2	良好	細一一小砂	10YR8/4淡黄橙色	-	
406	土師質土器	小皿	5.8	1.1	4.6	良好	細砂	2.5Y7/2灰黄色	10YR8/2灰白色	
407	土師質土器	小皿	5.8	1.1	4.6	良好	細一一小砂	2.5Y7/4淡黄色	-	
408	土師質土器	小皿	5.8	1.2	5.3	やや不良精良	10YR7/4にぶい黄橙色	-		
409	土師質土器	小皿	5.8	1.2	5.7	良好	精良	2.5Y7/3淡黄色	-	
410	土師質土器	小皿	5.8	1.3	4.7	普通	細砂少量	7.5YR8/6淡黄橙色	7.5YR5/3にぶい赤褐色に7.5YR8/3淡黄橙色混	口縁部1/3
411	土師質土器	小皿	5.8	1.3	4.8	良好	やや精良・赤鉄	10YR8/4淡黄橙色	-	
412	土師質土器	小皿	5.8	1.4	5.0	普通	細一中砂少量	10YR8/3 淡黄橙色	7.5YR5/3にぶい赤褐色に7.5YR8/3淡黄橙色混	口縁部1/3
413	土師質土器	小皿	5.8	1.3	4.8	不良	精良	2.5Y7/6褐色	-	
414	土師質土器	小皿	5.8	1.5	4.9	良好	細砂	10YR8/3淡黄橙色	-	
415	土師質土器	小皿	5.8	1.5	4.9	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
416	土師質土器	小皿	5.9	1.0	4.6	良好	精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
417	土師質土器	小皿	5.9	0.9	4.9	普通	細砂少量	10YR8/4淡黄橙色	7.5YR6/8褐色	1/2
418	土師質土器	小皿	5.9	1.1	4.7	良好	細砂	7.5YR8/3淡黄橙色	-	
419	土師質土器	小皿	5.9	1.1	4.7	良好	細砂	10YR8/4淡黄橙色	-	

掲載番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
420	土師質土器	小皿	5.9	1.1	4.8	良好	精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
421	土師質土器	小皿	5.9	1.2	4.5	普通	細砂極少量	10YR8/3 淡黄橙色	-	1/2
422	土師質土器	小皿	5.9	1.2	4.8	良好	やや精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
423	土師質土器	小皿	5.9	1.2	5.2	普通	細砂少量	2.5Y8/3淡黄色	-	口縁部は1/5
424	土師質土器	小皿	5.9	1.2	5.2	良好	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
425	土師質土器	小皿	5.9	1.3	4.7	良好	細一小砂	10YR8/3淡黄橙色	-	
426	土師質土器	小皿	5.9	1.3	4.8	良好	細砂	10YR8/3淡黄橙色	-	
427	土師質土器	小皿	5.9	1.3	5.3	普通	細砂少量	10YR8/2灰白色に2.5YR7/8褐色混	-	1/2
428	土師質土器	小皿	5.9	1.4	4.6	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
429	土師質土器	小皿	5.9	1.4	4.8	良好	精良・赤粒	10YR7/3にぶい黄橙色	-	
430	土師質土器	小皿	5.9	1.4	5.1	良好	細一小砂少量	2.5Y8/3淡黄色	-	
431	土師質土器	小皿	5.9	1.5	5.2	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	
432	土師質土器	小皿	5.9	1.5	5.3	良好	やや精良	2.5Y7/3淡黄色	-	
433	土師質土器	小皿	6.0	0.9	5.7	不良	精良	7.5YR8/4淡黄橙色	-	
434	土師質土器	小皿	5.9	1.5	5.5	普通	細一粗砂中量	10YR8/4淡黄橙色	10YR7/4にぶい黄橙色	口縁部2/3欠損
435	土師質土器	小皿	6.0	1.0	5.3	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
436	土師質土器	小皿	6.0	1.1	5.0	良好	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
437	土師質土器	小皿	6.0	1.1	5.0	良好	細砂	10YR8/3淡黄橙色	-	
438	土師質土器	小皿	6.0	1.1	5.2	良好	やや精良	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
439	土師質土器	小皿	6.0	1.1	5.4	普通	細砂少量	10YR7/6明黄褐色	10YR8/2 灰白色	1/2
440	土師質土器	小皿	6.0	1.2	5.0	普通	細一中砂少量	10YR7/4にぶい黄橙色	2.5Y8/3淡黄色	5/6
441	土師質土器	小皿	6.0	1.2	5.0	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
442	土師質土器	小皿	6.0	1.2	5.3	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
443	土師質土器	小皿	6.0	1.2	5.7	良好	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	7.5YR8/6淡黄橙色	
444	土師質土器	小皿	6.0	1.3	4.8	普通	細一小砂中量	2.5Y8/2 反白色	2.5Y8/3淡黄色	5/6
445	土師質土器	小皿	6.0	1.3	4.9	良好	やや精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
446	土師質土器	小皿	6.0	1.3	5.2	良好	細砂	10YR8/6黄橙色	-	
447	土師質土器	小皿	6.0	1.5	5.2	普通	細一小砂少量	10YR8/2 反白色	10YR6/6明黄褐色	1/3
448	土師質土器	小皿	6.0	1.5	5.6	良好	細一中疊	10YR7/6明黄褐色	-	
449	土師質土器	小皿	6.0	1.6	5.2	普通	細一粗砂少量	10YR7/4にぶい黄橙色	7.5YR7/4にぶい黄橙色	口縁部は1/4
450	土師質土器	小皿	6.0	5.1	1.4	良好	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
451	土師質土器	小皿	6.1	1.1	5.3	良好	細砂多量	2.5Y8/3淡黄色	-	
452	土師質土器	小皿	6.1	1.2	5.0	普通	細一小砂中量	7.5YR7/2明褐灰色	7.5YR7/4にぶい黄橙色	口縁部は1/4
453	土師質土器	小皿	6.1	1.2	5.2	普通	細一中砂少量	10YR8/2 白灰色	-	口縁部は一部のみ
454	土師質土器	小皿	6.1	1.3	5.2	良好	細砂	10YR8/4淡黄橙色	-	

揭露番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
455	土師質土器	小皿	6.1	1.3	5.4	良好	細妙・赤粒	2.5Y8/2灰白色	-	
456	土師質土器	小皿	6.1	1.5	5.1	良好	細～小砂	2.5Y7/3淡黄色	-	
457	土師質土器	小皿	6.1	1.4	4.9	良好	やや精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
458	土師質土器	小皿	6.1	1.5	5.4	普通	細妙少量	10YR8/4淡黄棕色	-	
459	土師質土器	小皿	6.1	1.6	5.5	良好	細妙	2.5Y8/4淡黄色	-	
460	土師質土器	小皿	6.2	1.1	4.9	良好	精良	10YR7/4にぶい黄棕色	-	1/2
461	土師質土器	小皿	6.2	1.1	5.2	良好	精良	10YR8/4淡黄棕色	-	
462	土師質土器	小皿	6.2	1.2	5.1	普通	細～小砂少量	10YR7/6明黄褐色	-	
463	土師質土器	小皿	6.2	1.3	5.4	良好	やや精良・赤粒	10YR7/4にぶい黄棕色	2.5Y8/2灰白色	1/2
464	土師質土器	小皿	-	-	5.6	やや不良	細妙少量	7.5YR8/4淡黄棕色	10YR7/6明黄褐色	
465	土師質土器	小皿	6.2	1.3	6.5	良好	やや精良	10YR8/3淡黄棕色	-	
466	土師質土器	小皿	6.2	1.4	5.2	普通	細～小砂少量	2.5Y8/3淡黄色	-	口縁部は1/6
467	土師質土器	小皿	6.2	1.4	5.4	良好	細妙多量	2.5Y8/3淡黄色	-	
468	土師質土器	小皿	6.2	1.5	5.4	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
469	土師質土器	小皿	6.2	1.5	5.8	やや不良	細妙	10YR8/4淡黄棕色	-	
470	土師質土器	小皿	6.3	1.1	5.1	良好	精良	10YR8/4淡黄棕色	-	
471	土師質土器	小皿	6.3	1.1	5.6	良好	細妙少量	2.5Y8/3淡黄色	-	
472	土師質土器	小皿	6.3	1.2	5.2	やや不良	精良	10YR8/3淡黄棕色	-	
473	土師質土器	小皿	6.3	1.3	5.0	普通	細妙少量	10YR7/4にぶい黄棕色	2.5Y8/3淡黄色	1/2
474	土師質土器	小皿	6.3	1.3	5.0	普通	細～中砂少量	10YR7/4にぶい黄棕色	2.5Y8/4淡黄色	1/2
475	土師質土器	小皿	6.3	1.3	5.2	良好	細妙	10YR7/4にぶい黄棕色	10YR7/4にぶい黄棕色	
476	土師質土器	小皿	6.3	1.3	5.3	良好	細妙	10YR8/3淡黄棕色	-	全体の1/2
477	土師質土器	小皿	6.3	1.3	5.4	良好	やや精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
478	土師質土器	小皿	6.3	1.3	5.6	良好	細妙	2.5Y8/2灰白色	-	
479	土師質土器	小皿	6.3	1.4	5.2	良好	細妙	2.5Y8/3淡黄色	10YR7/4にぶい黄棕色	
480	土師質土器	小皿	6.3	1.4	5.5	良好	細妙	2.5Y8/3淡黄色	-	
481	土師質土器	小皿	6.4	1.1	5.8	普通	細～中砂少量	10YR8/4淡黄棕色	2.5Y8/4淡黄色	1/2
482	土師質土器	小皿	6.4	1.3	5.8	良好	精良	2.5Y7/2灰黄色	-	
483	土師質土器	小皿	6.4	1.4	5.3	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
484	土師質土器	小皿	6.6	1.0	5.7	良好	細妙多量	7.5Y7/4にぶい橙色	-	
485	土師質土器	小皿	6.4	1.4	5.4	良好	細妙	10YR7/4にぶい黄棕色	-	
486	土師質土器	小皿	6.5	1.0	5.7	良好	やや精良	10YR6/4にぶい黄棕色	-	ほぼ完存、内面に先刻あり。
487	土師質土器	小皿	7.2	1.2	6.0	普通	細～小砂少量	10YR5/6黄褐色	-	
488	土師質土器	小皿	6.5	1.1	5.3	良好	細妙	10YR7/3にぶい黄棕色	-	
489	土師質土器	小皿	6.5	1.3	5.4	良好	細妙	2.5Y8/3淡黄色	-	

掲載番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
490	土師質土器	小皿	6.5	1.4	5.8	普通	細砂少量	10YR7/4にぶい黄橙色	10YR8/3淡黄橙色	1/4
491	土師質土器	小皿	6.5	1.5	5.5	良好	精良	10YR6/4にぶい黄橙色	-	
492	土師質土器	小皿	6.4	1.5	5.3	普通	細砂中量	10YR7/4にぶい黄橙色	2.5Y8/2灰白色	2/3
493	土師質土器	小皿	6.6	1.15	5.0	普通	細砂少量	10YR8/3 淡黄橙色	2.5Y8/2灰白色	2/3
494	土師質土器	小皿	6.6	1.2	6.0	良好	細一中疊少量	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
495	土師質土器	小皿	6.2	1.3	5.4	良好	精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
496	土師質土器	小皿	6.7	1.5	5.6	良好	細一小砂	10YR8/2灰白色～10YR6/1褐灰色	-	
497	土師質土器	小皿	6.7	1.5	5.7	良好	細砂少量	2.5Y8/3淡黄色	-	
498	土師質土器	小皿	6.7	1.2	6.5	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
499	土師質土器	小皿	6.9	1.6	6	良好	細砂	7.5YR8/4淡黄橙色	-	
500	土師質土器	小皿	7.1	1.6	6.2	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	7.5YR6/6橙色	
501	土師質土器	小皿	7.4	1.1	6.1	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
502	土師質土器	小皿	7.6	1.4	6.1	良好	精良	2.5Y8/4淡黄色	10YR8/2 灰白色	1/3
503	土師質土器	小皿	7.5	1.5	5.8	良好	細一小砂	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
504	土師質土器	小皿	7.8	1.75	5.8	普通	細砂中量	10YR8/3 淡黄橙色	-	1/2
505	土師質土器	小皿	6.4	1.7	5.3	良好	細砂多量	2.5Y8/3淡黄色	-	縹刻あり
506	土師質土器	杯	-	-	-	良好	やや精良	2.5Y8/2灰白色	2.5Y5/1黄灰色	
507	土師質土器	杯	-	-	-	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
508	土師質土器	杯	-	-	-	良好	細砂	10YR8/3淡黄橙色	-	
509	土師質土器	杯	-	-	-	良好	精良	7.5Y7/4にぶい橙色	-	
510	土師質土器	杯	-	-	7.1	良好	やや精良	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
511	土師質土器	杯			7.5	良好	細一小砂	2.5Y7/4淡黄色	-	
512	土師質土器	杯	-	-	7.4	やや不良	細砂	10YR8/4淡黄橙色	-	
513	土師質土器	杯	10.9	-	-	良好	細一中疊少量	2.5Y6/2灰黄色	-	
514	土師質土器	杯	-	-	8.5	やや不良	精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
515	土師質土器	杯	10.8	3.1	7.6	良好	やや精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
516	土師質土器	杯	-	-	7.0	やや不良	細砂少量	2.5Y8/3淡黄色	-	
517	土師質土器	杯	11.9	2.8	7.4	やや不良	精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
518	土師質土器	杯	-	-	9.5	良好	細一小砂少量	2.5Y8/3淡黄色	-	
519	土師質土器	杯	12.0	3.4	9.2	良好	細一小砂	10YR6/4にぶい黄橙色	-	
520	土師質土器	杯	11.7	3.7	8.5	良好	精良	2.5Y7/3淡黄色	-	
521	土師質土器	杯	-	-	8.3	良好	やや精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
522	土師質土器	杯	12.1	3.6	9.5	良好	細一小砂	7.5YR8/3淡黄橙色	2.5Y7/2灰黄色	
523	土師質土器	杯	12.6	3.5	10.1	良好	やや精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
524	土師質土器	杯	12.8	3.5	9.5	良好	細一中砂	2.5Y7/2灰黄色	-	

揭露番号	種別	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	焼成	胎土	色調 (外)	色調 (内)	備考
525	土師質土器	杯	13.2	3.3	10.2	良好	細砂	10YR8/4淡黄橙色	-	
526	須恵器	高台杯	-	-	8.6	良好	精良	N8/0灰白色	-	
527	須恵器	鉢	-	-	-	良好	精良	7.5Y6/1灰色	-	東櫻系
528	須恵器	鉢	-	-	-	良好	精良	7.5Y6/1灰色	-	東櫻系
529	青磁	碗	-	-	-	良好	精良	10Y7/1灰白色 (輪) 10Y5/2引-2灰色	-	蓮弁文
530	土師質土器	小皿	5.1	1.1	3.9	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	
531	土師質土器	小皿	5.3	1.5	4.1	良好	精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
532	土師質土器	小皿	5.5	1.2	5.0	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	
533	土師質土器	小皿	5.5	1.4	4.4	良好	細砂多量	2.5Y8/2灰白色	-	1/3
534	土師質土器	小皿	5.7	1.4	4.7	良好	精良	10YR6/3にぶい黄褐色	-	1/3
535	土師質土器	小皿	5.7	1.5	4.7	良好	細砂	10YR7/3にぶい黄橙色	-	1/4
536	土師質土器	小皿	5.8	1.1	4.5	良好	細砂	2.5Y7/3淡黄色	-	
537	土師質土器	小皿	5.8	1.2	4.8	良好	細一小砂	10YR8/3淡黄橙色	-	1/3
538	土師質土器	小皿	5.8	1.2	5.3	良好	細砂中量	2.5Y8/3淡黄色	-	
539	土師質土器	小皿	5.8	1.3	5.3	良好	細砂中量	2.5Y8/2灰白色	-	
540	土師質土器	小皿	5.9	1.1	4.8	良好	細砂	10YR8/4淡黄橙色	-	
541	土師質土器	小皿	5.9	1.4	5.2	良好	細砂	10YR8/2灰白色	-	ほぼ完存
542	土師質土器	小皿	6.1	1.5	5.2	良好	精良	10YR8/2灰白色	-	
543	土師質土器	小皿	6.3	1.3	5.5	良好	細一小砂	2.5Y8/3淡黄色	-	1/4
544	土師質土器	小皿	6.5	1.1	5.0	良好	細砂	10YR8/2灰白色	-	1/4
545	土師質土器	小皿	6.5	1.2	5.0	良好	細砂	10YR4/4褐色	-	
546	土師質土器	小皿	6.5	1.4	5.5	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	1/4
547	土師質土器	小皿	6.5	1.5	6.2	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
548	土師質土器	小皿	6.5	1.5	5.3	良好	精良	10YR8/4淡黄橙色	-	1/5
549	土師質土器	小皿	6.6	1.1	5.4	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
550	土師質土器	小皿	6.6	1.5	5.6	良好	細一小砂	10YR8/3淡黄橙色	-	1/3
551	土師質土器	小皿	6.7	1.2	6.0	良好	細砂	10YR8/2灰白色	-	
552	土師質土器	小皿	6.8	1.1	6.1	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
553	備前焼	壺	12.1	-	-	良好	やや精良	10YR4/1褐色、	-	
554	土師質	壺口縁	18.5	-	-	不良	細砂	5YR6/4にぶい橙色	-	
555	土師質土器	小皿	5.4	1.1	5.2	良好	細砂	10YR7/3にぶい黄橙色	5YR7/6橙色 10R6/6赤橙色混	底部4/5
556	土師質土器	小皿	5.5	1.1	4.6	良好	精良	2.5Y8/4淡黄色	-	
557	土師質土器	小皿	5.7	1.0	4.6	良好	精良	10YR8/4淡黄橙色	-	1/3
558	土師質土器	小皿	5.7	1.1	5.0	普通	細一中砂少量	10YR8/2 灰白色	-	
559	土師質土器	小皿	6.0	1.4	5.2	普通	細一中砂少量	5YR7/6橙色	-	4/5

掲載番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
560	土師質土器	小皿	6.0	1.05	4.9	良好	細一中砂	10YR8/4淡黄橙色	-	1/2
561	土師質土器	小皿	6.4	1.2	5.2	普通	細砂少量	10YR8/4淡黄橙色	-	1/3
562	土師質土器	小皿	7.0	1.4	5.6	普通	細一中砂少量	2.5Y8/3淡黄色	-	
563	土師質土器	杯		-	-	良好	精良	7.5YR8/4淡黄橙色	-	
564	土師質土器	杯	11.2	-	-	やや良好	細砂	7.5YR8/4淡黄橙色	10YR7/4にぶい黄橙色	1/3
565	土師質土器	杯	14.5 (3.8)	11.0	良好	精良		7.5YR8/4淡黄橙色	5YR8/3淡橙色	1/3
566	陶器	底部	-	-	5.3	良好	精良	7.5YR5/2灰褐色 (輪) 5Y6/2灰オリーブ色	-	肥前・砂目
567	土師質土器	土鍋把手	-	-	16.3	良好	細砂少量	7.5YR6/4にぶい橙色	-	
568	瓦	丸瓦	9.7	4.7	2.0	良好	細一中砂少量	7.5Y5/1灰色		
569	瓦	丸瓦	13.3	9	1.9	良好	細砂	5Y6/1灰色		
570	瓦	丸瓦	8.9	5.3	2.4	良好	細一少砂	5Y5/1灰色		
571	瓦	平瓦	8.2	9.4	2.2	良好	細一大雜	5Y4/1灰色		
572	土師質土器	小皿	6.3	1.5	5.3	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
573	土師質土器	小皿	5.4	1.0	4.8	良好	細砂	7.5Y8/6淡黄橙色	-	
574	土師質土器	小皿	5.5	1.1	5.5	良好	細砂少量	7.5YR7/6橙色	-	
575	土師質土器	小皿	5.7	1.1	4.8	良好	精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
576	土師質土器	小皿	5.5	1.4	5.0	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
577	土師質土器	小皿	5.7	1.1	5.4	良好	細一少砂多量	7.5YR8/4淡黄橙色	-	
578	土師質土器	小皿	5.7	1.4	5.1	普通	細一中砂少量	10YR7/3にぶい黄橙色	2.5Y8/2灰白色	口縁部の一部欠損
579	土師質土器	小皿	6.0	1.2	5.0	普通	細砂少量	7.5YR6/6橙色	5YR7/6橙色	完存
580	土師質土器	小皿	6.0	1.45	5.3	普通	細一少砂少量	7.5YR8/4淡黄橙色	-	口縁部1/3欠損
581	土師質土器	小皿	6.0	1.5	5.0	普通	細砂少量	10YR8/2灰白色	10YR6/4にぶい黄橙色 (付着物多)	口縁部2/3欠損
582	土師質土器	小皿	6.1	1.1	5.0	普通	細一中砂少量	2.5Y7/2灰黃色	-	口縁部の一部欠損
583	土師質土器	小皿	6.1	1.1	5.0	良好	細砂少量	2.5Y8/3淡黄色	-	
584	土師質土器	小皿	6.1	1.3	5.2	やや不良	精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
585	土師質土器	小皿	6.2	1.0	5.3	やや不良	細一少砂少量	2.5Y7/2灰黄色～ 5YR7/4にぶい橙色	-	
586	土師質土器	小皿	6.2	1.3	5.0	やや不良	細砂少量	10YR8/3淡黄橙色	-	
587	土師質土器	小皿	6.3	1.5	5.3	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
588	土師質土器	小皿	6.3	1.6	6.3	良好	細一中砂多量	2.5Y8/2灰白色	-	
589	土師質土器	小皿	7.0	1.3	6.2	不良	精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
590	土師質土器	小皿	-	-	-	良好	細砂	10YR8/4淡黄橙色	-	
591	須恵器	杯	-	-	-	不良	精良	5Y7/1灰白色	-	完存
592	須恵器	杯	-	-	-	不良	精良	5Y8/1灰白色	-	
593	須恵器	杯蓋	9.5	-	-	良好	精良	N7/0灰白色	-	
594	土師器	杯	12.5	3.2	9.2	良好	やや精良	7.5YR7/6橙色	-	

規範 番号	種別	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
595	土師器	高环脚	-	-	-	良好	細砂・雲母	7.5YR6/4にぶい橙色	-	線刻あり・文字か
596	土師器	甕	-	-	-	良好	精良	2.5Y7/2灰黄色	-	
597	須恵器	杯	-	-	-	良好	精良	2.5Y6/1灰白色	-	
598	須恵器	杯				良好	精良	2.5Y6/2黄灰色	-	
599	須恵器	杯蓋	10.0	-	-	良好	精良	7.5YR7/4にぶい橙色	-	
600	須恵器	杯蓋	11.6	-	-	良好	精良	N6/0灰色	-	
601	須恵器	杯	-	-	9.0	良好	細砂	N6/0灰色	-	
602	土師器	甕	-	-	-	良好	細一砂多量	7.5Y5/4にぶい褐色	-	
603	土師質土器	杯	12.9	3.4	9.5	良好	やや精良	10YR8/4淡黄橙色	-	
604	白磁	小碗	6.8	-	-	良好	精良	? 2.5Y5/1灰黄色		
605	土師器	甕	28.4	-	-	良好	細一中砂多量	7.5YR6/4にぶい橙色	-	
606	土師質土器	土鍋	33.8	-	-	良好	細緻	7.5YR8/3淡黄橙色	-	
607	土師器	甕?	-	-	-	良好	細一砂少	5YR5/6明赤褐色	-	
608	土師質土器	土蓋脚	-	-	-	良好	細砂	7.5YR7/4にぶい橙色	-	
609	土師質土器	土蓋脚	-	-	-	良好	やや精良	10YR6/3にぶい黃橙色	-	
610	土師質土器	杯	13.0	3.5	8.4	良好	精良	(底付近) 5YR6/6橙色 (口縁) 5Y7/1灰白色	-	
611	須恵器	高台杯	-	-	10.4	良好	精良	5Y7/1灰白色	-	
612	須恵器	高台杯	-	(1.1)	10.7	良好	精良	10GY5/1綠灰色	-	
613	須恵器	杯	-	-	-	良好	精良	N5/0灰色	-	破片 火燐
614	須恵器	杯	-	-	-	良好	精良	10Y6/1灰色	-	破片 火燐
615	須恵器	皿	13	1.9	9.8	良好	精良	2.5Y7/1灰白色	-	破片 火燐
616	土師質土器	小皿	6.2	1.1	4.9	良好	精良	2.5Y8/3淡黃色	-	
617	土師質土器	口縁端削	-	-	-	不良	精良	N7/0灰色～5Y8/1灰白色	-	
618	黒色土器	椀	-	-	5.9	不良	やや精良	5YR6/6橙色	-	内黒
619	土師質土器	杯	-	-	9.4	やや不良	精良	7.5YR7/4にぶい橙色	-	
620	土師質土器	杯	13.5	3.0	8.7	良好	細砂	10YR7/4にぶい黃橙色	-	
621	土師質土器	杯	13.3	3	7.6	良好	細一砂少	10YR8/3淡黄橙色	-	
622	土師器	皿	17.5	(3.8)	15	良好	精良	10YR7/4にぶい黃橙色	-	
623	土師器	甕	-	-	-	良好	細砂	7.5YR5/6明褐色	-	
624	須恵器	杯蓋	-	-	-	良好	細砂	2.5Y6/1灰白色	N8/0灰白色	
625	須恵器	杯	-	-	-	良好	精良	N6/0灰色	-	
626	瓦質	椀	-	-	-	良好	精良	N5/0灰色	-	
627	須恵器	杯	-	-	-	良好	細砂少量	N5/0灰色	-	
628	須恵器	杯	-	-	-	やや不良	精良	7.5Y6/1灰色	10YR8/2灰白色	
629	須恵器	高台杯	-	-	-	良好	精良	N5/0灰色	-	

掲載番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
630	須恵器	高台杯	—	—	—	良好	精良	N6/0灰色	—	
631	須恵器	底部	—	—	—	普通	細～小砂少 量	7.5Y7/1灰白色	—	
632	瓦質	碗	—	—	5.5	やや不良	精良	5Y8/1灰白色	—	
633	須恵器	高台杯	—	—	11.6	不良	精良	7.5Y8/1灰白色	5YR8/1灰白色	
634	須恵器	高台杯	—	—	10.1	良好	精良	N7/0灰白色	—	
635	須恵器	口縁端削	13.4	—	—	良好	精良	5Y6/1灰色	—	
636	土製品	棒状土鉢	4.6	0.9	0.9	良好	細砂～中砂	10YR5/4にぶい黄橙色	10B66/1青灰色	重さ 5.8 g
637	瓦質	壺?	23.7	—	—	良好	精良	N5/0灰色	—	
638	須恵器	壺	—	—	—	良好	精良	N8/0灰白色	—	
639	須恵器	体部	—	—	—	良好	精良	2.5Y7/2灰黄色	—	
640	須恵器	体部	—	—	—	良好	精良	N4/0灰色	—	
641	須恵器	体部	—	—	—	良好	細砂少量	N5/0灰色	—	
642	須恵器	体部	—	—	—	良好	精良	N6/0灰色	—	
643	須恵器	体部	—	—	—	良好	精良	10Y6/1灰色	—	
644	須恵器	体部	—	—	—	良好	精良	7.5Y6/1灰色	—	
645	須恵器	体部	—	—	—	良好	精良	5Y7/1灰白色(粒) 5Y6/2灰サザン色	N6/0灰色	
646	土師質土器	小皿	5.1	1.1	4.7	良好	精良	10YR7/4にぶい黄橙色	—	
647	土師質土器	小皿	5.3	0.5	4.6	良好	精良	?	—	
648	土師質土器	小皿	5.3	1.3	4.0	良好	細砂	10YR8/4浅黄橙色	—	1/4
649	土師質土器	小皿	5.5	0.9	5.0	良好	細～中砂	2.5Y8/3淡黄色	—	1/4
650	土師質土器	小皿	5.5	1.5	4.5	良好	精良	10YR8/3浅黄橙色	—	底部の1/2
651	土師質土器	小皿	5.6	0.9	5.6	良好	やや精良	10YR7/6明黄褐色	—	
652	土師質土器	小皿	5.6	1.6	5.0	良好	細砂	2.5Y7/3浅黄色	—	
653	土師質土器	小皿	5.7	1.1	4.7	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	—	1/3
654	土師質土器	小皿	5.9	1.1	4.6	良好	細～中砂	10YR8/4浅黄橙色	—	1/3
655	土師質土器	小皿	6.0	1.1	4.9	やや不良	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	—	1/4
656	土師質土器	小皿	6.0	1.2	5.0	良好	細砂	10YR8/3浅黄橙色	—	1/3
657	土師質土器	小皿	6.0	1.2	5.0	良好	細砂	10YR8/4浅黄橙色	—	
658	土師質土器	小皿	6.0	1.4	4.9	良好	細砂	2.5Y8/4淡黄色	—	
659	土師質土器	小皿	6.0	1.5	5.5	良好	やや精良	10YR8/4浅黄橙色	—	1/3
660	土師質土器	小皿	6.1	1.1	5.1	良好	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	—	3/4
661	土師質土器	小皿	6.1	1.3	4.9	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	—	1/4
662	土師質土器	小皿	6.2	1.1	5.5	良好	細～小砂	2.5Y7/3浅黄色	—	底部は完存
663	土師質土器	小皿	6.2	1.5	6.0	良好	細砂	10YR8/3浅黄橙色	—	
664	土師質土器	小皿	6.3	1.1	5.5	良好	やや精良	2.5Y8/3淡黄色	—	1/2

掲載番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
665	土師質土器	小皿	6.4	1.0	5.7	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	1/4
666	土師質土器	小皿	6.4	1.2	5.7	良好	細砂	2.5Y8/4淡黄色	-	1/3
667	土師質土器	小皿	6.8	1.4	6.0	良好	細砂	10YR8/4淡黄橙色	-	2/3
668	土師質土器	小皿	6.9	1.1	6.0	良好	精良	2.5Y8/2灰白色	-	1/3
669	土師質土器	小皿	7.1	1.2	6.1	良好	細砂	10YR8/4淡黄橙色	-	底径の1/2
670	土師質土器	小皿	7.2	1.6	5.7	良好	細砂	2.5Y8/4淡黄色	-	
671	土師質土器	小皿	7.8	1.3	6.0	良好	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	-	1/3
672	土師質土器	小皿	7.9	1.5	5.7	良好	細砂	10YR6/4にぶい黄橙色	-	1/3
673	土師質土器	杯	-	-	-	良好	細砂	10YR8/2灰白色	-	1/4
674	土師質土器	杯	-	-	-	良好	細砂	2.5Y7/3淡黄色	-	底径の1/3
675	須恵器	杯	-	-	5.6	良好	精良	7.5Y6/1灰色		
676	土師質土器	杯	-	-	7.3	良好	細~小砂	7.5YR8/4淡黄橙色	-	
677	土師質土器	杯	10.1	-	-	良好	細砂	10YR8/4淡黄橙色	-	
678	土師質土器	杯	10.7	2.7	6.0	良好	精良	10YR8/3淡黄橙色	-	底部は完存
679	土師質土器	杯	11.1	2.9	8.1	良好	細~小砂少 量	2.5Y7/3淡黄色	-	口径の1/4
680	土師質土器	杯	11.1	2.9	6.4	良好	細~小砂多 量	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
681	土師質土器	杯	11.3	2.8	8.7	良好	細砂	10YR8/3	-	
682	黒色土器	碗	-	-	8.3	良好	精良	5YR6/6橙色	-	内黒
683	土師質土器	杯	-	-	-	良好	細砂	10YR7/4にぶい黄橙色	-	
684	土師質土器	杯	-	-	-	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
685	土師質土器	杯	12.0	3.0	8.4	良好	細砂	10YR7/3にぶい黄橙色	-	
686	土師質土器	杯	11.9	-	-	良好	細砂	10YR8/3淡黄橙色	-	口径の1/4
687	土師質土器	杯	12.4	(3.5)	10.1	良好	やや精良	10YR8/3淡黄橙色	-	
688	土師質土器	杯	12.4	3.5	9.3	良好	細砂少量	10YR8/3淡黄橙色	-	
689	土師質土器	杯	12.7	3.1	7.9	良好	やや精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
690	土師質土器	杯	13.8	2.5	9.3	良好	細砂	10YR8/3淡黄橙色	-	
691	須恵器	高台杯	10.7	4.6	6.8	良好	精良	N6/0灰色	2.5Y3/1黒褐色	底径の1/4
692	土製品	持状土錐	6.8	1.1	1.2	良好	細砂	7.5YR5/6明褐色		重さ11.4g
693	土製品	持状土錐	3.7	1.1	1.2	良好	精良			重さ7.0g
694	土師器	甕	16.3	-	-	良好	細砂	7.5YR5/6明褐色	-	
695	土師質土器	土鍋	44.0			良好	精良	10YR5/2灰黄褐色	-	
696	土師質土器	把手?	-	-	-	良好	細砂多量	7.5YR5/6明褐色	-	
697	須恵器	壺体部	-	-	-	良好	精良	7.5Y5/1灰色	-	
698	瓦	丸瓦	7	6.5	1.7	良好	細砂	N4/0灰色		
699	土師質土器	小皿	5.3	1.3	4.8	不良	やや精良	7.5YR8/4淡黄橙色	-	

掲載番号	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
700	土師質土器	小皿	5.4	1.1	4.6	良好	細砂	2.5Y8/2灰白色	-	
701	土師質土器	小皿	5.4	1.6	5.2	良好	礫・精良	10YR7/4にぶい黄橙色	-	1/4
702	土師質土器	小皿	5.5	1.5	4.8	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	
703	土師質土器	小皿	5.6	1.1	4.8	普通	細砂少量	10YR8/4淡黄橙色	-	
704	土師質土器	小皿	5.8	1.0	5.0	普通	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
705	土師質土器	小皿	5.8	1.5	4.6	良好	精良	2.5Y7/2灰黄色	2.5Y8/2灰白色	ほぼ完存
706	土師質土器	小皿	6.0	1.3	4.7	良好	細砂	10YR7/3にぶい黄橙色	-	1/2
707	土師質土器	小皿	6.0	1.3	5.3	良好	細砂	2.5Y7/3淡黄色	-	
708	土師質土器	小皿	6.0	1.6	6.0	良好	精良	2.5Y8/2灰白色	-	
709	土師質土器	小皿	6.1	1.0	5.2	良好	細砂	7.5YR8/4淡黄橙色～10R6/4にぶい赤橙色	-	1/4
710	土師質土器	小皿	6.1	1.1	5.5	普通	細～粗砂	10YR7/2にぶい黄橙色	-	1/3
711	土師質土器	小皿	6.2	1.2	5.3	普通	細～中砂少量	2.5Y8/2 灰白色	-	
712	土師質土器	小皿	6.2	1.3	5.3	普通	細～中砂中量	10YR8/2 灰白色	-	口縁部はほぼ欠損
713	土師質土器	小皿	6.3	1.0	6.1	良好	細砂	2.5Y8/1灰白色	-	3/5
714	土師質土器	小皿	6.3	1.2	4.8	良好	やや精良	7.5YR8/4淡黄橙色	-	1/3
715	土師質土器	小皿	6.3	1.4	5.2	普通	細～中砂少量	2.5Y8/4淡黄色	10YR7/4にぶい黄橙色 内面に黒褐色(Mn?)付着	
716	土師質土器	小皿	6.4	1.4	5.6	普通	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	底部完存
717	土師質土器	小皿	6.5	1.3	5.4	普通	精良	2.5Y8/1 灰白色	-	1/2
718	土師質土器	小皿	6.5	1.3	5.5	良好	細砂	-	-	1/2
719	土師質土器	小皿	6.6	1.4	5.6	良好	細～中砂中量	10YR8/3淡黄色	-	1/2
720	土師質土器	小皿	6.6	1.5	6.1	良好	やや精良	2.5Y7/3淡黄色	-	
721	土師質土器	小皿	6.7	1.7	5.7	良好	細～小砂	10YR8/3淡黄橙色	2.5Y7/1灰白色	1/4
722	土師質土器	小皿	9.6	(1.6)	7.4	良好	細砂少量	10YR8/3淡黄橙色	10YR7/4にぶい黄橙色	
723	土師質土器	杯	-	-	7.0	不良	細～小砂	10YR7/2にぶい黄橙色	-	
724	土師質土器	杯	11.0	-	-	良好	やや精良	10YR8/4淡黄橙色	10YR8/4淡黄橙色	内面・底面に黒褐色(Mn?)付着
725	土師質土器	杯	11.6	3.0	8.3	良好	細砂	2.5Y7/3淡黄色	-	1/2
726	土師質土器	杯	12.1	3.5	9.3	良好	細～中砂	7.5YR8/3淡黄橙色	-	
727	土師質土器	杯	13.1	3.8	9.4	良好	細～小砂	2.5Y7/1灰白色	-	
728	土師質土器	杯	13.3	2.5	8.2	良好	細～中砂	7.5YR6/4にぶい黄橙色	-	
729	須恵器	?	-	-	-	良好	精良	2.5Y7/1灰白色	-	
730	黒色土器	碗	-	-	10.3	良好	精良	10YR6/4にぶい黄橙色 〔底〕2.5Y4/1 黄灰色	10YR3/1黒褐色	内黒
731	瓦	丸瓦	7.4	6.5	2.2	良好	細～中砂少量	5Y4/1灰白色	-	
732	瓦	丸瓦	27.3	11.2	1.7	不良	～2mmの砂粒を含む	5Y8/1灰白色	-	
733	土師質土器	小皿	5.2	1.4	3.0	良好	精良	10YR7/4にぶい黄橙色	5YR8/3淡橙色	口縁1/6、底部完存
734	土師質土器	小皿	5.3	1.3	4.4	良好	細～中砂	2.5Y8/4淡黄色	-	内面に黒褐色(Mn?)付着

揭露番号	種別	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	焼成	胎土	色調 (外)	色調 (内)	備考
735	土師質土器	小皿	5.4	1.4	5.0	良好	やや精良	2.5Y8/3淡黄色	-	内面に黒褐色 (Mn?) 付着 全体の1/3
736	土師質土器	小皿	5.5	1.3	5.0	良好	やや精良	2.5Y7/4淡黄色	-	内面に黒褐色 (Mn?) 付着
737	土師質土器	小皿	5.3	1.2	5.0	良好	細砂	10YR8/4淡黄橙色	-	口縁部1/4欠損
738	土師質土器	小皿	5.6	1.3	4.8	不良	精良	7.5YR8/4淡黄橙色	-	内面に黒褐色 (Mn?) 付着
739	土師質土器	小皿	5.8	1.1	4.0	良好	細砂	10YR8/4淡黄橙色	-	外面に黒褐色 (Mn?) 付着
740	土師質土器	小皿	5.9	1.3	4.8	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	全体の1/2
741	土師質土器	小皿	5.9	1.3	5.3	良好	精良	?	10YR8/4淡黄橙色	
742	土師質土器	小皿	5.9	1.4	5.0	良好	細～小砂	10YR8/4淡黄橙色	-	口径の1/5
743	土師質土器	小皿	5.9	1.4	5.0	良好	細～小砂	2.5Y7/4淡黄色	-	底部完存
744	土師質土器	小皿	6.0	1.1	4.7	良好	細砂	10YR7/3Iにぶい黄橙色	-	
745	土師質土器	小皿	6.0	1.0	5.3	良好	精良・小砂	2.5Y7/4淡黄色	-	1/4
746	土師質土器	小皿	6.0	1.5	4.8	良好	細砂	2.5Y7/3淡黄色	-	底面に黒褐色 (Mn?) 付着
747	土師質土器	小皿	6.0	1.6	5.1	良好	細砂	2.5Y8/3淡黄色	-	全体の1/2
748	土師質土器	小皿	6.1	1.1	5.1	普通	細～中砂中量	5YR7/6橙色	N6/0灰色	
749	土師質土器	小皿	6.2	1.3	5.2	良好	やや精良	2.5Y7/4淡黄色	-	内面に黒褐色 (Mn?) 付着
750	土師質土器	小皿	6.2	1.3	4.8	良好	細砂	10YR7/6明黄褐色	-	1/3
751	土師質土器	小皿	6.3	1.4	4.5	良好	細砂	?	-	内面に黒褐色 (Mn?) 付着
752	土師質土器	小皿	6.4	1.7	5.2	普通	細砂少量	10YR8/3淡黄色	-	
753	土師質土器	小皿	6.5	1.2	5.0	良好	細砂多量	2.5Y8/3淡黄色	2.5Y8/4淡黄色	全体の5/6
754	土師質土器	小皿	6.7	1.3	6.3	良好	精良	?	-	1/4
755	土師質土器	小皿	6.8	1.3	6.0	不良	精良	7.5YR8/4淡黄橙色	-	底面に黒褐色 (Mn?) 付着
756	土師質土器	小皿	6.9	1.7	5.3	良好	細～小砂	2.5Y7/3淡黄色	-	1/4
757	土師質土器	小皿	8.1	1.4	6.4	良好	精良	2.5Y8/3淡黄色	-	1/5
758	土師器	皿	-	-	-	良好	細砂	10R5/6赤色	-	
759	土師質土器	杯	11.2	(3.3)	8.2	不良	精良	7.5YR8/6淡黄橙色	-	全体の1/4
760	土師質土器	杯	-	-	8.1	良好	細～小砂	7.5YR8/3淡黄橙色	10YR7/4Iにぶい黄 橙色	内面に黒褐色 (Mn?) 付着
761	土師質土器	杯	12.0	3.9	8.9	良好	細～小砂	2.5Y7/3淡黄色	-	底径の1/5
762	土師器	甕	-	-	-	良好	細砂	7.5YR5/6明褐色	N4/0灰色	
763	土師器	甕	-	-	-	良好	細砂	7.5YR5/4Iにぶい褐色	-	
764	土師器	甕	-	-	-	良好	細砂	7.5YR6/6橙色	-	
765	土師質土器	土釜	-	-	-	良好	細～中砂	2.5Y8/3淡黄色	-	
766	土師器	皿	22.5	-	-	良好	精良	5YR6/6橙色	-	
767	土師器	甕	23.3	-	-	良好	細砂	7.5YR5/4Iにぶい褐色	-	赤彩土器?
768	土師器	甕?	35.5	-	-	良好	細～小砂	7.5YR5/6明褐色	-	
769	土師器	甕?	29.8	-	-	良好	細～中砂	5YR5/4Iにぶい赤褐色	-	

揭露番号	種別	器種	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	焼成	胎土	色調(外)	色調(内)	備考
770	須恵器	杯蓋	—	—	—	良好	精良	N5/0灰色	—	
771	須恵器	杯蓋	—	—	—	良好	精良	N8/0灰白色	—	1/2
772	須恵器	杯蓋	—	—	—	良好	やや精良	N6/0灰色	—	
773	須恵器	杯蓋	—	—	—	良好	精良	N6/0灰色	—	
774	須恵器	口縁?	—	—	—	良好	精良	10G4/1暗緑灰色	—	
775	須恵器	杯	—	—	—	良好	細砂	N2/0黒色	—	
776	須恵器	杯	—	—	—	良好	精良	N8/0灰白色	—	
777	須恵器	高台杯	—	—	6.5	良好	精良	N6/0灰色	—	
778	須恵器	高台杯	—	—	9.7	良好	やや精良	N6/0灰色	—	
779	須恵器	高台杯	—	—	9.8	良好	精良	N5/0灰色	—	
780	須恵器	杯	12.8	—	—	良好	精良	5Y7/1灰色	—	
781	須恵器	杯	13.6	4	7.3	良好	精良	N8/0灰白色	—	?タタキ
782	須恵器	壺	—	—	—	良好	細砂少量	10R4/2灰赤色	—	
783	須恵器	体部	—	—	—	良好	精良	5B5/1青灰色	N5/0灰色	
784	須恵器	体部	—	—	—	良好	精良	N4/0灰色	—	
785	須恵器	体部	—	—	—	良好	精良	5Y7/1灰色	—	
786	須恵器	体部	—	—	—	良好	精良	N8/0灰白色	—	
787	須恵器	体部	—	—	—	良好	細砂少量	N6/0灰色	—	1/3 火襷
788	須恵器	体部	—	—	—	良好	精良	N6/0灰色	—	
789	須恵器	体部	—	—	—	良好	精良	N5/0灰色	—	
790	須恵器	体部	—	—	—	良好	精良	N7/0灰白色	—	格子目タタキ
791	瓦	軒平瓦	5.5	12.2	3	良好	細~小砂	N6/0灰色	—	



図 版



図版1



1 A調査区全景空中写真



2 A調査区北半空中写真



3 S B01・02調査状況

図版2



1 S B03・04調査状況



2 S D01調査状況



3 S D01遺物出土状況



1 S D01遺物出土狀況



2 S D01遺物出土狀況



3 S D01遺物出土狀況

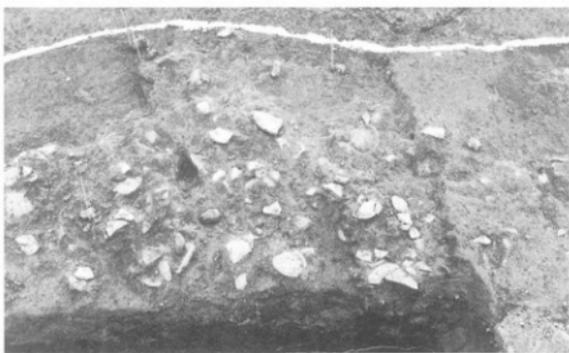
圖版4



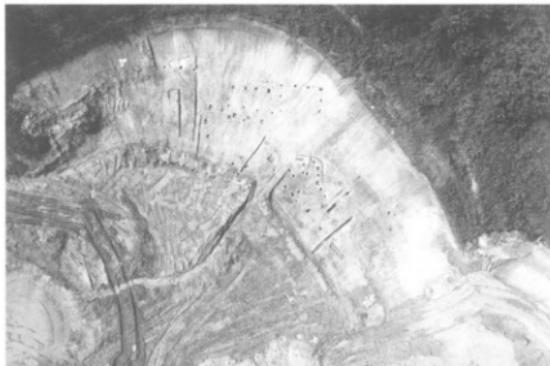
1 SD01遺物出土狀況



2 SD07調査狀況



3 SD07調査狀況



1 B 調査区全景空中写真

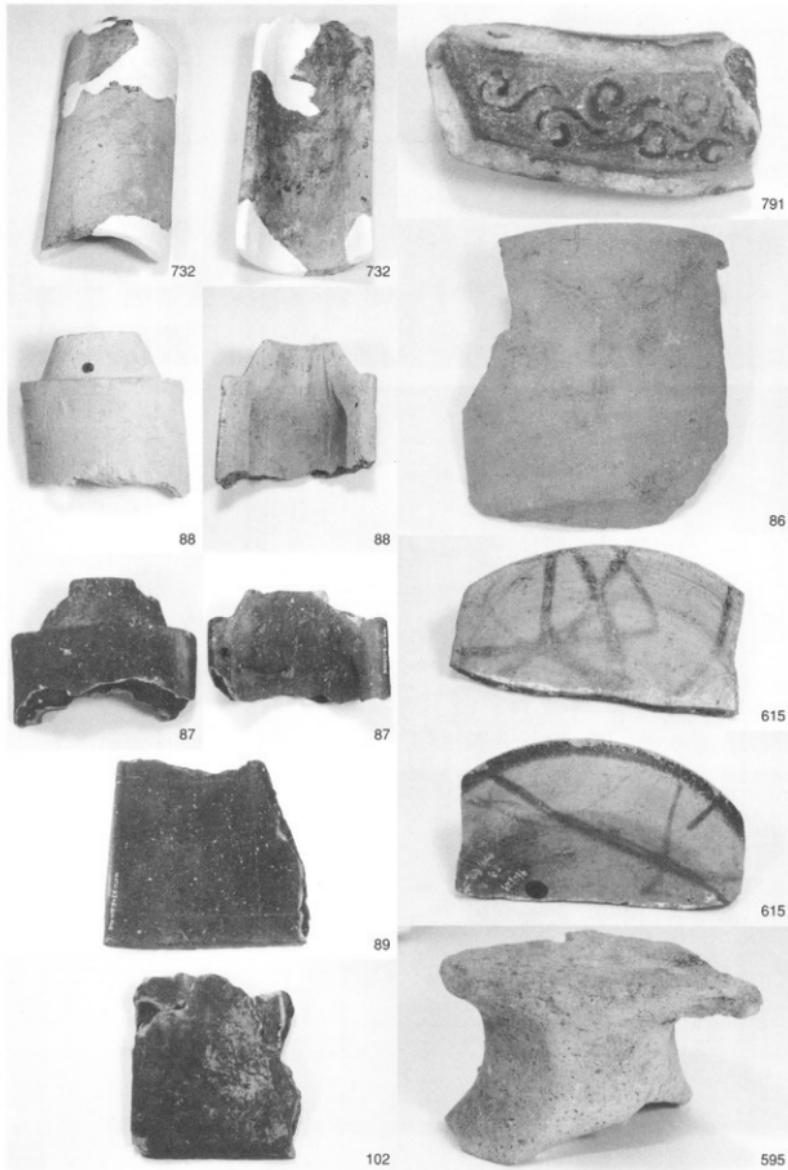


2 遺構検出状況

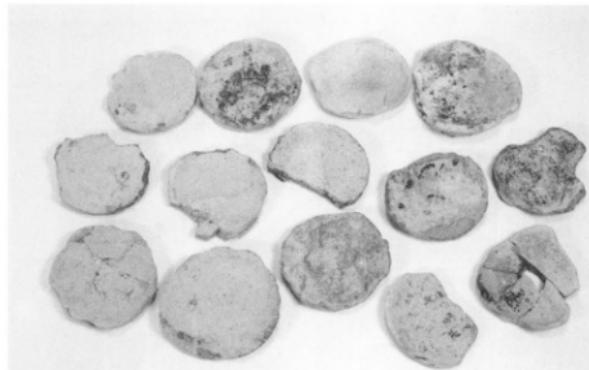


3 遺構検出状況

图版6



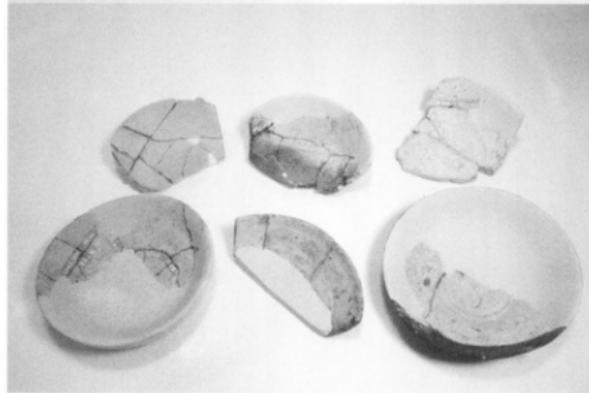
出土遗物



1 A調査区  
掘立柱建物跡柱穴  
出土遺物



2 A調査区  
SD01出土遺物



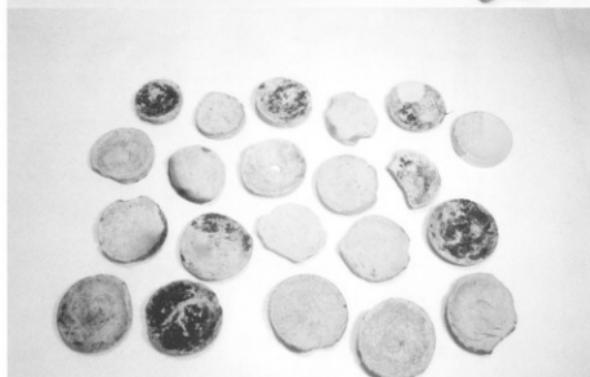
3 A調査区  
SD01出土遺物

図版8

1 A調査区  
S D 03~05出土遺物

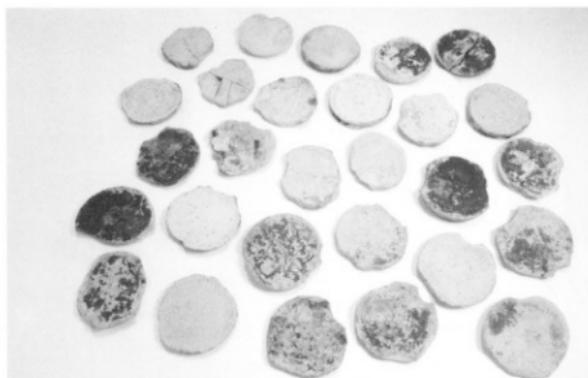


2 A調査区  
S D 07出土遺物



3 A調査区  
北半包含層出土遺物





1 A調査区  
南半包含層出土遺物



2 A調査区  
南半包含層出土遺物



3 A調査区  
南半包含層西南部  
出土遺物

图版10

1 B 調査区包含層  
出土遺物

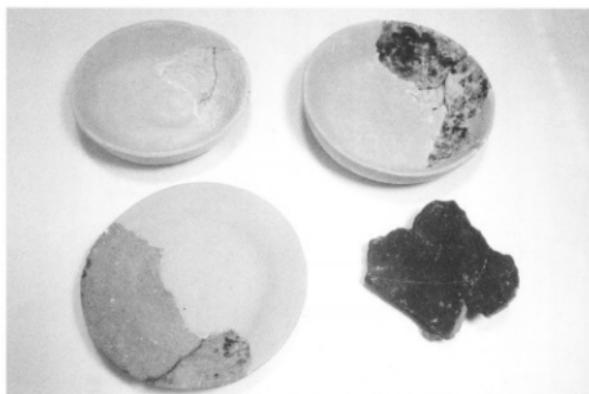


2 B 調査区出土位置  
不明遺物

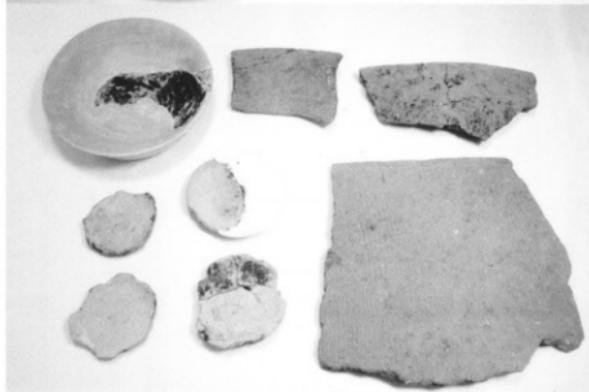


3 出土地不明遺物





1 出土地不明遺物



2 試掘調査出土遺物



3 棒状土錐



## 報告書抄録

ふりがな	おうじのたにいせき							
書名	王子の谷遺跡							
副書名	農村総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ名	東かがわ市埋蔵文化財調査報告							
シリーズNo.	第3集							
編著者名	阿河銳二							
編集機関	大川広域行政組合埋蔵文化財係							
発行機関	東かがわ市教育委員会							
所在地	〒769-2692 香川県東かがわ市三本松1172番地 (TEL) 0879-26-1238							
発行年月日	西暦 2007年12月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	北緯 遺跡番号	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
おうじ 王子の谷遺跡	かがわけんひがし 香川県東かが わ市土居	372072	34° 15' 21"	134° 17' 03"	1996.7.9 ～ 1996.10. 9	1,320 m <sup>2</sup>	農村総合 整備事業	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
王子の谷遺跡	集落	古代	掘立柱建物跡	須恵器・土師器			14世紀代の瓦を もつ掘立柱建物 跡群。多量の土 師質土器小皿が 出土。	
		中世	掘立柱建物跡 溝	土師質土器・瓦・ 陶磁器・土製品				

農村総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

## 王子の谷遺跡

平成19年12月31日

編 集 大川広域行政組合

発 行 東かがわ市教育委員会

〒769-2692 香川県東かがわ市三本松1172番地

(TEL) 0879-26-1238

印 刷 タナカ印刷株式会社